研究概要・V1.6最終版

知能技術の変化における企業能力と資本ガバナンスの研究

技術がビジネスを動かし、科学技術が変革を導く。

蔚腾飞
ANDREW DAVID W.Y.
2026 年 11 月 26 日

ディレクトリ

著者の読書パス · 画像とテキストの比較

01 研究概要
02 研究の位置づけと中核問題
03 学術的な位置づけと分類の根拠
04 長期的な焦点: 組織形態はどのように進化するか
05 共通の説明モデル
06 5 方向と 15 本の路線
07 A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築
08 B. 企業力の蓄積と更新
09 C. 顧客価値、市場競争、収益獲得
10 D. 投資、融資および資本配分
11 E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス
12 オリジナル投稿の位置づけと検査
13 長期資本関係と営業資産の概念的な境界線
14 比較の次元と作用メカニズムを統一する
15 研究カード、指標、証拠
16 テクノロジーと組織の取り決めが持続可能なビジネスの改善にどのようにつながるか
17 資金調達条件は能力投資の継続、調整、中止にどのような影響を与えるのでしょうか?
18 拠出、管理、給付の取り決めが次の投資ラウンドにどのように影響するか
19 現在の出発点は著者によって確認されています
20 科学研究の共同建設、運用資産、収益再投資の関係
21 Company Zero の科学研究の実践、運営体制、および証拠の状況
22 研究成果と実践評価
23 付録のナビゲーション
24 図解付きの読み物と編集可能なドキュメント
25 AOM分類と研究対応
26 生態学的モデルと全体的な蓄積
27 原稿と原論文
28 既存の方向性とメソッドの継続的な継承
29 資本と金融のための共通の分析言語
30 WISERUNION アグリゲーションおよびパーソナライゼーション ソリューション
31 ポリマー製品カタログと研究事業
32 統合されたサービスカタログと調査事業
33 サプライヤー、全国地域および責任組織
34 ソリューションの参照方向: 資本経路と市場接続
35 ソリューションの参照方向: デジタル運用と連携
36 ゼロ社の実践推進条件
37 Company Zero の調査インデックスとレビュー
38 出典索引 · 研究と方法
39 ソースインデックス · ビジネスと実践
40 出典索引・学術的位置づけとモデル補足
41 出典インデックス · オリジナルの寄稿と比較文献
42 画像に付随する完全な同等のテキスト
43 研究と実践

目次をクリックするか、PDF のブックマークを使用してジャンプします。画像プレビューは、テキスト内の元の画像に配置されます。編集可能なソース ファイルについては、V1.6 最終添付パッケージを参照してください。

- **著者:** Andrew David W.Y.
- **バージョン:** V1.6 ・研究概要の最終版
- **リビジョン ID:** V1.6-F20261126-最終研究概要
- **バージョンの日付:** 2026 年 11 月 26 日
- **最終草案:** V1.6 戦略的経営研究 改訂版 · 2026 年 11 月 26 日
- **目的:** チームのレビューと使用を考慮した個人研究の概要
- **主な学術的位置づけ:** AOM戦略経営（STR）を主な学術基盤とする学際的な研究プログラム
- **練習の目標:** ゼロ社。比較と境界識別のための外部ケース
- **プロモーション原則:** 固定期限なしで、条件、証拠、段階的な結果に従って進めます

読書パス

最初にお読みください研究概要そして研究の位置づけ、もう一度見てください共通の説明モデルと5 方向と 15 本の路線。さらに詳しく知りたい場合は、読み続けてくださいオリジナルの投稿、比較と調査方法、3 つの主なトピックとカンパニー ゼロの実際的なつながり。長期的な資本関係の経路を検討する場合は、次のように入力します。概念的な境界線。

- **3 つの主なトピック:** 証拠収集命令 · 技術、組織、能力 · 設備投資と設備投資 · 寄付、出資、フォローアップ投資
- **チーム学習カード:** フラッグシップ1・第1弾プロジェクトと調達先 · C2 · 受取、支払いおよび純利益
- **練習入口：**現在の出発点は著者によって確認されています · 営業資産の再投資と収益 · 実質的な昇進条件
- **位置付けと付録:**学術的な位置づけ · AOM/SMSのサポート · 従来モデル · 製品 · サービス · サプライヤー · 解決策 · 研究実績と事例
- **写真と出典:**絵画カタログ · 同等のテキストと画像 · 著者の研究と手法の情報源 · ビジネスソース · 学術情報源 · 比較文献への貢献

ビジネスおよびプラットフォームの情報を見つけるには、付録に直接アクセスできます。 Company Zero がどのような種類の仕事から証拠収集を開始するかを確認したい場合は、最初に読むことができます3 つの主なトピックの証拠収集の順序。

研究概要

公的表現:**技術がビジネスを動かし、科学技術が変革を導く。** 上位レベルの提案:**技術変化への確実な適応と差別化。**

> 技術が変化するなかで、企業はビジネスモデル、組織のあり方、資本の仕組みをどう調整し、企業能力を形成・更新し、価値を創造・獲得するのか。なぜ似た技術を導入した企業が、異なる長期的な経営成果と発展経路をたどるのか。

一般的な概要を最もよく表す質問

同業他社が同様のテクノロジーを入手できた後、企業はどのようにして自社の能力を開発し、競争で利益を維持し、次の投資ラウンドの条件を作り出すことができるのでしょうか?まず、同様のテクノロジーの供給に直面している企業が、元の慣行を採用、延期、継続するなど、どのような選択をしているかを見てみましょう。次に、実際の使用状況が類似している事業を比較して、組織方法や資本配置がその後の業績にどのような影響を与えるかを確認します。

顧客への配送を例に挙げると、最初に何が救われましたか?次に同じような仕事が来たとき、あなたはうまくやることができますか？お客様が再度購入する際に誰を選びましたか?これらを結び付けることで、誰が利益を得て、企業が次の投資ラウンドをサポートするために何を使用するのかが明確にわかります。

私が最も積み上げてきた研究の道

ステークホルダーはどのようにして企業の長期的価値に関連する権益を自発的に取得し、保持し続けるのでしょうか?このような取り決めは、どのような条件下で知識の共有、献身的な投資、継続的な協力に変化をもたらすでしょうか?例えば、パートナーがサービスを終了した場合でも、過去に取得した権利や利益は合意どおり引き続き尊重されます。次の協力の機会が生じたとき、彼はもっと積極的に投資するだろうか、それとも権利を保持して他のことにエネルギーを投資するだろうか?どちらのオプションも説明に値します。長期資本関係の形成と持続メカニズム

5 つの研究方向が、さまざまな観点から全体的な質問に答えます。 A はスマート テクノロジーの導入と組織再編を、B は能力の蓄積と更新を、C は顧客価値、競争と収益獲得を、D は投資、融資、資本配分を、E は権利、インセンティブ、協同組合のガバナンスを検討します。 AI は認知および作業テクノロジーであり、ブロックチェーンは制度テクノロジーです。それぞれの役割は、特定のタスクとルールで比較する必要があります。理論、方法、および提案されている制度的取り決めには、それぞれ適用可能な条件があります。5 方向と 15 本の路線 · 共通の説明モデル

ゼロ社が練習対象です。私は定期的な顧客への提供を優先しており、ナレッジ コンテンツの構築では資料の引き継ぎや再利用も可能です。予算を決定する際には、代替案を文書化します。共同建設システムの準備中は、まず判断と意欲を検討し、ルールが発効するのを待ってから、実際の実施とその後の投資を検討します。外部の企業および同業他社のデータは、相違点を比較するために使用されます。長期資本関係と長期資本勘定が私が提案する 2 つの主な貢献であり、他の 4 つの貢献候補は個別にテストされます。長期的には、スマートテクノロジーや制度的取り決めの変化によって、企業やステークホルダーの組織形態がどのように進化するのかを懸念しています。

> **誰を知っているかがつながりの出発点です。一緒に何ができるかは、コラボレーションがどのように組織されるかによって決まります。**

研究の位置づけと中核問題

公的表現

> 技術がビジネスを動かし、科学技術が変革を導く。

ここでの「テクノロジー」は企業に導入される特定のアプリケーションに焦点を当てているのに対し、「テクノロジー」は科学的知識と技術開発のより広範な影響に焦点を当てています。テクノロジーは可能性をもたらしますが、ビジネス ニーズ、競争、組織、資本の取り決めがテクノロジーの採用とその結果に影響を与えます。研究では、変更がないこと、失敗したこと、さまざまな開発パスが許容されており、テクノロジによって業務が必然的に改善されるとは予測されていません。

上位レベルの提案

> 技術変化への確実な適応と差別化。

一般的なトピック

知能技術の変化における企業能力と資本ガバナンスの研究

中心となる研究課題

> 技術が変化するなかで、企業はビジネスモデル、組織のあり方、資本の仕組みをどう調整し、企業能力を形成・更新し、価値を創造・獲得するのか。なぜ似た技術を導入した企業が、異なる長期的な経営成果と発展経路をたどるのか。

この研究では、企業を中心的な分析対象とし、テクノロジーの変化に直面して企業がビジネスモデル、組織方法、資本配置をどのように調整するかを比較し、能力の形成と更新、価値の創造と獲得、長期的な経営成績と発展経路が異なる理由を説明します。 5 つの方向性と 15 のメインスレッドが連携して質問を整理し、特定の調査によって候補者の説明を裏付けたり、認定したり、否定したりできます。

中核問題の拡大	研究課題
How do companies adjust their business models, organizational methods and capital arrangements?	要件、競合、タスク、テクノロジーおよびリソースの制約を比較し、採用、組み合わせ、従来の代替、調整なしなどのオプションを観察します。
How are capabilities formed and updated, and how are values created and obtained?	仕事と組織の変化、学習と能力の維持、顧客の使用状況と実際の支払い、競争、権利、資本配分の下での価値の獲得をそれぞれ追跡します。
Why do similar technologies correspond to different long-term results and paths?	組織と資本の状態、プロセス、異時点間の結果を比較し、能力の喪失、協力の中断、事業の失敗、重大な変化がないなどの状況を含め、説明の適用範囲を特定します。

Specific development of core issues: similar technologies and different results

> Why do companies using similar smart technologies produce different long-term operating results?組織と資本の取り決めは生産能力の蓄積にどのように影響するのか、新しい価値を最終的に誰が獲得するのか、そしてこの配分は次の投資と協力にどのような影響を与えるのでしょうか?

この既存の質問は、一般質問における「類似の技術と異なる結果」の質問をさらに拡張し、組織の調整、能力の蓄積、価値の獲得と次の投資ラウンドを結びつけます。 「付加価値」は引き続き分析・測定の概念として用いられており、特定の制度の対象となる所得を新たな所得だけに絞ることはできない。

Important supporting issues: organizational capabilities and operating asset formation

> どのような組織およびガバナンス条件の下で、分散した知識、専門的能力、社会的関係および資金を、企業が持続的に使用できる能力および運用資産に変えることができるでしょうか? How can the corresponding returns support participants' continued investment?

この質問では、分散した要素が実際の業務にどのように組み込まれ、タスク、役割、分業、使用関係、組織配置において継続的に使用されるかを研究します。企業の適応と差別化を説明するためのサポートを提供するために、能力のパフォーマンス、運用資産の境界、投入コスト、および参加者の収益が個別にチェックされます。

Important research path: the relationship between stakeholders and long-term capital

> ステークホルダーはどのようにして企業の長期価値に関わる権益を自主的な選択と制度的ルールに基づいて取得し、保有し続け、長期的な資本関係を形成できるのでしょうか？この関係は、組織形態、能力蓄積、収入分配、継続的な協力にどのような影響を与えるのか、また資本運営を通じてどのように継承され、実現され、継続されるのでしょうか?

この蓄積は引き続き利害関係者と長期資本の間の関係経路に置かれ、主に E の権利、インセンティブ、協同組合のガバナンスと D の資本運営を結びつけながら、B の能力蓄積、C の価値創造と獲得、A の仕事と組織方法に対するその結果を比較します。ステークホルダー資本理論、長期資本関係、長期資本勘定、NST、エコロジー・ガバナンスと4つの資本などを、その実態に応じた理論的説明、手法、ガバナンス体制、実践的道筋として研究します。 5 つの方向には、他の十分に根拠のある説明や配置も含まれています。

長期的な資本関係は依然として、効果的な取り決めに従って会社の長期的な価値と資本戦略に関連する株式を自主的に受け入れ、保有し続ける参加者に限定されています。株式の取得、保有継続、業務提携、実績、譲渡、買戻しを個別に観察。したがって、定期的な賃金、消耗品、有料会員権および継続的なサービス自体は資本関係にはならず、また、一度限りの取引とみなされません。具体的な定義と境界については、以下を参照してください。長期資本関係と営業資産の概念的な境界線。

解釈枠組み、技術的条件、研究レベル

認識技術および作業技術としての AI と、制度技術としてのブロックチェーン。特定のトピックにおける採用、非採用、併用採用、または従来の代替の比較、およびこれらの選択の条件の違い。テクノロジーの使用自体は、能力の形成、価値の実現、または長期的な資本関係の確立を証明するものではありません。

共通の説明モデル一般的な研究課題におけるメカニズムを説明し、技術、組織、能力、資本を結び付け、既存のメカニズムの内容を継続して使用するために使用されます。研究の概要については、以下を参照してください。研究概要。

上位レベルの命題→一般的なタイトル→中核課題→5つの第1レベルの方向性→15の連続した主要行→具体的な研究テーマ→理論、計画、方法、証拠。

既存の研究蓄積は全体的な問題に従って整理されており、全体的なテーマ、5つの方向と15の主要なラインの元の名前と階層が維持されています。理論、モデル、プログラム、方法、ツールは、実際の特性に基づいて候補となる説明や実践的なアレンジメントを提案し、他の研究者の結果を吸収し続け、比較、実証、テスト、修正を通じて蓄積されます。提案された 2 つの主要な貢献と 4 つの補助候補は、私が提案した貢献の組み合わせです。優先順位、議論および証拠のステータスは保持されますが、概要に関するすべての研究を表すものではありません。

5 つの方向は研究内容に答え、学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの側面は実際の業務がどのように組織されるかに答えます。この 2 つは 1 対 1 に対応しません。 4 つの生態系は引き続き参加者と関係を組織し、4 つの資産は長期的な資産管理と運用戦略の原則的なロジックを説明するために使用されます。長期的な懸念は、スマートテクノロジーと制度的取り決めの変化の下で、企業と利害関係者の組織形態がどのように進化するかである。この問いは、ある形態が必然的に現れることを前提とするものではなく、企業レベルの説明を社会全体を説明したものとして一般化するものでもありません。

研究範囲と実践目標

Company Zero は、科学研究成果の全体的な実践的な伝達者であり、運営を継続し、外部収入を生み出し、資本運用を実行する実際の組織です。科学研究の成果は、その運営、組織、実行、能力構築、資本配分、および協力的なガバナンスを通じて実行されます。実際の使用状況、結果、逸脱、新たな問題が科学研究にフィードバックされます。学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本は、相互に関連した 5 次元の運営構造を形成しています。つまり、組織の方向性と理論、基本的な参加アイデンティティ、社会的および組織的リソース、営利事業、資本運営、および 4 つの資本サイクルです。 5 次元の操作は、確立された 5 つの研究方向と 15 の主要なラインによって実施されますが、どちらも異なるレベルにあります。

他の企業、顧客、協力プロジェクトは実際のコラボレーション、事例、比較、境界特定に使用され、各主題のインプット、権利、結果は個別に記録されます。

研究をどのように進めるかは、研究の状況、エビデンスの蓄積、段階の結果によって決まります。決まった時間制限はありません。モデル提案、計画策定、実際の実施、結果の活用、効果の実証を個別に登録します。

学術的な位置づけと分類の根拠

主な学術基盤

この研究は以下に基づいています **戦略的経営（STR）** 主要な学術基盤として、デジタル技術と組織、技術革新、組織理論、組織変革、認知と学習、ステークホルダーのガバナンス、組織行動、運営上のコラボレーションが交差します。企業金融、資本市場、金融法の分野は、資本運用の研究に隣接して必要な分野です。

この位置付けは主に AOM の現場声明に基づいています。STR は、企業が異なる条件下で異なる異時点間のパフォーマンスを展開する理由に焦点を当て、リソースと能力、組織の境界、戦略の実行、ガバナンス、提携、合併と買収などの問題を扱います。参照 AOM STR 公式ドメインの説明。

分類の役割と適用範囲

AOM と SMS は、経営と戦略研究にとって重要な学術コミュニティです。グループ分けは、文献、同僚、会議を見つけるのに役立ち、研究上の会話の参考にもなります。この分野の定義には、学会の公式声明が採用されています。本要綱と各分野との対応関係は、中核課題や分析レベルからの位置付け判断であり、学会による認定を意味するものではありません。

この研究は、独自の一般的なテーマに焦点を当て、「5つの方向と15の主要な線」を使用して問題を整理します。これは複数の国際的な研究分野と連携するものであり、すべての学者が採用しなければならない統一的な分類としては機能しません。

レベル	取り組んだタスク	更新方法
一般的なタイトルと主要な問題	一般的な調査と研究の境界を決定する	継続性を維持し、変化に応じて主要な問題をレビューする
5 方向と 15 本の路線	組織に関する文献、トピック、実践および結果	安定指標として深化を継続
理論とモデル	メカニズムの説明とテスト可能な提案を提供する	他の説明と比較し、証拠に基づいて修正する
ソリューション、方法、ツール	問題を実装、文書化、分析のための取り決めに変換する	該当する条件をテスト、比較、改善し、説明する
実践と証拠	実際に発生した入力、アクション、結果を検証する	既存の判断を支持、制限、または否定する

全体的な研究声明

この研究の上位レベルの命題は次のとおりです。**技術変化への確実な適応と差別化。**

核心的な問題は、テクノロジーの変化に直面して、企業はビジネス モデル、組織方法、資本配置をどのように調整して、機能を形成および更新し、価値を創造し獲得するかということです。同様のテクノロジーを使用している企業が、長期的な業績や発展経路が異なるのはなぜでしょうか?

この質問は、企業の各時点における業績と発展経路がなぜ異なるのかを説明することを目的としています。この目的を達成するために、テクノロジーの導入、ビジネスモデル、組織再編、能力の蓄積、価値の獲得、資本の手配を結び付けます。主な学術基盤は依然としてSTRであり、特定の論文は中心的な問題と分析のレベルに応じて、テクノロジーと組織、学習、ステークホルダーのガバナンス、必要な財務などの分野に分割されています。ここで調整するのは本要綱における設問の接続であり、既存の学会分野の記述、分類元、適用範囲は維持される。

分散した要素をどのようにして持続的に展開できる機能と運用資産にすることができるかは、依然として疑問を裏付けるものです。ステークホルダー資本、長期資本関係、長期資本勘定、NST、エコロジー・ガバナンスと4つの資本などを、実際の性質に応じた具体的な理論的説明、手法、ガバナンスの取り決め、実践的な道筋に使用します。長期資本関係の問題は主に E と D を結び付けますが、B、C、A の結果を比較します。元の概念的境界と研究の蓄積は保持され、他の方向にも独自の理論的問題、説明、結果が存在する可能性があります。

特定のトピックでは、AI の認知的および作業的役割、ブロックチェーンの制度的および技術的役割を比較し、さらに採用、組み合わせ、従来の代替および条件の違いも比較します。提案された 2 つの主要な貢献と 4 つの

補助候補は、私が提案した貢献の組み合わせであり、議論、優先順位、および証拠のステータスは保持されます。これらの蓄積は大枠に関する研究のすべてを表しているわけではなく、これに基づいて独自性を判断することもできません。

既存の生態学的ガバナンス、4方向SOP、AI運用能力、資本メカニズム、ブロックチェーンシステム技術がこの研究のモデル、方法、そして実践的な出発点です。 AIのタスクと認知的役割、ブロックチェーンの制度的および協調的役割、特定の課題に応じてCTO、OMT、STR、SIMと隣接分野を結び付ける、技術名は学術的貢献に代わることはできません。具体的な貢献は、命題、比較設計、メカニズムの証拠、方法または制度設計を通じて確立されます。提案された増分と現在のステータスを以下に示します。オリジナル投稿の位置づけと検査。

学術分類と具体的な論文

各トピックでは、主な研究上の疑問を明確に記録し、主な学術的帰属を明確にし、いくつかの十分に根拠のある複数の分野を横断する必要があります。特定の論文では、理論的貢献と分析のレベルに基づいて対話領域が選択されます。技術名、業界名、ツール名を学術的な問題に直接置き換えることはできません。

長期的な焦点: 組織形態はどのように進化するか

この研究の長期的な関心は、スマートテクノロジーと制度的取り決めの変化の下で、企業と利害関係者の組織形態がどのように進化するかという未解決の調査である。研究は、テクノロジーの変化に直面した際の企業のビジネスモデル、組織形態、資本配置から出発し、能力の形成と更新、価値の創造と獲得、長期的な経営成績と発展経路を比較し、組織形態がどのような条件下で継続、調整、または変化するかを調査します。

特定の組織とそのパートナーシップ内で、テクノロジーがどのようにタスク、プロセス、認知、コラボレーションに導入されるのか、どの変更が保持および転送されるのか、どの変更が特定の人、テクノロジー、または関係に依存したままになるのかを調査します。テクノロジーは可能性をもたらしますが、需要、競争、組織および資本の状況も選択と結果に影響を与えます。採用、組み合わせ、従来の代替、明らかな変更や失敗はすべて観察されなければなりません。より高度なテクノロジーが必然的により良い成果や新しい組織形態をもたらすとは考えられません。

分散した要素は、サポートを提供する能力と運用資産に変換されます。ステークホルダーと長期資本との関係は、比較可能な具体的な経路です。つまり、参加者が企業の長期価値と資本戦略に関連する利益をどのように自発的に受け入れ、保持し続けるか、組織、能力、利益、協力関係がどのように変化するか、そして資本運営がこれらの関係をどのように引き受け、尊重し、継続するかということです。保有、提携、利益、業績は引き続き個別に調整されており、この方法は他の組織および資本の取り決めとの比較に代わるものではありません。

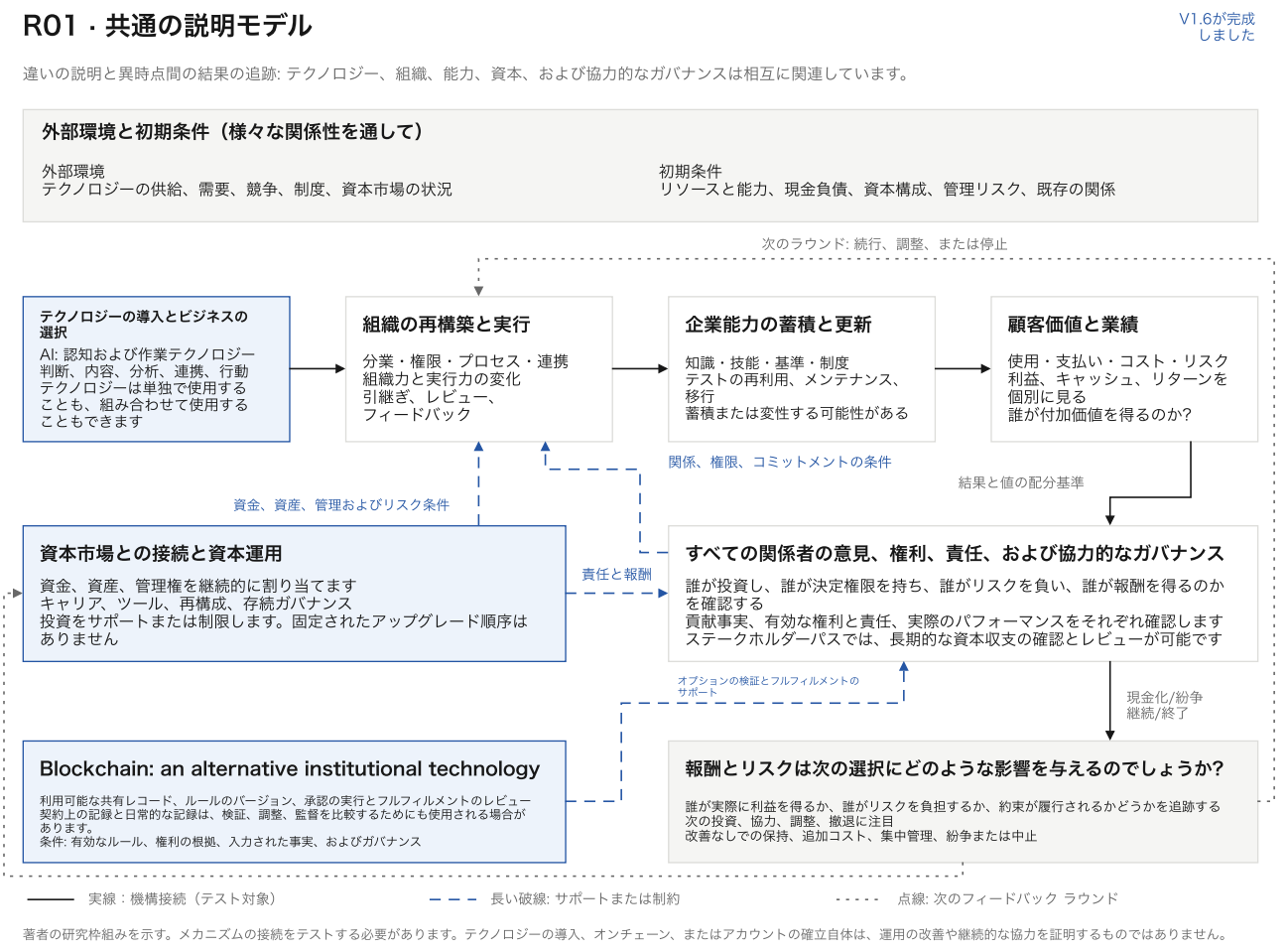
AI の認知と作業の役割と、ブロックチェーンの制度的テクノロジーの役割が、採用、組み合わせ、伝統的な代替、条件の違いなどの特定のトピックに基づいて比較されます。テクノロジーの利用自体が資本関係の形成を証明するものではなく、特定の組織形態が優れていることを証明するものでもありません。

現段階では、企業、実際のタスク、検証可能な協力関係が依然として分析の主な対象であり、5 つの方向と 15 の主要なラインに従っています。特定の発見が組織形態の広範な変化を説明できるかどうかには、適用範囲の実証が必要です。人間の組織形態が 1 つの組織の実践に基づいて必然的に変化すると推測することはできません。また、この研究が社会全体を説明したと主張することもできません。

共通の説明モデル

> これらの選択により、企業がテクノロジーを導入し、働き方を調整し、資本と管理を割り当てる際に能力を蓄積する方法はどのように変化するのでしょうか?顧客は何を認識し、企業や他の参加者はどのような利益を達成し、どのようなリスクを負い、次の投資、協力、撤退をどのように決定するのでしょうか?
>
> ステークホルダー間の長期資本関係の研究過程で、私は長期資本勘定が権利と利益の確認、履行、見直しをどのようにサポートしているかをさらに調査します。複数の当事者による検証が必要な場合は、ブロックチェーンを他の記録方法と比較して、特定の条件下でどの構成が機能するかを確認します。

図R01・共通説明モデル



著者の研究枠組みを示す。メカニズムの接続をテストする必要があります。テクノロジーの導入、オンチェーン、またはアカウントの確立自体は、運用の改善や継続的な協力を証明するものではありません。

テクノロジーと組織の取り決めは企業の能力をどのように変えるのか、すべての関係者はどのように利益を得てリスクを負うのか、そして次の投資、協力、撤退をどのように決定するのでしょうか?この図は、長期資本勘定を使用して、ステークホルダーの経路における権利と責任の配置を示しています。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 外部環境と初期条件がそれぞれの関係を買いています。テクノロジーの導入と運用の選択が、分業、権限、引き継ぎ、フィードバックを通じて機能の蓄積または低下にどのような影響を及ぼし、さらに顧客の使用状況、支払い、運用結果にどのような影響を与えるかを検討する必要があります。 AI は、判断、内容、分析、コラボレーション、およびアクションを行うことができます。資本市場とのつながりと資本運用

は、資金、資産、支配権の配分を通じて投資を支援または抑制します。各当事者が何を投資し、誰が決定権を持ち、誰がリスクを負担し、誰が実際に報酬を得るのかを観察し、それぞれ貢献事実、実質的な権利と責任、実際のパフォーマンスを確認します。ステークホルダー間の長期的な資本関係の過程において、長期資本勘定は、関連する権利とパフォーマンスを確認およびレビューするために使用できます。制度的テクノロジーの比較には、ブロックチェーンの共有記録、ルールのバージョン、認可の執行とパフォーマンスのレビュー、契約と日常的な記録が含まれます。検証、調整、監督、執行はすべて、有効なルール、権利の根拠、入力された事実、ガバナンス条件をチェックします。 AI とブロックチェーンは、独立して、単独で、または組み合わせて使用できます。営業結果、利益、リスクは次の資本および組織の取り決めにフィードバックされ、当事者の投資、協力、調整または撤退の決定を追跡し、改善の余地がない、追加コスト、集中管理、紛争または停止などの結果が保持されます。

外部環境と初期条件

外部環境: テクノロジーの供給、顧客の需要、製品および要素市場の競争、制度的環境、ならびに融資の利用可能性、資本価格、資本市場の価格設定と流動性、投資家の要件と撤退条件。

初期条件: 既存のリソース、組織能力と資産ベース、キャッシュ フローと負債、資本構造と資金調達能力、所有権、管理、リスクテイク、既存の利害関係者との関係。

AIとブロックチェーンの研究の位置付け

この研究は、労働テクノロジーと組織テクノロジーの両方に焦点を当てています。**AI は主に認知技術と作業技術の研究として使用されます。ブロックチェーンは明らかに組織的な技術研究として使用されています。** この区分は研究の焦点を指します。 2 種類のテクノロジーの実際の使用法は重複する可能性があり、単独で使用することも、組み合わせて使用することもできます。

技術的な位置付け	この研究の課題	主なメカニズムと条件
AI: 認知および作業テクノロジー	分析、判断、コンテンツ生成、タスクの実行、コラボレーション、学習をサポートし、プロセス、役割、レビューとどのように適合するかを検討します。	判断と学習、役割分担、組織と調整、ミスと引き継ぎ。データ、タスク、権限、人々の能力に基づいた観察
ブロックチェーン: 制度的テクノロジー	エンティティ全体で記録、ルールのバージョン、承認された実行およびトレーサビリティのステータスを共有することにより、組織の貢献の確認、権利と責任、コラボレーションと履行に参加します。	検証、調整、監督、コミットメントおよびパフォーマンス。オフチェーンの事実、効果的なルール、権利基盤、リソース、ガバナンスの観察と組み合わせる
2種類のテクノロジーの組み合わせ	AI が意思決定や行動にどのように関与するか、組織の技術サポートの認可と責任記録、それらが共同して業務や協力にどのような影響を与えるかを研究します。	誰が決定し、誰が実行し、誰がレビューし、誰が責任を負うのかを明確にし、技術的、組織的、制度的取り決めの役割をそれぞれ検討します。

「制度的テクノロジー」では、テクノロジーが経済調整やガバナンス規則の組織と運用にどのように関与するかを研究します。この研究では、ブロックチェーンは長期資本口座をリンクするだけでなく、タスクの引き継ぎ、知識とデータの権利、サプライヤーの協力、貢献のレビュー、資本権の接続も含まれます。どの実装方法が採用されるかは、具体的な関係と比較結果に依存します。

ブロックチェーンを制度的テクノロジーとして位置づけるための学術的基盤があります。を参照してください。デビッドソン、デ・フィリッピ、ポッツ (2018)。契約および関係ガバナンスとそのガバナンス役割の代替または補完性、およびその適用可能な境界については、を参照してください。 ルミノー、ワン、シルケ (2021)。この研究では、これに基づいて具体的なメカニズムと設計の問題を提起します。 [63、66]

メカニズム1：テクノロジーが経営、組織、実行方法の変化を促す

能力レベル	研究力	主な所見
動作電力	誰にどのような価値を生み出すかを決定し、事業と投資レベルを選択する	機会の判断、ビジネスのトレードオフ、顧客価値、リソースおよび投資の決定
組織力	成果要件をプロセス、責任、承認、リソース割り当てに実装して相互依存関係を調整する	人間と機械の分業、意思決定の権利、組織の境界、リソースの可用性、および役割を超えたコラボレーション
実行力	意思決定を信頼性の高い配信に変換し、逸脱に対処し、完全なフィードバックを実行します	アクションの遅延、引き継ぎ、品質、やり直し、承認、例外、問題の解決

研究チェーンは次のとおりです。**テクノロジーの選択と導入 → 分業、権限、プロセス、レビュー、コラボレーションの変化 → 組織能力と実行能力の変化 → 企業能力の蓄積 → 顧客価値と業績。**

AI は主にタスク、判断、アクションからこのチェーンに入ります。制度的テクノロジーとしてのブロックチェーンは、事実の共有、権限の確認、ルールの実行、パフォーマンスのレビューから始まります。テクノロジーと組織システムの選択のそれぞれの役割を区別し、両者がどのように相互に補完し合うかを検討する必要があります。

エンタープライズ機能を調査する場合、これらの改善が人、タスク、ツール、期間を超えて繰り返し、維持、移行、更新できるかどうかも確認する必要があります。テクノロジーは実行を改善する可能性があり、調整の負担や依存性を高める可能性があり、結果は特定の条件と比較証拠に基づいて判断する必要があります。

メカニズム２：資本市場の接続と資本運用

資本運用とは、事業基盤と開発ニーズに基づいて適切な主体、財務権、ツール、取引構造を通じて資本市場に接続し、資金とリソースを組織し、資産と管理権を調整し、収益、リスク、ガバナンス、エグジットを継続的に処理する企業を指します。

抽象関数	特定の経路または手段	モデルの問題点を共同で説明する
資本キャリアと市場参入	IPO、上場ルート、上場主体の買収など	企業は資本市場に接続するためにどのような主題と制度的条件を利用していますか?
金融商品と取引構造の組織図	適用される株式、負債、転換権、および STO 関連の取り決め	期間、リターン、コントロール、責任、リスクを設定する方法
資本の取得と資源の再配分	発行ファイナンス、M&A、資産取引等	企業が実際にどのような資金、資産、または経営権を取得し、どのように運営するのか
継続的な資本運用	開示、投資家情報、流動性条件、償還、分配および出口管理	資本関係を維持し、義務を果たし、その後の投資をサポートする方法

IPO、上場後の証券商品、および STO は、組み合わせることができるパス、構造、実装の取り決めであり、固定されたアップグレード シーケンスを構成するものではありません。それが適用可能かどうかは、主題、市場、基礎となる権利、および対応する制度的条件に基づいて検討されるべきである。上場、発行、取引へのアクセス、および実際の資金調達は個別に観察する必要があります。

上場後の継続的な義務および証券発行要件については、以下を参照してください。 SEC公開会社の概要。証券のトークン化には、基礎となるセキュリティの権利と技術的な実装という 2 つのレベルが含まれます。 証券トークン化関連活動に関する香港証券先物委員会の通達。これらの資料は概念や分類を明確にするために使用されるものであり、特定の市場ルールをすべての地域に統一した取り決めとして促進するものではありません。

長期経営戦略における4つの資本の論理

Company Zero は、資源、資産、資本、資金の相互変換と循環の論理に従い、資産管理と長期的な発展を組織します。資本運用や金融商品を通じて高品質な資源の継続的な導入をサポートし、資産管理を通じて価値を創造し資本を還元し、次の資源の取得、育成、運用をサポートします。

このロジックは、資源基盤、資産管理、資本組織、資本循環がどのように関連しているかを見て、長期的な経営戦略を説明するために使用されます。参照してください資本と金融のための共通の分析言語そして図R24。[67]

メカニズム 3: 制度的テクノロジーとしてのブロックチェーンが長期的な資本関係をサポート

このモデルにおける「ステークホルダー資本」の課題は、さまざまな参加者の継続的な投資が、出資の確認、権利調整、実績を通じてどのように持続可能な長期資本関係を形成できるかを研究することです。

長期資本勘定これは、研究および試行されるシステムおよび技術キャリアであり、次のコンテンツを継続的に接続するために使用されます。

アカウントレベル	関連コンテンツ	検証の根拠
アイデンティティと人間関係	参加主体、所属生態、複数の役割と協力関係	アイデンティティ、実際のタスクまたは取引関係、適用範囲
出資・寄付	労働力、知識、技術、顧客のフィードバック、チャネル、リソース、設備投資と成果	出典、証拠、確認機関、レビューおよび異議
権利と責任	定められたまたは条件付きの報酬、収入、使用権、参加資格、責任およびリスク	有効な契約、適用される規則、権利の種類および履行の対象
フルフィルメントとガバナンス	履行、監督、紛争、改訂、継続および撤回	実績・認可・決定・変更記録

研究目標は、リソース、顧客、運用管理、資本生態学におけるさまざまな利害関係者を対象としています。同じ事業体が複数の役割を持つことができ、報酬、契約、サービス、インセンティブ、投資、ガバナンス取り決めはそれぞれの関係に応じて個別に認識されます。

制度的なテクノロジーとして、ブロックチェーンは、必要な記録、ルールのバージョン、パフォーマンスステータスのトレーサビリティと承認された実行をサポートし、エンティティ全体にわたる検証、調整、監督、パフォーマンスの方法がどのように変化するかを研究するために使用されます。このアカウントは、投資、コラボ

レーション、貢献、分配、ガバナンス、および終了を通じて実行されます。貢献事実、有効な権利、実際の実績および協力結果は個別に検証されます。口座記録は、自動的に有価証券口座、支払資金、または資本と一致するわけではありません。

この研究は以下に関連しています WISERUNION の長期資本勘定設計お互いにつながりましょう。公共の意匠と実際の成立・発動・施行・効果は別々に登録されます。

長期資本勘定と資本運用の間のインターフェース

長期資本勘定には、参加関係、拠出ベース、権利、責任、および業績状況が記録されます。資本運用では、適切な主体、有効な権利、および市場状況の下で、どの取り決めを金融商品または取引構造に結び付けることができるかを研究します。

発行、組織再編、または支配権の変更後は、対応するアカウントとルールに戻り、該当する利益、責任、ガバナンス関係を確認してください。口座記録、証券取引、資金の受払いは個別に確認され、特定の権利と実際の出来事を通じて関連付けられており、すべての参加関係が一律に証券化されるわけではありません。

イラストによる文章表現

1. テクノロジーと環境の変化は、ビジネスの選択、人間と機械の分業、組織の境界、認可と実行方法に影響を与えます。
2. 組織および実行の変更は、知識、スキル、標準、システム、および協力能力の蓄積または低下に影響を与えます。
3. 顧客のニーズ、競争、あらゆるコストとリスクのテストを受け入れる能力。その結果、異なる経営結果がもたらされます。
4. 資本市場の接続と資本運用は、投資前、実行中、結果後もリソース配分、管理、リスクテイクをサポートまたは制限し続けます。
5. 市場競争と効果的な契約を組み合わせて、すべての当事者のインプット、意思決定権、リスク、実際の利益をチェックし、約束がどのように履行され、紛争がどのように検討されているかを追跡します。利害関係者の長期的な資本関係の経路では、長期資本勘定を使用して、貢献、権利、責任、業績を記録できます。
6. 履行、信頼、協力、撤退は、次の投資、組織調整、能力更新、資本運用にフィードバックされます。

境界を一緒に観察してテストする

- 企業側は、能力、資産、営業キャッシュ、資本構成、および管理の変更を追跡します。寄稿者側は、投資、該当する資本、責任、リスク、実際の利益を追跡します。
- 能力の蓄積、資産形成、資本関係の確立、資金調達、利益の実現は個別に認識されます。会計上の利益、営業キャッシュ、市場評価および投資収益は個別に報告されます。
- 企業融資収入、投資家譲渡収入、買い戻しおよびその他の支出は、それぞれ支払主体および支払先として記録されます。
- さまざまなツール、テクノロジー、制度的取り決めを比較します。一方で、改善の余地はなく、追加コスト、集中管理、紛争、中止という結果が残ります。

> 図の接続はすべてテスト対象の関係です。オンチェーン、システムの起動、発行の完了、アカウントの確立、または書類の受理だけでは、組織の能力、運営実績、または継続的な協力の証明を構成するわけではありません。

5 方向と 15 本の路線

第 1 レベルの方向	継続研究メインライン	研究課題全体の分業
A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築	A1 タスクとテクノロジーの適応。 A2 プロセスと人間と機械のコラボレーション。 A3 テクノロジーへの依存と組織の境界	テクノロジーの導入、従来の代替、組織再編の条件と結果を比較し、ビジネスの選択、組織能力、実行能力、コラボレーションの境界を検討します。
B. 企業力の蓄積と更新	B1 知識の蓄積とフィードバックの変換。 B2 人間と機械の学習とスキルの変化。 B3 能力の保持と移転可能性	研究能力の形成、維持、更新または喪失、異時点間の使用および移行の条件
C. 顧客価値、市場競争、収益獲得	C1 要求の満足とビジネスの実現。 C2 競争と価値の獲得。 C3 ビジネス価値の測定	顧客認知、事業実現、競争における価値獲得の条件を検討し、価値の創造と利益の獲得を区別する
D. 投資、融資および資本配分	D1 ダイナミックな投資とプロジェクトの選択。 D2 資金調達マッチングと資本制約。 D3 資本管理、リスクと出口	資本市場のつながり、手段となる組織、積極的な資本運用が発展にどのように影響するかを説明する
E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス	E1 知識、データ、意思決定の権利。 E2 貢献の認識と特典の取り決め。 E3 組織横断的な取り組みとシステム調整	権利の一般的な配分、インセンティブ、協同組合のガバナンスを研究し、それらが行動、業績、協力の継続または中止に及ぼす影響を比較する

図R02・5方向15本線アーキテクチャ



An illustration of the classification of the author's research architecture; lines indicate hierarchical attribution, but do not indicate causality, order of progression, or proven original contributions.

5 つの方向のそれぞれに 3 本の本線があります。図の下の左の列は全体的な問題を 2 つのレベルの比較に落とし込み、右の列は長期的な資本関係に関する個人的な調査経路を示しています。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

方向間の組織関係

Aは仕事と組織の変化を研究し、Bは異時点間の能力蓄積を研究し、Cは市場テストと価値獲得を研究し、Dは投資と資本運用を研究し、Eは権利、インセンティブと協力を研究します。 5 つの方向は相互に関連しており、企業が決まった順序で開発する必要はありません。

営業力、組織力、執行力の再構築は、主にAとBを結び、Cを通じて経営成績を検証する。資本市場業務は主にDに入り、Eの権利と責任を結びつける。ステークホルダーと長期的な資本関係のパスは主に E と D を結び付け、B の能力の蓄積、C の価値の創造と獲得、A の仕事と組織の方法への影響を比較します。長期資本勘定は、この経路における取り決めであり、その実際の性質に従って研究されます。それぞれの方向には、他の理論的な説明、方法、実践的な道筋も含まれています。

研究帰属ルール

各トピックは主な問題と主な方向性を明確にし、二次的な関連性を使用してメカニズムや境界を説明する必要があります。 Cは顧客と製品市場に直面する企業による価値の実現と獲得を主に研究し、Eは主に参加者間の権利と責任、インセンティブと協力を研究します。証券市場の流動性は主に D の資本条件として機能します。

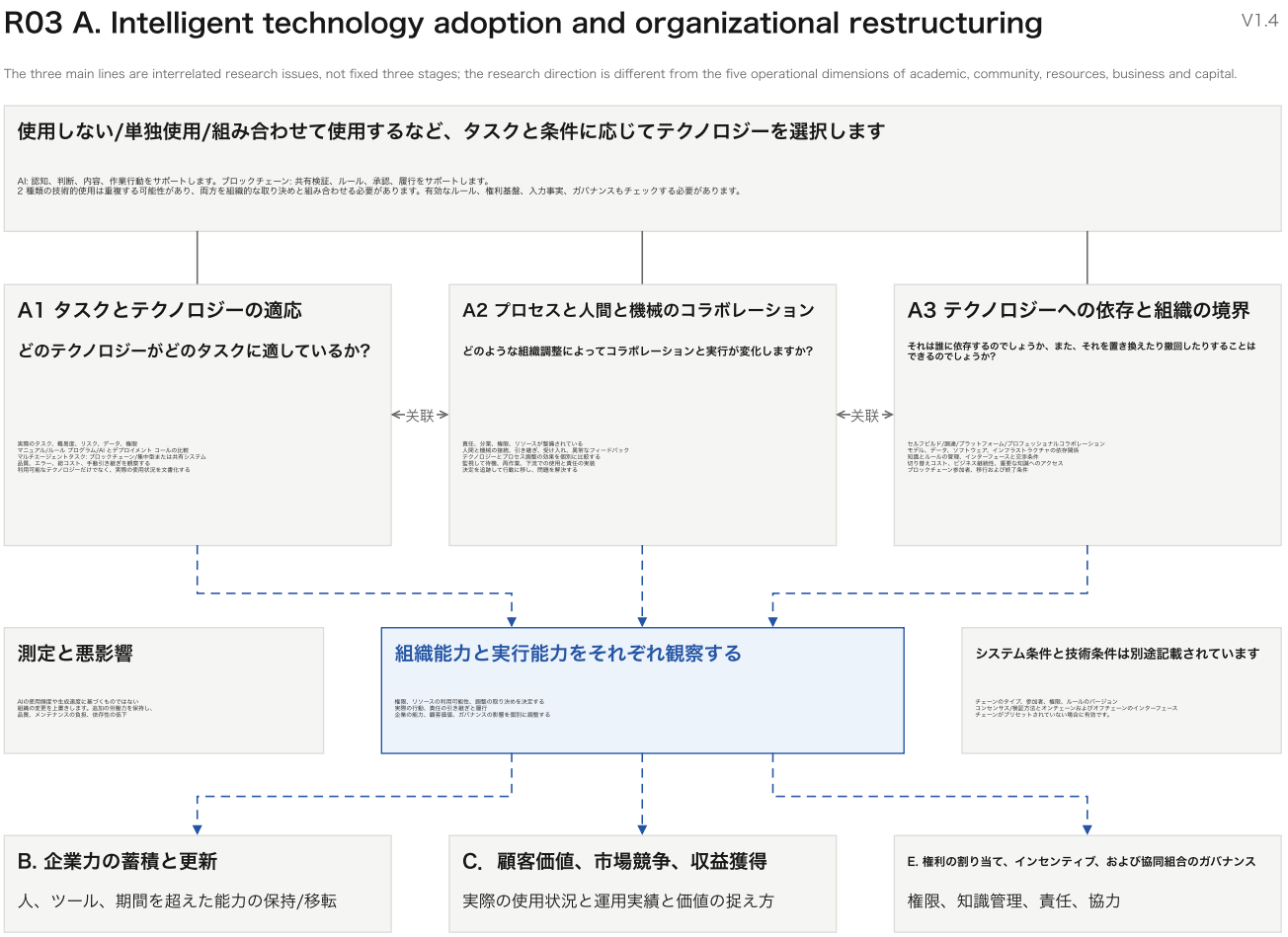
AI の認知および作業の役割と、ブロックチェーンの制度的テクノロジーの役割は、特定の問題に応じて 5 つの方向に結び付けることができます。A はタスク、権限、組織の境界への適応を研究します。 B は知識、ルール、能力の保持を研究します。 C は顧客価値と営業価値を調査します。 D 資本のつながりと配分を研究する。 E は貢献、権利、履行、協力を研究します。この主題は、採用、組み合わせ、従来の代替および条件の違いを比較するものであり、各企業が同じテクノロジーを使用したり、共通の前提として同じ資本配置を受け入れたりすることを想定していません。

テクノロジー、業界、製品、サービスの名前は、状況やキャリアを説明するために使用されます。理論と方法を用いて説明し検証し、五方位と十五の本線を用いて問題を整理し蓄積する。

A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築

この方向性では、AI の認知および作業の役割とブロックチェーンの制度的テクノロジーの役割を研究し、タスクの選択、人間と機械の分業、共有検証、プロセス、位置、権限、コラボレーションの境界を通じて、AI が運用、組織、および実行能力をどのように変えるかを確認します。同時に、組織変更のメカニズムと運用上の影響を比較します。

図 R03 · A. インテリジェント テクノロジーの導入と組織再編



著者の研究枠組みの模式図。矢印のない実線: 研究分類。双方向の実線: 問題の関連付け。青い点線: テスト対象のメカニズムと横断的な研究の間の接続。

タスクとテクノロジーの適応、プロセスと人間と機械のコラボレーション、テクノロジーの依存性と組織の境界という相互に関連する 3 つの問題に基づいて、テクノロジーと組織の配置を比較し、組織の強さ、実行力、B 能力、C 価値、E ガバナンスにつながるつながりを観察します。固定の 3 段階ではありません。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 方向性 A では、AI の認知と作業の役割、およびブロックチェーンの制度的テクノロジーの役割を研究します。タスクや状況に応じて、単独で、または組み合わせて使用できます。 2 つの用途は重複する可能性があり、両方を組織の取り決め、効果的なルール、権利基盤、入力事実、およびガバナンスと組み合わせる必要があります。 A1 タスクとテクノロジーの適応では、実際のタスク、難易度、リスク、データ権限を調査し、手動、ルールベースの手順、AI、および展開呼び出し方法を比較します。マルチエージェント タスクでは、ブロックチェーンと集中システムまたは他の共有システムを比較し、品質、エラー、総コスト、手動による引き継ぎ、および実際の使用状況を観察します。 A2 プロセスと人間と機械のコラボレーションに関する研究では、責任の分割、認可、リソースの可用性、人間と機械の接続、ハンドオーバーの受け入れ、および異常なフィードバックについて、それぞれテクノロジーの役割とプロセスの調整、観察と待機、手戻り、下流での使用、責任の履行と意思決定から行動と問題の解決までを比較します。 A3 テクノロジの依存関係と組織の境界をセルフビルド、購入、プラットフォームへのアクセス、専門的なコラボレーションと比較し、モデル、データ、ソフトウェア、インフラストラクチャの依存関係を追跡し、知識とルールの管理、インターフェース、交渉、スイッチングコスト、継続性、主要な知識へのアクセス、ブロックチェーンの参加者、移行と終了の条件を観察します。 3 つの主要な行は相互に関連しており、順序は固定されていません。組織力と実行力は別々

に観察されます。組織の変化はAIの利用頻度や生成速度だけでは表現できません。追加の労力、品質の低下、メンテナンスの負担、依存性などの好ましくない結果が残ります。制度的テクノロジーは、チェーンのタイプ、参加者、権限、コンセンサスまたは検証方法、ルールのバージョン、オンチェーンおよびオフチェーンのインターフェイスも記録します。オンチェーンが必ずしも有効であることを前提としていません。 B 企業能力の蓄積と更新、C 顧客価値市場競争と収益獲得、E 権利配分インセンティブと協力的ガバナンスとの関連性を引き続き検討する。矢印のない線は研究の分類を表し、双方向の線は問題の関連性を表し、青い点線はテストされるメカニズムと研究の横方向の接続を表します。研究の方向性は、運用上の 5 つの次元とは異なります。

A1 タスクとテクノロジーの適応

Research scope: 実際のタスクから始めて、技術力、データ、許可条件が適切であるかどうかを確認し、モデル、デプロイメント、呼び出し、使用方法をそれぞれ記録します。

候補トピック: さまざまなタスクの複雑さとリスクの下で、AI、ルールと手順、労働によってそれぞれどのような品質と総コストが生成されるでしょうか?

Research unfolds: オープンソース モデル、外部 API サービス、ハイブリッドの取り決めは、同様のタスクの信頼性、レビュー要件、および全体的なコストをどのように変化させるのでしょうか?マルチエージェントの確認、共有ルールとパフォーマンスを伴うタスクの場合、適用される条件と、ブロックチェーンと集中型システムおよびその他の共有システムの総コストは何ですか?

すでに実施済み: エンタープライズ AI ビジネス能力再構築システム、4 方向 SOP、SOP からスキルへ。ビジネス、運営、管理、ガバナンス、マーケティング、サービスのシナリオ。

主な所見: タスクの難易度、品質、総コスト、エラー、リスク、引き継ぎ。タスクの露出、実際の使用強度、手動レビュー。

AOM の位置付け: 主に CTO とつながります。デジタル テクノロジーが組織の業務に導入される場合、主に CTO が接続します。革新的な導入は TIM につながり、運用品質とコストは OSCM につながります。参照主な権利確定と条件表。

A2 プロセスと人間と機械のコラボレーション

Research scope: 人間と機械の分業、責任、承認、リソースの利用可能性、引継ぎ、受諾、フィードバックという特定の作業に組織の変化を取り入れます。

候補トピック: AIとプロセス調整のそれぞれの効果は何ですか?この 2 つを組み合わせるとさらに改善されることはありますか?

Research unfolds: テクノロジーの導入に伴い、責任と権限のどのような変化が調整と実行に変化をもたらしましたか? AIの判断と行動、ブロックチェーンを活用した確認と認可は人間の責任とどのように結びつくのでしょうか？これらの変更は次の段階の使用法とエクスペリエンスの保持にどのような影響を及ぼしますか?

すでに実施済み: 仕事の責任、作業マニュアル、スキル、および二重判断による引き継ぎ。技術的なコンサルティングとカスタマイズの実装、プラットフォームの運用と保守、実際のコンテンツ配信。観察可能な組織的取り決めとしての長期資本勘定関連の承認および協力プロセス。

主な所見: 待機、やり直し、引き継ぎ、下流での使用および責任の履行。意思決定から行動までのタイムラグ、リソースの利用可能性、権限の変更、問題の解決まで。

AOM の位置付け: 主に CTO とつながります。デジタル作業とコラボレーションは主に CTO とつながります。組織変更は ODC とつながり、作業設計とチームは OB とつながり、デリバリープロセスは OSCM とつながります。参照主な権利確定と条件表。

A3 テクノロジーへの依存と組織の境界

Research scope: セルフビルド、調達、プラットフォームへのアクセス、プロフェッショナルなコラボレーションが企業の境界、知識管理、外部依存をどのように変えるかを研究します。

候補トピック: モデル サービスの代替性は、ナレッジ コントロール、スイッチング コスト、ビジネス継続性にどのような影響を及ぼしますか?

Research unfolds: 外部モデル、データ、ソフトウェア、専門サービスへの依存は、交渉、継続性、能力維持にどのような影響を与えるのでしょうか?ブロックチェーン インフラストラクチャ、検証、ガバナンスの参加者の選択により、組織の境界、ルール制御、移行と終了の条件はどのように変化しますか?

すでに実施済み: リソースエコロジー、外部機能のコラボレーション、カスタマイズされたシステム、およびマルチシステムインターフェイス。

主な所見: 代替可能性、データと知識の管理、切り替えコストと継続性。インターフェイスの依存関係、終了制約、交渉、主要な知識へのアクセス可能性。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続します。自己構築、外部協力、戦略に対する境界の影響が STR につながります。組織の依存関係は OMT につながり、デジタル インフラストラクチャは CTO につながります。参照主な権利確定と条件表。

研究の境界線

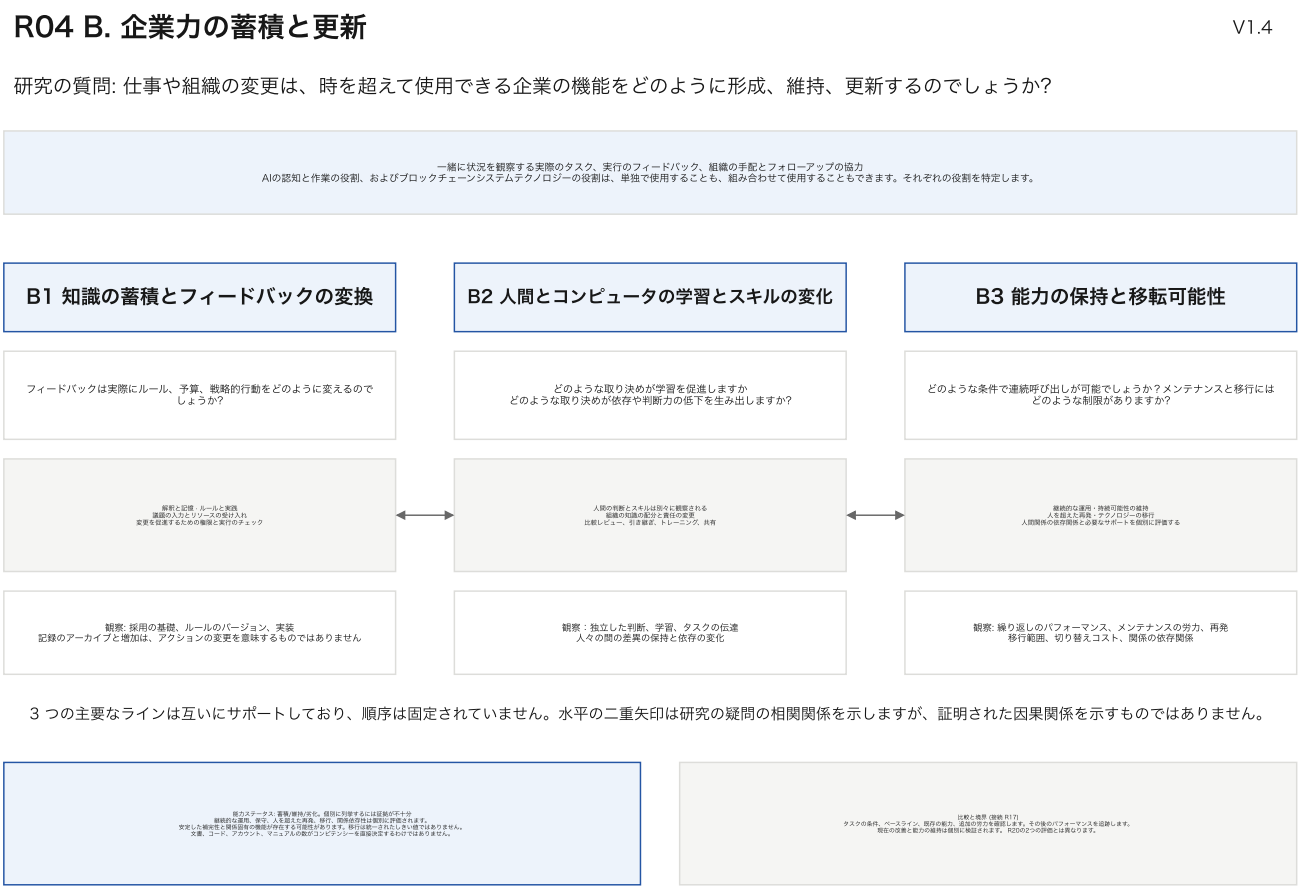
モデルのオープン度、デプロイメント、呼び出し、実際の使用およびタスクの状態を個別に記録する必要があります。組織的テクノロジーは、チェーンのタイプ、参加者、許可、コンセンサスまたは検証方法、ルールのバージョン、オンチェーンおよびオフチェーンのインターフェイス、および実際の使用状況も記録する必要があります。組織の変革を検討するときは、AI の使用頻度や作成の速度だけでなく、意思決定の権限、調整、実行も同時に検討する必要があります。

B. 企業力の蓄積と更新

この方向性では、技術の変化に直面して、企業が仕事、学習、組織調整中にどのように能力を形成、維持、更新するかを研究し、同様の技術的条件下で能力の蓄積と開発の経路が異なる理由を説明します。分散した知識、専門的能力、協力リソースを組織全体にどのように展開し、持続可能な能力にするかは依然として支援課題です。人間の学習、組織の知識、制度の蓄積が個別に観察され、継続的な運用、保守の持続可能性、人を超えた再発、技術移転、および関係の依存性が個別に評価されます。能力は、特定の人間と機械の相補性または協力関係においても安定して存在する可能性があります。

> **今回できたからといって、次回もできるとは限りません。**

図R04・B.企業力の蓄積と更新



B1 ではフィードバックのルールと行動への変換を調査し、B2 では人間の学習と組織の知識配布を区別し、B3 では継続的な運用、保守、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性をそれぞれ評価します。 3 つの主要なラインは固定された段階ではなく、相互に関連しています。安定した相補性と関係固有の機能が条件に基づいて評価されます。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

B1 知識の蓄積とフィードバックの変換

Research scope: ここでは、知識の解釈と記憶、ルールとルーチンの継承、戦略的アジェンダとリソース割り当てへのフィードバックという 3 つのプロセスを区別する必要があります。

候補トピック: SOP、スキル、予算、作業標準を実際に変更するためのフィードバックを実装するプロセスはどのようなものですか?

Research unfolds: 業務遂行、顧客利用、承認、異常フィードバックにおいて、説明、レビュー、ルール修正、実際のアクションをどのように進めるか？長期的なアカウントは、いくつかのトピックに関するフィードバックのソースとして使用でき、その役割を他の記録や共同作業の取り決めと比較する必要があります。ブロックチェーンを活用した来歴とバージョン管理により、知識の確認、伝達、行動への変換が容易になりますか? 変化を推進する権限とリソースを持っているのは誰ですか?

すでに実施済み: アクション-結果-析出、論文III、ナレッジベース、フィードバックおよびバージョン更新方法。長期的なアカウント、貢献レビュー、履行記録は、フィードバック入力とバージョン管理の基礎として機

能します。

主な所見: フィードバックの受信、議題の入力、リソースの受け入れ、変更の実装と実際の使用。フィードバック変換率、採用基準、決定権限、ルールバージョン、実装結果。

AOM の位置付け: Mainly connect to MOC/STR (by question);学習、注意、解釈、記憶が MOC に接続されます。戦略的アジェンダ、予算、リソース割り当てへのフィードバックは STR につながります。 institutions and routines connect to OMT.参照主な権利確定と条件表。

B2 人間とコンピュータの学習とスキルの変化

Research scope: 一方では、人間のスキル、判断力、学習を観察し、他方では、AI の参加後に組織内の知識の配分と責任がどのように変化するかを観察します。

候補トピック: Which task arrangements promote employee learning, and which arrangements cause degradation or dependence on judgment?

Research unfolds: 見直し、引き継ぎ、訓練、知識共有の取り決めが異なる場合、担当者間の独立した判断や能力の違いはどのように変化するのでしょうか?

すでに実施済み: 人間と AI が連携するためのナレッジベース、トレーニング、マニュアルレビュー、引き継ぎ設計。

主な所見: 独立した判断、転送タスクのパフォーマンス、学習速度、依存性の変化。独立した完了パフォーマンス、判断の正確さ、スキルの分散、知識の共有。

AOM の位置付け: 主に OB に接続します。人間の行動、チーム、学習は OB につながります。 skill development and staffing connect to HR, and cognitive judgment mechanism connects to MOC.参照主な権利確定と条件表。

B3 能力の保持と移転可能性

Research scope: 人員、テクノロジー、人間関係、リソースの明確な条件の下で、能力の継続的な運用と維持を観察し、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性をそれぞれ調査します。 Disengagement from tools or relationships is not a uniform necessary condition for the establishment or retention of all abilities.

候補トピック: 機能の継続的な運用と手頃なメンテナンス投資を可能にする仕組みは何か。人、モデル、サービスプロバイダーを変更する必要がある場合、どのパフォーマンスを維持でき、どのパフォーマンスが元の補完性や協力条件に依存するのでしょうか?

Research unfolds: Company Zero の知識、プロセス、資本分析、コラボレーションの経験のうち、元の条件で繰り返し使用できるものはどれですか?また、メンテナンスにはどのような投資が必要ですか?該当する移行またはテクノロジー移行シナリオでのリピート パフォーマンスとスイッチング コストを比較します。パートナーシップが変化するときは、依存関係が機能の範囲と持続性にどのような影響を与えるかに注目してください。共有レコード、ルール、アカウントが引き続き解釈、レビュー、実装サポートできるかどうかも、実際の使用状況と移行状況に基づいて観察する必要があります。

すでに実施済み: 業務改善と能力蓄積の二重の受け入れ。 Zhixing 個人ナレッジ ステーション、マニュアル、スキル、メンテナンス、引き継ぎ。

主な所見: 以下の 5 つの観点に基づいて判断し、いずれかの項目を他の項目に置き換えないでください。

評価次元	観察内容
継続的に実行中	指定されたタスクおよびサポート条件下で、長期間にわたり信頼性の高いパフォーマンスを繰り返し達成できます。
持続可能性の維持	更新、エラー修正、人的サポート、財政的投資を維持できるかどうか。
人を超えての再出現	引き継ぎ後、他の適切な人員を再利用できるかどうか、学習およびサポートの条件が明確になります。担当者固有の部分は保持します。
テクノロジーの移行	実際に移行やそれに対応する検査条件が必要な場合、モデル、ツール、サービスプロバイダー、システムを置き換えた後のパフォーマンスとコスト。
関係依存関係	どの機能に特定のコラボレーション、承認、知識、または補完的なリソースが必要か。関係の維持と変化の結果は何ですか。

安定した人間と機械の補完性と関係固有の機能を条件に応じて評価でき、継続的な運用と限定的な移行を同時に確立できます。知識またはプロセスが企業で呼び出し可能な機能を形成するかどうかは、実際の再利用とメンテナンスの証拠によって決まります。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続されています。能力の継続性とパフォーマンスはSTRに関係します。組織の記憶、テクノロジーのアップデート、人材の流れが課題に応じて交差します。参照主な権利確定と条件表。

研究の境界線

ナレッジドキュメント、コード、アカウント、およびマニュアルがキャリアとなる可能性がありますが、量に基づいて機能を直接決定することはできません。適用可能な条件とさまざまな評価次元の結果は個別に記録されます。論文 III からのフィードバックと戦略的アクションの質問は STR で優先されます。

C. 顧客価値、市場競争、収益獲得

この方向性では、技術の変化に直面して企業がビジネスモデル、顧客サービス、競争方法をどのように調整するか、企業の能力や関連する組織的・制度的取り決めが顧客や市場によってどのように認識されるか、そして生み出された価値が企業、顧客、サプライヤー、プラットフォーム、その他の参加者の間でどのように実現され、獲得されるかを研究します。

> **顧客の支払い意欲、企業の利益、参加者の報酬は関連していますが、結果は異なります。**

図 R05 · C. 顧客価値、市場競争、収益獲得



同じバッチのプロジェクトに沿って顧客の使用状況、価格、実際の受領と支払いを確認し、比較可能な取引、使用効果、およびすべての当事者のコストに基づいて純利益を決定します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: まずテクノロジーの使用状況、タスクの範囲、提供品質を比較し、要件の変化、顧客が利用できる代替サービス、ピアのフォローアップを検証します。 C1 は、配信、使用状況、支払い、更新を追跡します。 C2 サービスの範囲、品質、代替案を比較し、見積書、取引価格、実際の受領と支払いをそれぞれ記録します。企業、サプライヤー、プラットフォームの場合は、収益の変化、コスト削減、新たなコストを確認してください。顧客にとっては、使用実績、実際の支払い、導入または切り替えのコストを確認できます。根拠が不十分な企業については、純便益を別途記載して見積もることとなります。 C3 は、労働時間の解放、経費の削減、およびシステム、ガバナンス、メンテナンス、エラー修正、移行コストを含む人事異動の新規発注を区別し、それぞれ収益、利益、現金、リスク、評価をチェックします。 3 つの主要なラインは相互に関連しています。同様のサービスの最初の提供ラウンドからその後の購入選択、再見積、投資を追跡し、転送注文と不明な宛先をそれぞれ記録します。競争力のギャップは、比較可能な市場データに基づいて判断されます。 C では経営と競争の結果を研究し、E では権利、責任、ガバナンスの配分を研究します。

C1 需要の満足と商業的実現

Research scope: 組織的および技術的な変化を顧客の使用状況、支払い、履行、継続的な関係に結び付け、企業戦略を純粋な消費者問題から区別します。

候補トピック: 応答性、パーソナライゼーション、または品質の向上は、購入、更新、実際の支払いの変化につながりますか?

Research unfolds: サービスの種類を選択し、配信方法、実際の顧客の使用状況、支払いの間の点を結びます。顧客は次回もこの会社を選ぶでしょうか？契約を更新する場合は、要件、サービス範囲、契約条件の変更を確認してください。長期口座におけるサービス資格と協力協定も同様です。

すでに実施済み: 顧客の生態、製品とブランドの計画、マーケティング サービス、AI ネイティブのビジネス モデル、デジタル コマース、国境を越えた業務。

主な所見: 使用、変換、支払い、更新、返品、カスタマーサポートおよび契約履行。顧客の実際の使用、価値認識、権利の使用、および契約履行コスト。

AOM の位置付け: 主にSTR（戦略的問題）に関連。 STRに関連するビジネスモデルと競争力のある結果。提供品質は OSCM に関連し、テクノロジーの商品化は TIM に関連します。マーケティングに関連した純粋な消費者問題。参照主な権利確定と条件表。

C2 競争と価値の獲得

Research scope: 価値創造、価格と交渉、プラットフォーム料金、複数当事者による価値獲得の関係を研究します。

候補トピック: 同様のコスト削減が企業利益を形成することもあれば、主に顧客の値下げメリットやプラットフォーム料金に反映されることがあるのはなぜでしょうか?

Research unfolds: 同業他社が同様のテクノロジーを採用できる場合、顧客は別のサプライヤーに切り替えることができますか?過去に切り替えるには、どれくらいの引き継ぎ、再検証、慣らし運転が必要ですか?同じ顧客関係に沿って次回の購入を追跡します。再見積または契約更新が発生した場合、現在のラウンドにおける企業の実際の受領、支払およびコストを、入手可能なピア見積、実際の取引条件およびプラットフォーム料金と比較し、プロジェクト収益がどのように変化したかを比較します。パートナーと投資家が実際に得た収益は、それぞれの契約と実績に従って個別に検証されます。

すでに実施済み: 売上と収益、プラットフォームと業界のコラボレーション、チャネルとブランドの関係を重視します。論文 II は、流通問題に関する関連する視点を提供します。

主な所見: 今回と次のラウンドの見積もり、割引、取引と返済、顧客が利用できる実際の代替品、ピアフォローアップ、プラットフォームとサプライヤーの料金。納品範囲、品質およびサービス条件を文書化し、どの価格が直接比較可能で、どの価格が手がかりとしてのみ使用できるかを示します。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続されています。競争、交渉、価値の獲得は主にSTRに関係します。市場システムと権力はOMTにつながり、ステークホルダーの責任と公平性はSIMにつながります。参照主な権利確定と条件表。

C2 スタディカード · 各当事者が実際にどれだけ得たか

何を確認するか	記録と判断の仕方
ベースライン	同じサービスを選択する前後の 2 ラウンドの実際のトランザクション、または顧客がその時点で実際に利用可能だった代替手段。範囲、量、品質、期限、切り替えコストを明記します。代替見積書が記載され、実際の取引は別途記録されます。

何を確認するか	記録と判断の仕方
価格と支払い	割引、終値、プラットフォーム料金、サプライヤーの収益、見積書、契約書、請求書、支払い領収書からの実際の受領書と支払い額を確認します。支払者と受取人はトランザクションごとにリストされ、同じ支払いは 1 回だけ登録されます。
すべての当事者にとっての純利益	企業、サプライヤー、プラットフォームはそれぞれ、収益の変化、実際のコスト削減、新規の配送、メンテナンス、その他のコストを比較します。顧客側は、利用効果や実際の支払い額、導入・切り替えにかかるコストなどを考慮して判断します。使用範囲、品質、および結果が同等であれば、価格削減による顧客の純節約額を見積もることができます。
データが足りないとき	確認された金額とまだ不足している根拠を述べてください。たとえば、2 回の請求でプラットフォーム料金がどれだけ増加したかを確認できます。対応するコスト基準が存在しない場合、プラットフォームの純利益は「一時的に見積もることができない」として記録されます。請求書が 1 枚だけの場合は、金額のみが報告されます。

C3 ビジネス価値の測定

Research scope: 効率、価値の獲得、現金の結果を個別に観察しながら、タスク、プロセス、業務、資本の結果の間の検証可能なリンクを確立します。

候補トピック: 時間の節約、納期の改善、利益と現金の結果が一致または乖離するのはいつですか?

Research unfolds: 空いた時間はどこへ行ったのでしょうか？会社は、外注費を減額したり、元の給与を支払ったり、その人を別の請求項目に異動させたりする可能性があります。実際の支出と人員の所在に基づいて計算し、新規プロジェクトの収入と費用を分けて記録します。営業キャッシュがどのように変化し、どのような条件下で資金調達や資本市場の評価から乖離するのかを見てみましょう。

すでに実施済み: 4 方向の SOP パフォーマンス接続、AI 二重受け入れ、ビジネス サイクルおよびコスト回収分析。

主な所見: すべてのコスト、収入、利益、現金、リスク、および継続的な使用。投資の全コスト、営業および財務の現金分類、評価基準、および現金化ステータス。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続されています。運営と競争力は主にSTRに関係します。運用の品質と効率はOSCM に関係しています。メソッド自体が貢献を構成する場合、メソッド フィールドに関連付けられます。参照主な権利確定と条件表。

研究の境界線

同じ期間の需要、競争、その他の変化を観察しながら、配信、使用、支払い、および運用結果を個別に見る必要があります。アカウント内の顧客関係レコードは、顧客価値や収益が向上したことを自動的に示すものではありません。

制度上のテクノロジーとビジネス価値の関係

制度的なテクノロジーとして、ブロックチェーンが顧客やパートナーの検証、調整、監督、履行コストを削減するかどうか、また実際の使用、支払い、または協力の価値を向上させるかどうかを、対応する運用上の比較

に含める必要があります。システム、ガバナンス、メンテナンス、エラー修正、移行のコストがすべて含まれており、顧客の価値と収益は実際の使用とトランザクションの確認に基づいて得られます。

D. 投資、融資および資本配分

動的な投資、資本市場とのつながり、金融商品と取引構造、資本配分、存続ガバナンス組織を通じて企業がどのように発展するかを学びます。 IPO、上場後の有価証券発行、STO、M&A、組織再編、撤退を条件付きパスとして比較します。

> **資金を調達した後も、投資を続ける価値のある理由を作成する必要があります。**

図R06・D。投融資および資本配分



投資順序と継続的な調整と停止、資金調達条件と資本制約、資本管理リスクと撤退は、相互に関連する研究課題を構成します。実際の資金、管理およびパフォーマンスの証拠を用いて判断を更新します。ツールは条件付きの例にすぎず、4 つの首都の維持は長期的な戦略原則です。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 主題、市場、プロジェクトと能力のニーズ、予算、支払いの徴収、初期条件から始めます。D1 動的な投資とプロジェクトの選択は、技術、人員、知識、組織、資本プロジェクトの順序を比較し、投資

の段階的、追加、調整、停止、予算、実際の投資と段階的結果の確認を行います。継続、調整、停止は条件判断による選択であり、固定されたステップではありません。 D2 資金調達のマッチングと資本制約では、資本期間、純額、すべての資本コストと投資ペースおよび返済のマッチングを調査し、資金調達コミットメントと純受取額を区別し、使用量、ギャップ、希薄化、主要市場と投資家の状況、およびツールの権利をチェックします。 D3 資本管理、リスク、および撤退では、所有権、管理、監督、責任、契約上の義務の開示、支払順序、損失引当、撤退条件および実際の意思決定を調査し、保有、合併と買収、撤退およびその後の継続的なガバナンスと再投資の結果を結び付けます。 3本の幹線は固定の3段ではなく相互接続されています。実際の資金、管理の変更、権利と責任の履行は、研究の出発点をフィードバックし、次の判断を修正し、リソースの能力、運営、協力の結果を結びつけます。 IPO、上場後の対象商品、STO、M&A等は条件付き比較例に過ぎません。必要な順序、期限、実装の約束はなく、トランザクション実行計画を構成しません。 4つの資本は、長期的な資産管理と高品質なリソースの獲得のための戦略原則です。純粋な発行価格設定、証券構造、および金融法には隣接する規律が必要です。資本経路とテクノロジーの新たな役割は別々に比較され、メカニズムの効果をテストする必要がある。

D1 ダイナミックな投資とプロジェクトの選択

Research scope: 技術、人材、知識、組織、資本プロジェクトの順序付け、段階的投資、追加、調整、中止を調査します。

候補トピック: トレーニング、データ、プロセス、モデルへの投資を順序立てて行うにはどうすればよいでしょうか?段階的投資が一度限りの投資よりも優れているのはどのような場合ですか?

Research unfolds: さまざまな資本運用パスを採用する場合、企業の能力構築、業界統合、プロジェクトポートフォリオを証拠に基づいてどのように調整できるでしょうか?

すでに実施済み: 4つの資本と二重循環、産業運営と資本シナジー、ビジネスおよび経済モデル、資本メカニズム分析、資産運営をサポートする資本運営を通じて高品質の資源を継続的に獲得する長期戦略ロジック。また、資本戦略と上場計画、事業ポートフォリオ、業界統合計画も含まれます。

主な所見: 予算、実際の投資、ステージ結果、ノードの調整と停止。候補者の計画、資本配分の基礎、投資ポートフォリオ、意思決定イベント。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続されています。動的なリソースの割り当て、選択、調整は主に STR に基づきます。テクノロジーとイノベーションへの投資は TIM に関連しています。参照主な権利確定と条件表。

D2 資金調達マッチングと資本制約

Research scope: 資本キャリアと市場参入、資金調達手段と構造の選択、資金源、期間コストのマッチングを研究に組み込みます。

候補トピック: 資金の制約や資金調達の満期によって、無形能力への投資が変化し、収益は低下するのでしょうか?

Research unfolds: IPO、上場後の該当する証券商品、STO、またはその他の経路により、資金調達期間、純額、コスト、投資家の条件、設備投資はどのように変化しますか?

すでに実施済み: 資本経路、国際金融、資本顧問の 9 次元比較。ペーパー IV の流動性条件は、関連する問題を提供します。 IPO、上場後の資金調達ツール、STO と投資家をつなぐ経路と構造の比較。

主な所見: 純到着額、総資本コスト、期間、返済および資金ギャップ。事業体と市場の状況、ツールの権利、資金調達のコミットメントと実際の到着、希薄化と資金の使用状況。

AOM の位置付け: 主にSTR関連（一部対応）。資金調達条件が戦略と能力への投資に影響を与える場合は、STR に関連付けられます。純粋な発行価格設定、証券構造および監督を AOM に完全に分類することはできません。参照主な権利確定と条件表。

D3 資本管理、リスクと出口

Research scope: 資本運用の前後の所有権、管理、監督、責任とリスク、さらには合併と買収、組織再編、保有、撤退のオプションを調査します。

候補トピック: 管理条件、リスクエクスポージャー、および終了要件は、プロジェクトの継続、縮小、終了にどのような影響を与えるのでしょうか?

Research unfolds: 上場、有価証券の提供、STO、または組織再編の取り決めは、管理および継続的なガバナンスの要件をどのように変更し、運営目標や投資決定に影響を与えますか?

すでに実施済み: 合併と買収、企業買収、証券と市場接続、IR、資本化と撤退計画のリスト。資本市場の継続的なガバナンス、投資家向け広報活動、合併と買収、および長期口座における権利と責任の関連付け。

主な所見: 管理条件、支払命令、損失、終了条件および実際の決定。管理の変更、開示と契約上の義務、損失の引き受け、撤退と再投資。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続します。 STR からの離脱によるガバナンス、管理、および戦略的影響。制度と管理構造はOMTに、責任と規範の問題はSIMに。参照主な権利確定と条件表。

研究の境界線

資本業務には、市場接続、商品と取引構造、資源配分、継続的なガバナンスが含まれます。 AOM は主に戦略的および組織的な影響を研究します。純粋な発行価格設定、証券構造、および金融法には、隣接する規律が必要です。キャピタルパスに必要な順序はなく、特定のパスが研究の進歩へのコミットメントとしてリストされているわけでもありません。

制度上のテクノロジーと資本の取り決めとの関係

ブロックチェーンが有価証券や資産の記録、ルールのバージョン、認可および権利履行をサポートする場合、基礎となる権利、技術的実装、実際の資金および市場の状況をそれぞれ観察する必要があります。制度上のテクノロジーは資本運用に役立つだけでなく、証券発行なしでビジネスや協力関係にも使用できます。キャピタルパス自体とテクノロジーの新たな役割は別々に比較されます。

4つの資本ロジックと長期運営戦略

Company Zero は、4 つの資本のロジックを使用して、リソース ベース、資産管理、資本組織、および資本収益がどのように相互にサポートされるかを説明します。資本運用と金融商品は、継続的に高品質のリソースを取得し、長期的な運用を行うのに役立ちます。全体的な運用原則として、これらはこの方向で検討される特定の投資、融資、資本配分の問題と関連しています。 [67]

E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス

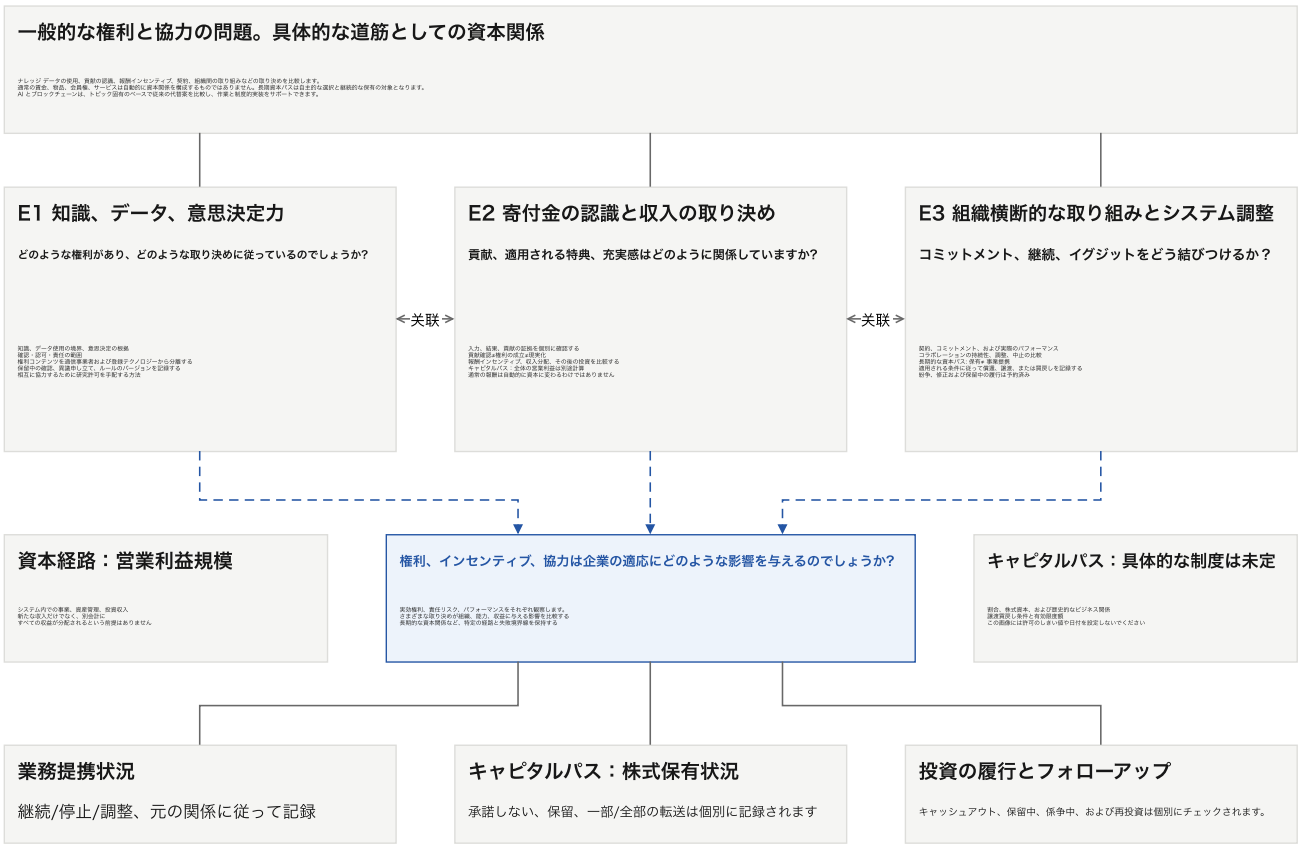
この方向性では、企業がテクノロジーの変化に対応する際に、知識、データ、意思決定の権利、貢献の認識と収益インセンティブ、組織間のコミットメントと協力の取り決めがどのように変化するか、また、これらの取り決めが組織の調整、能力の蓄積、価値の獲得と協力の結果にどのように影響するかを研究します。契約、人間関係の取り決め、組織手順、デジタル システムは、特定の問題に従って比較する必要があります。長期的な資本関係と勘定は、研究可能な具体的な理論的説明、ガバナンスの取り決め、および実践的な道筋です。

長期的な資本関係においては、次のような重要な問題が残されています。**ステークホルダーはどのようにして企業の長期価値に関わる権益を自主的な選択と制度的ルールに基づいて取得し、保有し続け、長期的な資本関係を形成できるのでしょうか？この関係は、組織形態、能力蓄積、収入分配、継続的な協力にどのような影響を与えるのか、また資本運営を通じてどのように継承され、実現され、継続されるのでしょうか?** このパスは主に E と D を接続し、B、C、および A での結果を比較します。このパスは、この方向性と一般的な概要を導いたり、網羅したりするものではありません。分散した知識、専門的能力、社会的関係、資金が企業能力と営業資産をどのように形成するかは、裏付けとなる問題として引き続き研究されるだろう。 AIやブロックチェーンは状況、組織条件、実行手段であり、一般的な資本関係の成立に必要な前提条件ではない。

定期的な賃金、長期供給、有料会員権、および継続的なサービス関係は、それ自体が本調査でいう長期資本関係を構成するものではないため、1 回限りの取引とはみなされません。このシステムは、さまざまな役割に対応する資本権を調整します。参加者は、資本権関係を受け入れ、保持し続けるかどうかを独自に選択できます。資本権関係は本来の役割に重ね合わせることができ、その内容、事業者、登録、実績は個別に確認できます。

> **記録は明確であり、権利が確立されているかどうか、約束が履行されているかどうかは個別に回答する必要があります。**

図 R07 · E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス

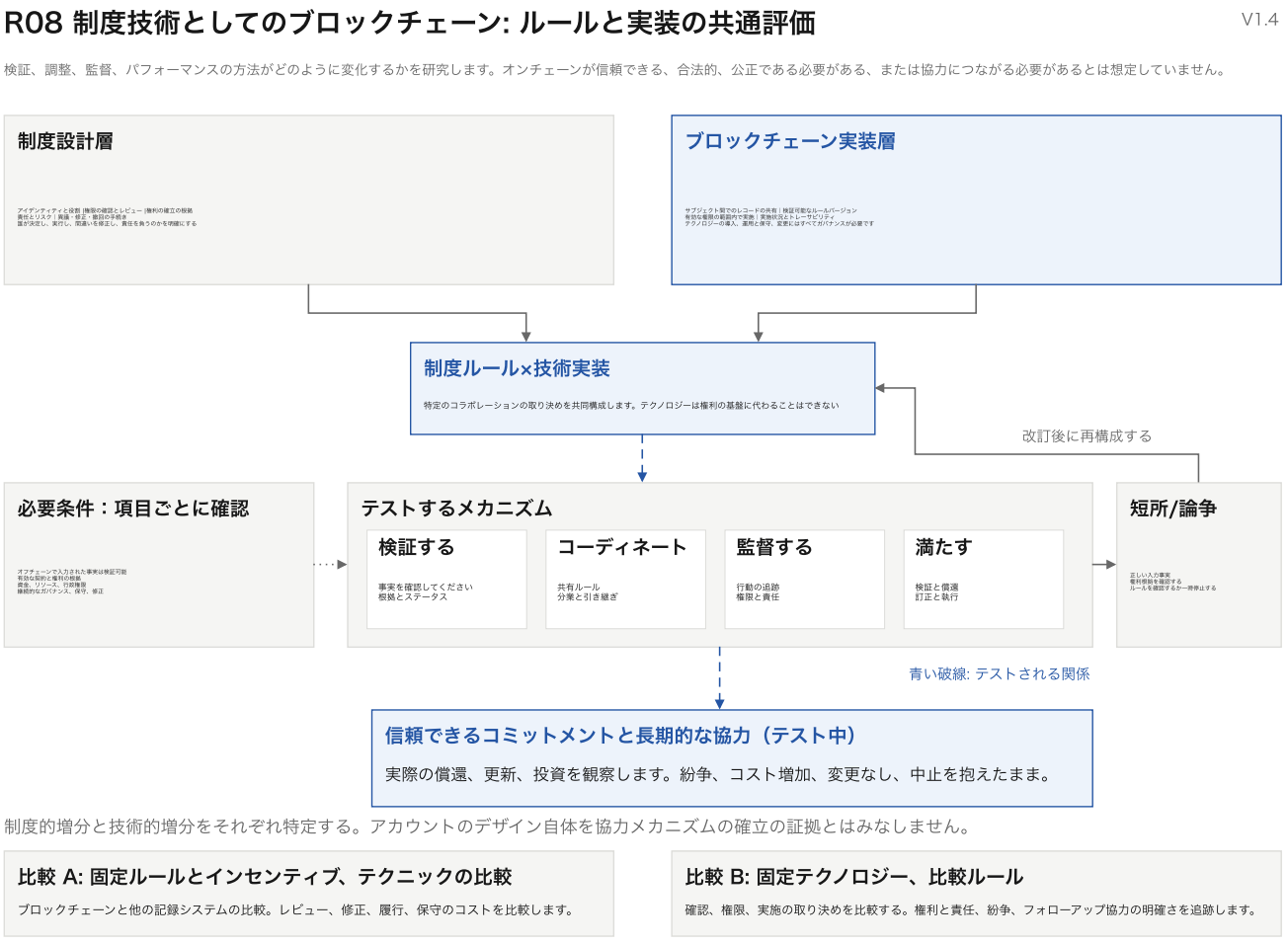


著者の研究枠組みの概略図。矢印のない線: 問題/観察の分類。双方向ライン: 問題の関連付け。青い点線: テストされる接続。資本や協力の形成を示しません。

E1 の知識データと意思決定権、E2 の貢献認識と利益の取り決め、E3 の組織を越えたコミットメントとシステムの調整を並べて、一般的な権利、インセンティブ、協力の問題を研究し、企業の適応との関連性をテストします。長期的な資本関係はその具体的な経路の一つであり、その株式保有、事業提携、実行は依然として個別に観察される。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

図 R08 · 制度技術としてのブロックチェーン: ルールと実装の共同評価



System design and blockchain achieve joint configuration and collaboration, and influence credible commitments and long-term cooperation through verification, coordination, supervision and fulfillment mechanisms to be tested;オフチェーンの事実、権利基盤、資金認可、ガバナンスが 1 つずつチェックされ、システムとテクノロジーは 2 つの比較を使用して個別に評価されます。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: The system design layer clarifies identity roles, confirmation and review authority, basis for establishing rights, liability risks and objections, revision and withdrawal procedures; the blockchain implementation layer provides cross-subject sharing records, rule versions, execution and performance traceability within the scope of effective authorization, and technical operation and maintenance and changes also need to be governed. 2 つの層は共同して特定のコラボレーションの取り決めを構成しますが、テクノロジーは実効的な権利基盤に置き換わるものではありません。検証可能なオフチェーンの事実、有効な合意と権利基盤、財源と実行認可、継続的なガバナンスの維持と誤りの修正という条件の下で、検証、調整、監督、履行方法を変更すべきかどうか、またどのように変更すべきかを検討する。 4 つのメカニズムは並置されており、一連のテクノロジー アップグレードを構成するものではありません。信頼できるコミットメント、実際の履行、継続および投資を遵守し、また紛争、コストの増加、変更や停止を保持します。不備や紛争がある場合は、入力した事実を修正し、権利の根拠を確認し、ルールや停止を見直し、修正後に再構成します。メカニズムの矢印はすべてテストする必要があり、チェーンが信頼できる、合法的、公正である、または協力を生み出すことを前提としていません。 Comparison A compares

blockchain with other record systems under fixed rules and incentives, and observes review, error correction, performance, and maintenance costs; Comparison B compares different confirmations, permissions, and performance arrangements under fixed technology, and observes the clarity of rights and responsibilities, disputes, and subsequent cooperation.アカウントの設計自体は協力メカニズムの確立を証明するものではありません。

制度設計と技術的実装の関係

システム設計では、身元を明確に特定し、権限、権利と責任、履行、異議および終了を確認します。ブロックチェーン実装層は、共有レコード、ルール バージョン、承認された実行、およびトレーサビリティをサポートします。 The study connects the two layers to the verification, coordination, monitoring and fulfillment processes, observing changes in credible commitments and subsequent cooperation.

実際の結果は、有効な合意、オフチェーンの事実、資金とリソース、人間の裁量、紛争の管理方法にも依存します。 The role of blockchain and the role of institutional rules should be evaluated separately and compared with contracts, relational governance and other information systems. [63、66]

E1 知識、データ、意思決定力

Research scope: Study identity roles, data and knowledge use, decision-making and confirmation authority, authorization and responsibility in enterprise collaboration;長期資本勘定は研究可能な取り決めの 1 つです。

候補トピック: How should knowledge usage rights, decision-making rights and responsibilities be allocated to facilitate collaboration and eliminate gaps in responsibilities?

Research unfolds: さまざまな契約、組織手順、デジタルコラボレーションの取り決めは、事実、有効な権限、強制可能なルールをどのように結びつけるのでしょうか? When using blockchain or long-term accounts, compare the specific effects of on-chain and off-chain connections, rule changes, and review objections.

すでに実施済み: 4つのエコロジーガバナンス、職務責任権限、エンタープライズウォレット、カスタマイズされたDApp、ブロックチェーンシステムテクノロジー。長期資本勘定の役割、ルール、権限、ステータスの設計。

主な所見: 使用許可、決定記録、責任、異議および修正。アカウントの役割、データ境界、認可チェーン、確認責任、改訂記録。

AOM の位置付け: 主に OMT に接続されます。組織システム、権限、責任は主に OMT に基づいています。デジタルガバナンス、知的財産、戦略的資源管理が課題に応じて交差します。参照主な権利確定と条件表。

E2 寄付金の認識と収入の取り決め

Research scope: 参加者のインプットと貢献の基礎、報酬と収入インセンティブ、該当する権利と利益、リスク責任、実際の分配と実績を追跡し、さまざまな取り決めによる組織的および運営上の影響を比較します。

候補トピック: 貢献証拠を独立してレビューした後、分布は変化しましたか? それはその後の知識投資に影響しますか?

Research unfolds: さまざまな貢献の認識、報酬のインセンティブ、収入の取り決めは、公平性、信頼、実際のパフォーマンス、およびその後の投資にどのような影響を与えるのでしょうか?長期資本勘定はその具体的

な経路の 1 つです。その確認と資本の取り決めの役割が研究されています。貢献の確認、権利の確立、および実際のパフォーマンスは個別に観察されます。このパスの正式な運用後、このシステムは、事業、資産管理、投資、その他の収益を含む、システムの範囲内の全体的な営業収益と関連する権利と責任をカバーし、個別に会計処理され、新規収益のみに限定されません。収益、コスト、利益、分配、保有、再投資は個別にチェックされ、すべての収益が分配に使用されるとは想定されていません。付加価値は依然として分析および測定の概念として使用できます。

すでに実施済み: 論文 I、II。貢献の記録とレビュー、株式実現と長期的な資本関係モデル。ステークホルダーの長期資本勘定およびさまざまな権利利益の認識と実施設計。

主な所見: 貢献の事実、レビュー、分配、公平感、そしてその後の実際の投資。確認・確立すべき権利利益、履行状況、リスク負担およびその後の実際の投資。

AOM の位置付け: 主に SIM に接続されます。多者間の貢献、公平性、責任は主に SIM に関係しています。公平感、信頼感、自発的な貢献はOBにつながり、従業員の報酬制度は人事につながります。参照主な権利確定と条件表。

E3 組織横断的な取り組みとシステム調整

Research scope: 組織間の契約、人間関係の取り決め、共有記録、約束、紛争、システムの調整と終了を調査します。長期的な資本関係と口座は、その具体的な道筋の一つです。

候補トピック: 支払い約束、共有記録、紛争手続きは、サプライヤーの約束、パフォーマンス、契約の継続にどのような影響を及ぼしますか?

Research unfolds: さまざまな契約、関係、制度的取り決めが、紛争や中断の状況を維持しながら、どのように約束、履行、協力の継続を支援または制約しているかを比較してください。長期アカウントを使用する場合、またはブロックチェーンでサポートされている記録、ルール、および監督を使用する場合は、それらの具体的な影響を調べてください。長期資本経路における株式保有と事業提携を分けて把握し、事業廃止後も保有しているもの、事業は継続しているが権益移転、一部譲渡、未実施などの状況を把握し、その後の投資や協力との関係を検討します。保持は、コラボレーションが継続していると自動的に推定するために使用されません。

すでに実施済み: 論文 IV、長期的な資本関係、サプライヤーとチャネルの協力、コミュニティ産業のエコロジー活動。長期的な資本勘定のコミットメント、論争、ルール変更、およびその後の出口設計。

主な所見: 資金または注文の取り決め、検証可能なコミットメント、契約の履行、契約の更新と終了。ルールの調整、紛争の解決、協力の継続、更新、投資の変更、撤退。

AOM の位置付け: 主にSTRに接続します。組織間の関与と協力の戦略的結果はSTRにつながります。サプライヤーのパフォーマンスは OSCM に接続され、ルールの形成と調整は OMT に接続されます。参照主な権利確定と条件表。

研究の境界線

研究目的はあらゆるタイプの利害関係者関係をカバーしており、利益はインプットと効果的な取り決めに基づいて個別に認識されます。ブロックチェーンの記録、確認された許可、有効な権利、および実際のパフォーマンスは個別に検証されます。継続的な協力はその後の行動で検証されなければなりません。

配当、株式、株式および STO 関連の取り決めは、権利の内容、キャリア、登録技術および出口に応じて個別に表現されます。具体的な比率、既存の資本、過去の取引関係、有効な境界、譲渡および買い戻しの条件は、

正式なオペレーティング システムによって決定されます。この調査概要には、いかなる時点においても自動転換、無償譲渡、買戻しの取り決めは含まれておらず、独自の取引計画や発行計画も策定されていません。

オリジナル投稿の位置づけと検査

貢献の位置づけ

この章では、「技術変化における企業の適応と差別化」という上位の命題に基づいて著者が提案した貢献について説明し、以下の一般的な核心問題に焦点を当てます。

> 技術が変化するなかで、企業はビジネスモデル、組織のあり方、資本の仕組みをどう調整し、企業能力を形成・更新し、価値を創造・獲得するのか。なぜ似た技術を導入した企業が、異なる長期的な経営成果と発展経路をたどるのか。

研究の位置づけと問題の階層一般的な問題と各方向との関係を説明します。

私の擬似寄与ポートフォリオには、依然として 2 つの相互関連する擬似メイン寄与が含まれています。**長期資本関係の形成と持続メカニズム**、そして**ステークホルダーのための長期資本勘定の制度設計とガバナンスメカニズム**。組織と執行の変更、積極的な資本運用、二重受け入れ、長期的比較が引き続き 4 つの支援の候補となります。これらは 2 つの主要な貢献に関連するだけでなく、テクノロジーの導入、機能の更新、価値の実現、資本の配置といった問題にもそれぞれ答えることができます。これら 6 つの貢献は、概要のすべての研究をカバーしているわけではありませんし、すべての方向が長期的な資本関係を唯一の説明メカニズムまたは共通の前提として取り上げているわけでもありません。

理論的貢献は、現象がなぜ起こるのか、どのようなプロセスを経るのか、どのような条件下で確立されるのかを明らかにします。制度設計への貢献は、役割、ルール、権利、パフォーマンスをどのように組織するかに答えます。両者はそれぞれ、アカウントデザイン自体は理論の成立を証明するものではなく、理論上の主張はデザイン効果の評価に代わるものではないと主張している。

ステークホルダー資本理論と長期資本関係は、特定の道筋に関する理論的説明を行います。長期資本勘定、NST、エコロジー・ガバナンス、および 4 つの資本は、実際の性質に応じて、方法、ガバナンスの取り決め、および実践的な経路のレベルに入ります。それらすべてがツールとしてみなされるわけでも、すべての方向に導くわけでもありません。このパスに関する重要な研究課題は次のとおりです。

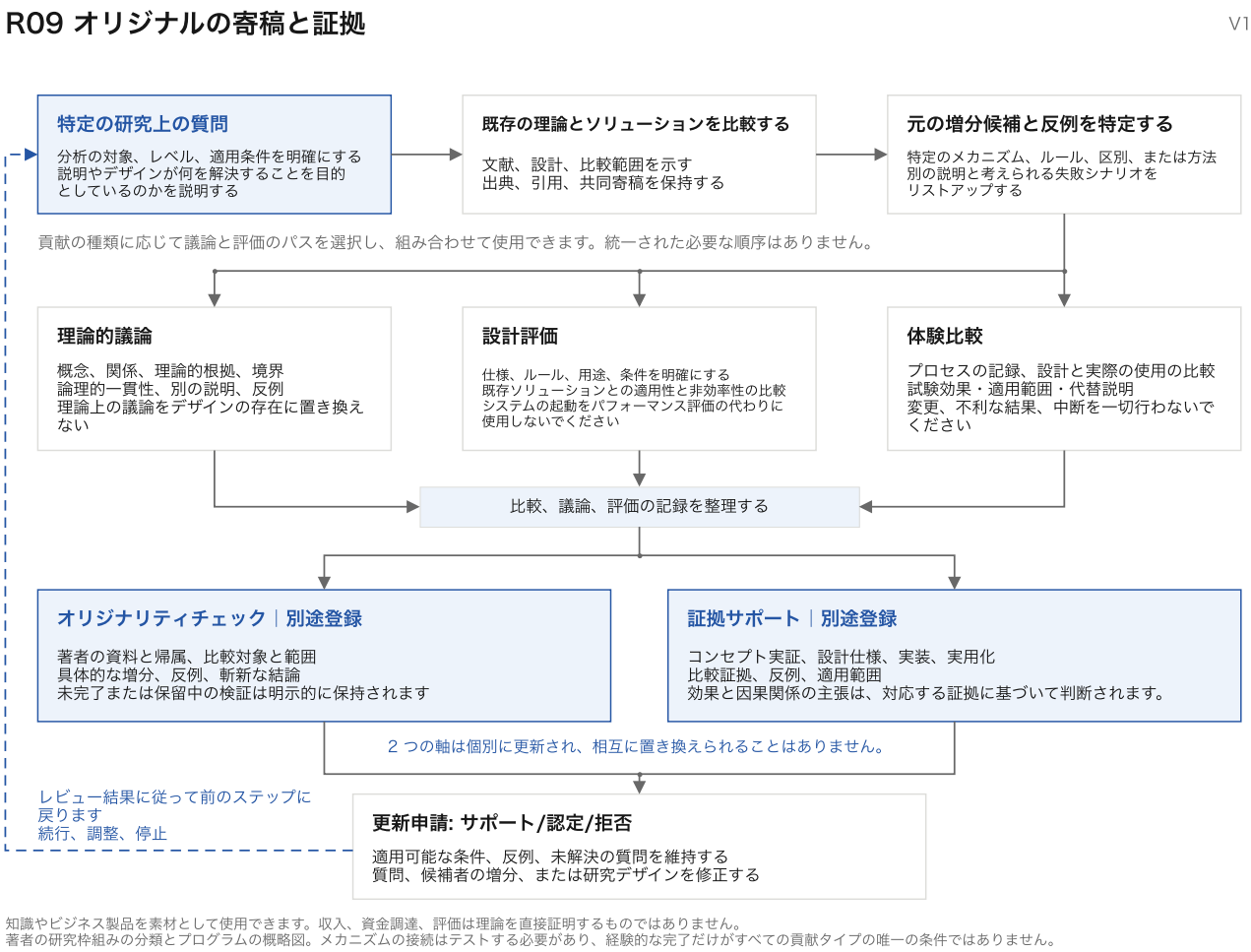
> ステークホルダーはどのようにして企業の長期価値に関わる権益を自主的な選択と制度的ルールに基づいて取得し、保有し続け、長期的な資本関係を形成できるのでしょうか？この関係は、組織形態、能力蓄積、収入分配、継続的な協力にどのような影響を与えるのか、また資本運営を通じてどのように継承され、実現され、継続されるのでしょうか?

この質問は主に E と D を結び付け、その結果が B、C、A に及ぼす影響を比較します。分散した知識、専門的能力、社会的関係、資本がどのようにして企業能力と運用資産を形成するかは、補足質問として保持されます。 AI は認知および作業テクノロジーであり、ブロックチェーンは制度的なテクノロジーです。特定のトピックでは、その採用、組み合わせ、従来の代替、および条件の違いを比較します。テクノロジーの導入や長期的な資本関係が業務改善に必然的につながることを前提としたものではありません。

この研究の長期的な懸念は次のとおりです。**スマートテクノロジーと制度的取り決めの変化の下で、企業と利害関係者の組織形態はどのように進化する可能性があるか。** この調査は依然として企業と特定の協力関係を現在の観察対象としており、必然的な進化や一般的な結果について予測するものではありません。

この章では、提唱すべき研究増分と設立条件を明らかにする。現在、著者の資料と関連研究の最初のバッチの予備的な位置付けが完了しています。これに基づいて、分野全体の体系的な新規性レビューはまだ完了しておらず、提案された貢献は経験的に裏付けられた結論としてリストされていません。

図 R09 · 元の寄稿と証拠



知識やビジネス製品を素材として使用できます。収入、資金調達、評価は理論を直接証明するものではありません。
著者の研究枠組みの分類とプログラムの概略図。メカニズムの接続はテストする必要があり、経験的な完了だけがすべての貢献タイプの唯一の条件ではありません。

特定の論点と既存の研究の比較から始めて、候補の増分と反例を明確にし、貢献タイプに応じて理論的議論、設計評価、および実証的比較パスを選択し、それぞれ独自性チェックと証拠支持ステータスを更新して、主張を支持、認定、または否定し、修正します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: まず、特定の研究課題の対象、レベル、条件を明確にし、次に既存の理論と解決策を比較し、文献、範囲、情報源、および共通の貢献を示します。元の増分の候補は、特定のメカニズム、ルール、区別、または方法の範囲内に収まる必要があり、反例、別の説明、および失敗シナリオをリストします。貢献の種類に応じて、理論的議論、設計評価、および経験的比較パスは個別にまたは組み合わせて使用できますが、統一された順序はありません。理論的な実証では、概念、関係、行動の理由、論理、境界を確認します。設計評価では仕様、ルール、用途を明確にし、既存のソリューションと比較します。経験的比較ではプロセス記録を使用し、設計と実際の使用を比較し、変更、悪影響、中断を一切保持しません。比較、議論、評価の記録を整理

した後、独創性の検証と証拠の裏付けという 2 つの軸がそれぞれ更新されます。前者は、著者の資料と帰属、比較対象と範囲、増分と新規性の結論を登録し、明らかに未完成または保留中の状態で保留されます。後者は概念的な実証、設計、実装、実際の使用、比較証拠、反例と境界を登録し、効果と因果関係の主張は対応する証拠に従って判断されます。 2 つの軸は互いに置き換えられません。したがって、提案を支持、認定、または拒否することができ、質問、候補者の増加、または研究計画を修正することができます。前のリンクに戻って、状況に応じて続行、調整、または停止します。知識やビジネスの産物は材料として使用できますが、収入、資金調達、評価は理論を直接証明するものではありません。すべてのタイプの貢献が唯一の条件として経験的な完了を必要とするわけではありません。

オリジナル投稿の判断基準

貢献を提案するには、既存の知識や設計と比較して何が追加されるのか、およびこれらの追加コンテンツが説明的、研究的、または実用的な価値を持つ理由を説明してください。理論的な貢献は、概念、メカニズム、論理、境界を明確にすることによって確立できます。因果関係と適用範囲には、対応する証拠テストが必要です。 2種類の判定を別々に記録します。

ここでは 3 つの参考文献を使用します。

- 理論では、オブジェクト、要素の関係、行動の理由、境界を明確に説明する必要があります。 Whetten（1989)。
- 貢献には、独創性と学術的または実用的な使用の両方が含まれます。漸進的な貢献とより大きな新しい解釈の両方を位置づける必要があります。を参照してください。 コーリーとジョイア (2011)。
- システム、システム、および方法は設計の知識に貢献できますが、既存の問題や解決策と比較した増分、評価、および適用可能な条件を説明する必要があります。参照 グレゴールとヘブナー (2013)。

研究課題を整理するために 5 つの方向と 15 の主要なラインが使用されます。 AI、IPO、STO、ブロックチェーンなどの研究状況、道筋、実装技術を例示します。独創性は、特定の説明、制度上の規則、方法、または発見に基づいていなければなりません。カタログが完全であるかどうか、新しい名前があるかどうか、または特定のテクノロジーが使用されているかどうかだけに依存することはできません。

著者は蓄積しており、主張し続けることができます

蓄積している	現時点で言えること	学術的貢献をさらに形成するには何を言う必要がありますか?
ステークホルダーエコロジーと4つのエコロジーガバナンスモデル	組織のアクター、関係、価値活動、ガバナンスの問題を表す名前付きフレームワーク	既存のステークホルダー、生態系、組織の枠組みと比較して、どのような新しい区別、メカニズム、期待、または境界が追加されますか?
4方向SOP、職務責任、マニュアル、引き継ぎ方法	パフォーマンス、ビジネス、機能、行動、仕事の責任を表現する方法があります。	プロセス、ルーチン、パフォーマンス管理方法に関して実用的、測定可能、または再利用可能な設計の知識を増やす方法
エンタープライズAI業務能力再構築システムとダブル受付	テクノロジー、組織、実行、提供、能力蓄積のための既存のフレームワークと手法	どの中間メカニズムと保持条件が確立された技術的補完性と組織学習の説明を超えているのか、またどの指標が信頼できる用途を持つのか

蓄積している	現時点で言えること	学術的貢献をさらに形成するには何を言う必要がありますか?
ステークホルダー資本理論と長期資本関係モデル	共同創造、貢献、権利、協力を表現する原稿や仕組みがあります。	資本関係を定義する方法と、関係契約、ステークホルダーのガバナンス、インセンティブの説明に追加される内容
長期資本勘定とブロックチェーンシステム技術設計	役割、貢献、責任、パフォーマンス、ガバナンスを結びつける設計案	どのルールとインターフェイスが目に見える違いを生み出し、テクノロジーと制度はそれぞれ何を追加しますか?
資本のロジック、経路、比較ツール	資本組織とプロジェクト分析のためのソリューション、ツール、例が利用可能です	一般的な資金調達、資本構成、投資分析を超えて、運営能力とパートナーシップの変化を説明する方法
原著論文、ウェブサイト、知識コラボレーションの実践	標準的なデモンストレーション、研究設計、およびいくつかの実際のプロセス資料が利用可能です	著者、引用、共同部門を維持しながら、それぞれ理論的議論、レビュー可能な設計、または新しい証拠を確立します

著者の資料の形成と表現、既存の文献と比較した新規性、実際の応用と効果は、個別に特定されなければなりません。共著者、サードパーティの理論、技術、参考文献はそれぞれの情報源を保持しており、個々の編集物を貢献帰属の検証に代えるために使用することはできません。

貢献1：長期資本関係の形成と持続メカニズム

タイプとステータス: 確立される主な理論的貢献。主に E2 と E3 を接続し、B、C、D を関連付けます。AOM は主に SIM、OMT、および STR を接続し、公平性、信頼およびその後の貢献の動作メカニズムが OB を接続します。

提案された増分: 投資と出資の事実、確認権限、企業の長期価値と資本戦略に関連する該当株式の取得、参加者による受け入れか保有継続の選択、実績、株式の撤退とその後の投資などの事実を観察し、長期資本関係がどのように形成、維持、または変化するのかを説明する。企業の持続可能な能力と運用資産、参加者が負う時間間の責任と合意どおりに実現できるもの、ビジネスコラボレーションが継続するかどうかを区別し、これら 3 つの間の同期または非同期の影響を検討します。株式の取り決めは元の役割に重ね合わされており、株式の取得は役割のアイデンティティに基づいて自動的に推定されるものではなく、また株式の保有は事業を提供し続けることと同じではありません。

図R10・寄与1：長期資本関係の形成と持続メカニズム

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 既存の株式の実現と次の投資の収益を区別します。参加者が権利と利益を保持し、現在の一連のサービスを終了できる場合、履行によって約束の信頼性が高まることと、新規投資の未知の収益が投資意欲を低下させるという 2 つの説明を比較し、機会が与えられた場合の実際の行動を追跡します。



事業終了後も、契約に従って既存の権益を引き続き現金化することができます。この図は、企業が残した能力と参加者の保有、協力、履行状況をそれぞれ記録し、2 つの予測を使用して次の実際の機会への献身的な投資を説明します。このパスは主に E と D を接続し、B、C、A の関連する結果を観察します。

比較参考： ステークホルダーの共同価値創造、集団行動、ガバナンス。関係契約と組織能力

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

職務定義と役割の境界: この研究で議論されている長期的な資本関係は、その後の共創をサポートできる投資と将来の利益を中心に展開しており、企業の長期的な価値と資本戦略に関連する対応する権利と責任を、本来の参加者の役割に加えて整理しています。参加者は、それを受け入れて保持し続けるかどうかを選択し、効果的

な取り決めに従って履行と終了を処理することができます。定期的な賃金、長期的な供給、有料会員権、および継続的なサービス関係自体は、ここで議論されている長期的な資本関係を構成するものではありません。それぞれに継続性とガバナンス上の価値があるため、一括して 1 回限りのトランザクションと見なすことはできません。関係の存在、口座の存在、または寄付の記録だけでは、資本利益または資本関係を独立して特定するには十分ではありません。

ここで議論する資本は、企業の長期的な価値と資本戦略に関連しています。後払い、長期給与、継続勤務報酬のみは、将来の利益が存在するため、自動的には含まれません。以下の保有、売却、事業選択の比較はすべてこの資本範囲を使用しています。

株式保有、ビジネスコラボレーション、企業能力は分離されています。

別途監視が必要な状態	直接推測できない結論
相応の権利利益を取得・保有し、事業連携を継続	株式協定の確認は、両者が同時に存在するだけでは継続的な投資にはつながりません。
株式は引き続き保有するが、当初の業務提携を終了	事業の中断は、資本の消滅やすべての資本関係の終了として自動的に記録されるわけではありません。
業務提携は継続しているが、契約に基づき権利譲渡・撤回が行われている	事業継続性は、元の資本を保持しているものとして自動的に記述されることはありません。
部分的な譲渡、部分的な権利の保持、または保留中の履行	単一の「終了/未終了」ステータスですべての権利と責任をカバーすることはできません

企業は能力を維持してもビジネス協力が中断される場合もあれば、安定した人間と機械の相補性または関係固有の条件の下で能力の形成を継続する場合もあります。株式の保有、権利と責任の履行、協力的な行動、能力の変化は個別に記録され、それらの相関関係を判断するには時間と比較、代替説明が必要です。

収入制度と権利者の範囲： 提案されている制度は、正式運用後の制度の範囲内での全体の収入とそれに関連する権利と責任を重視しており、新規収入だけでなく、事業、資産管理、投資、その他の収入をカバーし、個別に会計処理している。収益、コスト、利益、分配、保有、再投資は個別にチェックされますが、すべての収益を分配可能とみなしたり、全額支払われたとみなしたりすることはできません。追加された値は引き続き分析や測定に使用できます。具体的な割合、既存の資本、過去の取引関係および有効な境界は、その後のシステムによって決定されます。この章では、これらの条件や運用日については明確ではありません。

株式は、配当、株式、株式、STO 関連の取り決めと関連付けることができますが、権利の内容、キャリア、登録技術、および出口方法を区別する必要があります。譲渡、買戻しおよび関連条件はその後のシステムによって決定されるものであり、いつでも事前に設定された自動転換、無償譲渡、または無条件の買戻しはありません。作業概念は、会計、法的、または証券の権利の項目別の特定に代わるものではなく、また、この章で取引や提案を策定するものでもありません。

既存の調査と比較のベンチマーク: ステークホルダーのガバナンスは、共同の価値創造における集団行動とガバナンスの形態を研究してきました。リレーショナル契約研究は、コミットメント、コラボレーション、組織能力を結びつけてきました。この研究では、「利害関係者の協力」や「長期的な取り組みが役割を果たしている」を新しい発見として再定式化することなく、これらの説明を段階的に特定する必要があります。初期対話パートナーには以下が含まれます： ブリドゥーとシュトールホルスト (2022)そして ギボンズとヘンダーソン (2012)。

事業は停止しましたが、すでに取得した権利と利益は約束どおり尊重されます。次回機会があれば、参加者は再びこの企業に投資するでしょうか?

パートナーが元の注文を履行したとします。次の注文では、会社の配達チームのトレーニングに時間を費やす必要があり、この経験は主に両者間の協力に生かされています。この新しい投資については、比較する価値のある 2 つの説明があります。

- **実行することで、約束の信頼性が高まります。** 前回の注文が終了した場合でも、当社は合意どおり既存の権利と利益を尊重します。次の投資に対する報酬の取り決めが同じである場合、パフォーマンスの根拠がない状況と比較して、その履行を確認することで、パートナーは新たなコミットメントをより信頼し、より多くのトレーニング時間を投資する意欲を持つようになる可能性があります。
- **新たな投資についても考慮する必要があります。** 元の権利と利益が確実に実現され、注文を継続するために保有を継続する必要がない場合、トレーニングにどれくらいの時間がかかるか、この追加の貢献がどのように報われるかが彼の選択に影響します。新たな収益が明確で期待されている状況と比較して、新たな収益が不明確で他のプロジェクトが利用可能な場合は、元の資本を保持し、会社への新規投資を削減または放棄する可能性があります。

どちらの説明も、次の機会における実際の専用投資について考察しています。すでに実績はあるものの、新たなリターンがまだ不透明な組み合わせは特に注目に値する。シナリオ内の業績基準と新しい収益取り決めをそれぞれ変更したり、実際の協力で比較可能な状況を見つけて、元の役割報酬、元の資本価値、プロジェクトの条件、その他の機会を確認したりできます。この 2 つの効果は同時に発生する可能性があります。誰かが命令を受け続けているだけを見ても、誰がその役割を果たしたのかは明らかではありません。

その他の確認が必要な条件

- 拠出金は、企業の長期的な価値および資本戦略に関連する対応する権利および利益が期待でき、実際の業績がそれに基づいている場合にのみ認識されます。将来の収益期待を通じて、受け入れ、保有、再投資に影響を与える可能性があります。これらの期待や動作を変更せずに記録を増やすだけであれば、このメカニズムの説明は限定的になるはずです。
- 株式の取り決めが事業の継続を支援できるかどうかは、株式の保有と事業の継続との間の具体的な関係およびその他の協力条件によって決まります。事業停止後も株式収入が継続できる状況と、株式から撤退しても事業が継続できる状況をそれぞれ比較すべきであり、「長期」を直接的に固定協力や強制保有として理解すべきではない。
- 当期の分配、保有、再投資は、参加者の利益とその後の企業の能力に異なる影響を与える可能性があります。全体的な収益システムの役割を、運用、資産管理、投資成果、パフォーマンス状況と関連付けて説明する必要があります。より多くの割り当てやより長い保有が必ずしも良いことを前提としていません。

実証およびテストするには: 献身的な投資、相互依存、換金の遅れなどの状況下で、株式取得、オプション保有、期待収益、実績がそれぞれ知識共有、再投資、事業継続に影響を与えるかどうか。譲渡、部分的撤回、および支配権の変更によって、残りの権利、責任、および履行条件がどのように変化するか。 「利害関係を受け入れないがビジネスを継続する」、「利害関係を保持するがコラボレーションを停止する」などの比較とシステムの変更されていない動作を保持して、参加の選択肢、元の関係、ビジネスの見通し、その他の報酬が結果を説明できるかどうかを確認しました。

反例と境界: 記録がより完全になったが、割り当てとその後のアクションが変更されていない場合、情報の可視性を制限するための説明。権利は明らかだが履行されていない場合は、資金、認可、責任のリンクを特定します。権利と利益が依然として保持されているにもかかわらず、事業協力が中断された場合、権利の継続は協力

の継続と同等であるとは言えません。企業能力の保持は、参加者が依然として利益を保持していることを証明するものではありません。一般契約、既存の財産権、または関係ガバナンス理論の一部で、拠出請求をそれに応じて絞り込むのに十分な説明が得られるもの。

現在のステータス: 書籍の原稿や機構表現、紙面のデザインはすでに存在しており、予備的な比較対象が列挙されており、特別な文献比較と完全な理論的実証を完了する必要があり、関連する実際のメカニズムと効果をテストする必要があります。

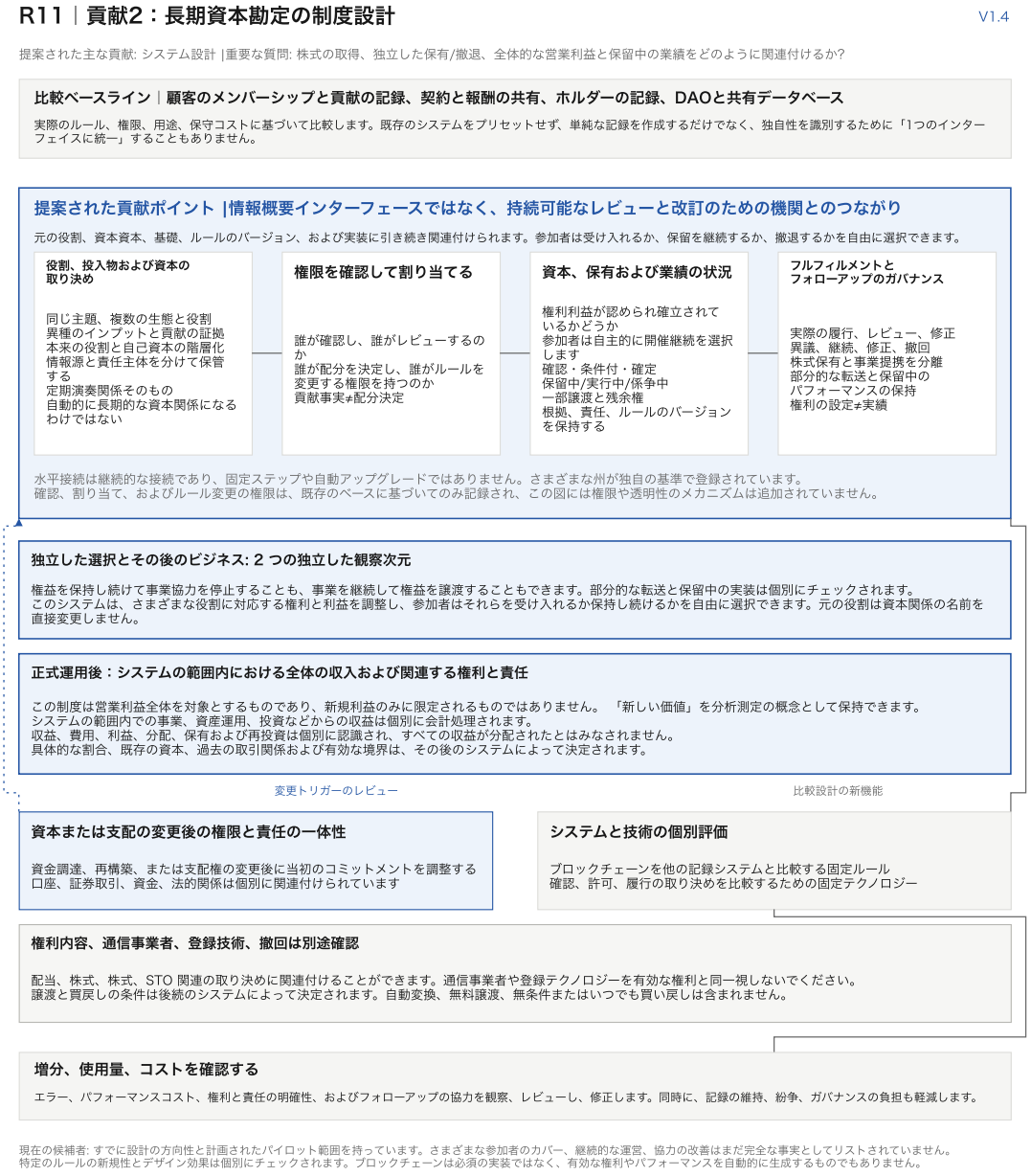
貢献2: ステークホルダーのための長期資本勘定の制度設計

タイプとステータス: 確立される主な制度設計への貢献。主に E1 ～ E3 を接続し、A2、A3、および D をリンクします。AOM は主に、OMT、SIM、CTO、および STR とインターフェイスします。

提案された増分: アカウントが通常のパフォーマンスと資本資本の 2 つのレベルを記録できることを前提として、複数の ID、異質なインプット、寄与証拠、確認権限、ルール バージョン、対応する株式の取得、受け入れと保有のオプション、部分的な変更と引き出し、および保留中のパフォーマンスが、持続的にリンクされた制度的インターフェイスに編成されます。定期報酬は資本資本から分離されており、事業提携、株式保有、企業能力の変化は個別に観察され、すべての会計記録が資本関係として一律に解釈されるわけではありません。

図 R11 ・貢献 2: 長期資本勘定の制度設計

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 複数の役割を異種投資、株式取得、独立保有/撤退、全体的な営業利益項目、ルールバージョン、保留中の実装に継続的に関連付けます。資本とビジネスの軌跡を区別し、過去のビジネスと決定すべき特定の条件を保持します。



提案されたシステムの漸進的な位置付けは、継続的に関連する役割、株式の取得、独立した保有と撤退、実装とルールのバージョンにあります。株式保有と事業提携は分けて観察されます。正式な運用後は、システムの範囲内の全体の収入と関連する権利と責任がカバーされます。商業収入、資産運用収入、投資収入、その他の収入は個別に会計処理され、収益、費用、利益、分配、保有、再投資が区別されます。

比較参考： 顧客関係と会員記録。寄付台帳;契約と報酬の共有。所有者の記録。 DAOのガバナンス。共有データベース。実際のルール、権限、使用法、およびコストの比較に基づいて、特定の種類のソリューションが単純な機能のみを備えているとは想定されていません。 ;ルミノー、ワン、シルケ (2021);同じルールとインセンティブの下で技術的な実装を比較する。同じテクノロジーの下での確認、権限、および履行の取り決めを比較する

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

比較する必要がある設計: 顧客関係および会員記録、寄付台帳、報酬または共有の取り決め、所有者記録、契約および関係ガバナンス、DAO ガバナンスおよび共有データベース。実際のルールと使用法に重点を置いています。ある種の既存システムが単純な機能しか持たないことを前提とするものではなく、また「一つのインターフェースへの統一」のみに基づいて独自性を判断するものでもありません。

システム増分の具体的な場所:

- 異なる種類の権利と責任、および実行主体を保持しながら、同じ主体の異なる生態と役割に関連しています。
- 貢献の事実と割り当ての決定を分離し、誰が確認し、誰がレビューし、誰がルールを変更する権限を持っているかを説明します。
- 確認される取り決め、条件付きの取り決め、確立される取り決め、実行される取り決め、履行される取り決め、または争点となる取り決めをそれぞれ記録し、根拠とバージョンを保持します。
- 効果的な取り決めによれば、権益の取得、受け入れと継続保有、事業継続、部分的譲渡または撤退、保留中の履行はそれぞれ関連しており、さまざまな種類の権利と責任が自動的にステータスのはしごに押し込まれることはありません。
- 反対意見、パフォーマンス、認可、事業継続、権利の撤回を対応する関係にフィードバックして、システムの動作が変わるかどうかをテストします。
- システムの範囲内で事業、資産運用、投資収益を記録し、収益、コスト、利益、分配、保有、再投資の基礎も記録します。具体的な割合、既存の資本および過去のビジネス関係は今後決定されます。
- 資本構成、資金調達、組織再編または管理の変更後、該当するコミットメントおよび権利と責任を確認します。口座はそれぞれ有価証券、資金、法的関係にリンクされています。

システムとテクノロジーは個別に評価されます。 同じルールとインセンティブの下で、ブロックチェーンが他の記録システムに何を追加するかを比較してください。同じ技術的条件の下で、さまざまな確認、許可、履行取り決めの影響を比較します。メンテナンス、紛争、ガバナンスの負担を文書化しながら、レビュー、修正、履行コスト、責任の明確性、フォローアップの取り組みを観察します。ブロックチェーンと契約および関係ガバナンスを比較する研究がありました。この研究では、特定の新しいルールとその結果を特定する必要があります。参照 ルミノー、ワン、シルケ (2021)。

現在のステータス: 設計の方向性、提案されている試験的な会計範囲および関連ルールはすでに整備されています。さまざまな参加者の取材、運営の継続、協力の改善などは、まだ完全な事実としてリストされていません。特定のデザインの新規性と効果は個別にチェックされます。

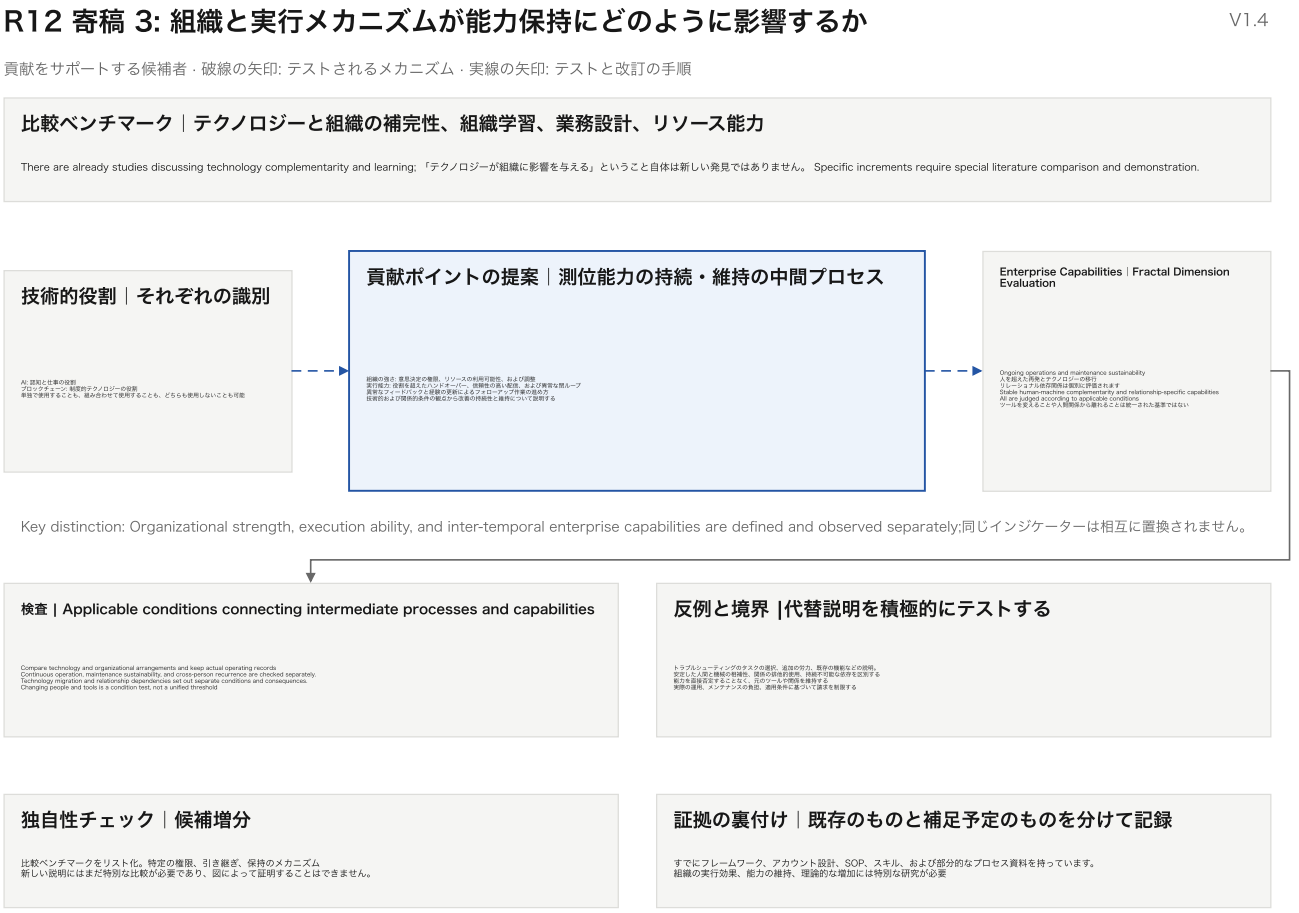
貢献3: テクノロジー、組織、実行が能力維持に影響を与えるメカニズム

タイプ: メカニズムの説明と境界寄与候補。主にA1、A2、B1-B3を接続し、顧客配信調査はC1、C2、C3に関連します。 CTO、ODC、MOC、OB、STR を接続します。

提案された増分: 意思決定の権限、リソースの可用性、役割を越えた引き継ぎ、異常なフィードバックと経験の更新などの中間プロセスを特定し、それぞれ AI の認知的役割と作業的役割、およびブロックチェーンの制度的テクノロジーの役割を研究し、明確な人材、ツール、関係の条件下で持続可能な使用に切り替える能力をいつ向上させるかを説明します。組織力、実行力、企業能力は個別に観察され、継続的な運用と能力の維持、保守の持続可能性、人を超えた再発、技術の移行、関係の依存性は個別に評価され、相互に統一された閾値ではありません。

図 R12 · 貢献 3: 組織と実行メカニズムが能力保持にどのように影響するか

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 権限の位置付け、リソースの到着、役割間のハンドオーバー、異常なフィードバック、エクスペリエンスの更新などの中間プロセスは、機能の永続性と保持のための特定の条件を説明します。組織力、実行力、企業能力を個別に観察します。 5 つの能力評価は相互に置き換えられるものではありません。安定した人間と機械の補完性と関係固有の能力は、条件に応じて判断されます。



著者の研究枠組みを示す。この研究の4人の支援候補者のうちの1人。メカニズムはテストする必要があり、独創性と証拠は別々に記録されます。

支援貢献の候補者: テクノロジーの補完性、組織学習などに関する既存の研究に基づいて、権限、リソース、引き継ぎ、異常なフィードバック、経験の更新などの中間プロセスを特定することが計画されています。機能の継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性をそれぞれ評価し、ツールの変更や関係からの離脱を統一的な基準として使用しないでください。

比較参考： テクノロジーと組織の補完性、組織の学習、ジョブデザイン、およびリソースの能力に関する研究。テクノロジーの補完性と学習に関する既存の説明は、関連する機能がないと否定されたり、単純化されたりするものではありません。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

ベンチマーク: 技術的および組織的な補完性、組織学習、職務設計およびリソース能力に関する研究。 AI への無形の補完的投資の必要性については明確な研究があります。 ブリニョルフソン、ロック＆サイバーソン (2021);この調査では、特定の引き継ぎ、許可、または保持メカニズムの増加に対処する必要があり、広範な「テクノロジーに影響を与える組織」を新しい発見として扱うことはできません。

証拠と反例: 技術と組織の配置の比較、プロセスの記録、およびフォローアップの操作観察を使用して、研究課題に基づいて、人を超えた再発、技術移転、または関係条件の変化のテストを実施します。タスクの選択、追加の労力、または既存の機能によって説明できる改善は、提案されたメカニズムに起因するものではありません。元のツールまたは関係の下でのみ有効な場合は、依存関係と適用範囲を説明する必要があります。保守コストが持続不可能な場合、または継続的な運用が失敗した場合、保持請求は制限されるものとします。安定した人間と機械の相補性または関係固有の機能が存在する可能性があります。ただし、移行に失敗した場合や関係が分離した場合は無効となります。これは、元の条件だけでの機能を無効にするものではありません。

保持と移行の観察上の違い:

評価次元	対応問題
継続的な運用と能力の維持	指定されたリソースおよび関係条件の下で、後続のタスクおよび期間で継続的に呼び出すことができますか?
持続可能性の維持	更新、レビュー、修正、保守にかかるコストは手頃ですか? それとも文書化されていない追加の労力に依存していますか?
人を超えての再出現	執行者の変更や引継ぎ後もどのようなパフォーマンスを維持できるのか、またどのようなトレーニングやサポートに頼ることができるのでしょうか?
テクノロジーの移行	モデル、ツール、ベンダーを変更するときに移行できるものは何ですか?コストとパフォーマンスの境界は何ですか?
関係依存関係	特定のコラボレーション、補完的なリソース、または共有ルーチンに依存する機能はどれですか?また、関係が変化するとそれらはどのように変化しますか?

上記の次元はさまざまな質問に答えますが、各機能が既存のツールや関係から独立して存在する必要はありません。

現在のステータス: AI フレームワーク、ブロックチェーン システム テクノロジーとアカウント設計、SOP、スキル、ローカル作業プロセス資料はすでに存在します。同等の組織効果と実行効果、能力の維持、理論的な増加については、まだ具体的に研究する必要があります。

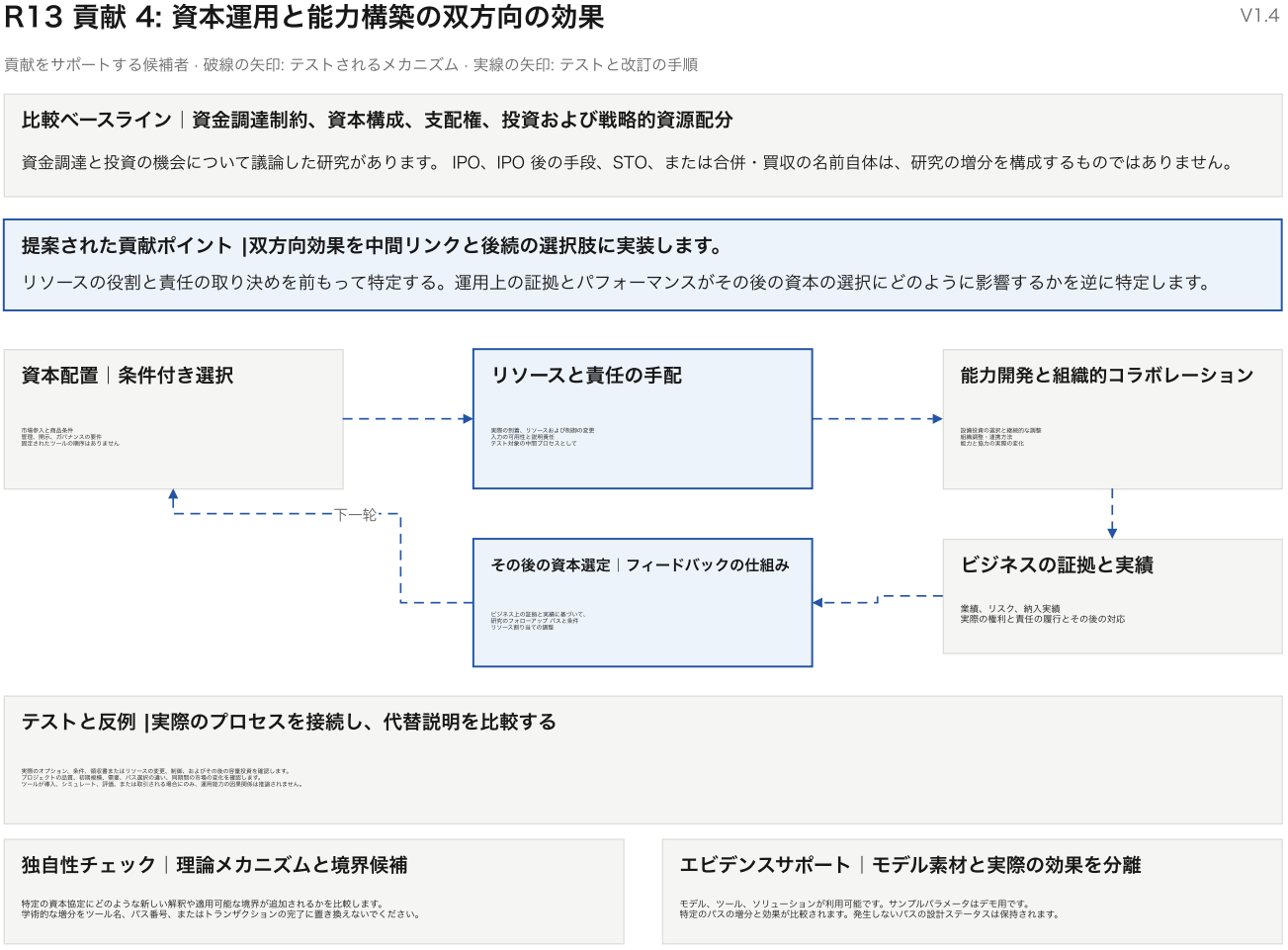
貢献4: 積極的な資本運用と能力構築の双方向の効果

タイプ: 理論的メカニズムと境界の貢献の候補。主に D1 ～ D3 を接続し、B、C、E に関連します。 STR を主要な AOM ドッキングとして使用し、純粋な財務構造とシステムが隣接する分野を結び付けます。

提案された増分: 資本市場への参入、商品条件、管理と開示のガバナンス要件、能力投資の変更方法、組織調整、リソースと責任の取り決めによる継続的協力を比較します。そして、運用証拠とパフォーマンス状況がその後の資本選択にどのようにフィードバックされるかを研究します。

図 R13 · 貢献 4: 資本運用と能力構築の双方向の効果

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 資本投入、条件、および管理開示要件が、リソースと責任の取り決めを通じた能力投資および組織協力に与える影響を特定し、その後の資本選択における運用証拠とパフォーマンスの逆メカニズムを特定します。



著者の研究枠組みの概略図。点線はテスト対象の双方向メカニズムと非資本取引の実施計画を表しています。

拠出候補者をサポートする: 資本の取り決めが能力投資、組織の調整、リソースと責任を通じたコラボレーションにどのような影響を与えるかを比較し、運営上の証拠と実績がその後の資本の選択にどのようにフィードバックされるかを調査します。

比較参考： 資金調達の制約、資本構成、支配権、投資および戦略的資源配分に関する調査。既存の資金調達と投資の関係はベンチマークとして使用されており、他の理論には双方向の関係がないとは主張されていません。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 資金調達の制約、資本構造、支配権、投資および戦略的資源配分を比較ベンチマークとして考えると、資本商品の名前自体は増分を構成しません。市場参入、ツール条件、管理と開示のガバナンス要件、能力投資に影響を与える方法、実際のリソースと責任の取り決めによる組織調整と継続的協力を今後特定することが計画されています。そして、ビジネス上の証拠と実際の実施が、その後の経路、条件、リソース配分にどのような影響を与えるかを逆に特定し、次の資本調整ラウンドに戻ります。実際の選択、期間、到着またはリソースの変更、制御およびフォローアップ能力を含む接続プロセスを入力し、プロジェクトの品質、初期規模、市場需要、パスの選択、同時期の市場の変化を確認します。ツールの導入、シミュレーション計画、評

価、または取引の変更だけでは、運用能力の因果関係が推測されません。モデル、ツール、ソリューションはすでに存在しますが、パラメータ例はまだデモンストレーション用であり、発生しないパスの設計またはシナリオは保持されます。具体的なメカニズムの増加と実際の効果を比較する必要があり、独自性のチェックと証拠のサポートは分離されています。

ベンチマーク: 資金調達の制約、資本構成、支配権、投資、戦略的資源配分に関する調査。資金調達の取り決めと投資機会との関係は、コーポレートファイナンスにおいて研究されてきました。 Myers（1977）。 IPO、IPO 後の証券ビークル、STO、または M&A の指定は、それ自体で調査の増加を構成するものではありません。

証拠と反例: 実際のオプション、条件、到着またはリソースの変更、制御およびフォローアップ機能を備えた接続プロセスに投資します。プロジェクトの品質、元の規模、市場の需要、参加オプションを確認します。ツールの導入、シミュレーション計画、評価または取引の変更のみがある場合、営業能力の因果関係はそれに応じて主張されません。

現在のステータス: 資本モデル、ツール、ソリューション資料はすでに入手可能です。パラメータ例はあくまで例示的なものです。特定の資本経路の学術的な増分効果と実際的な効果はまだ比較されておらず、発生しない経路は設計またはシナリオとして残されています。

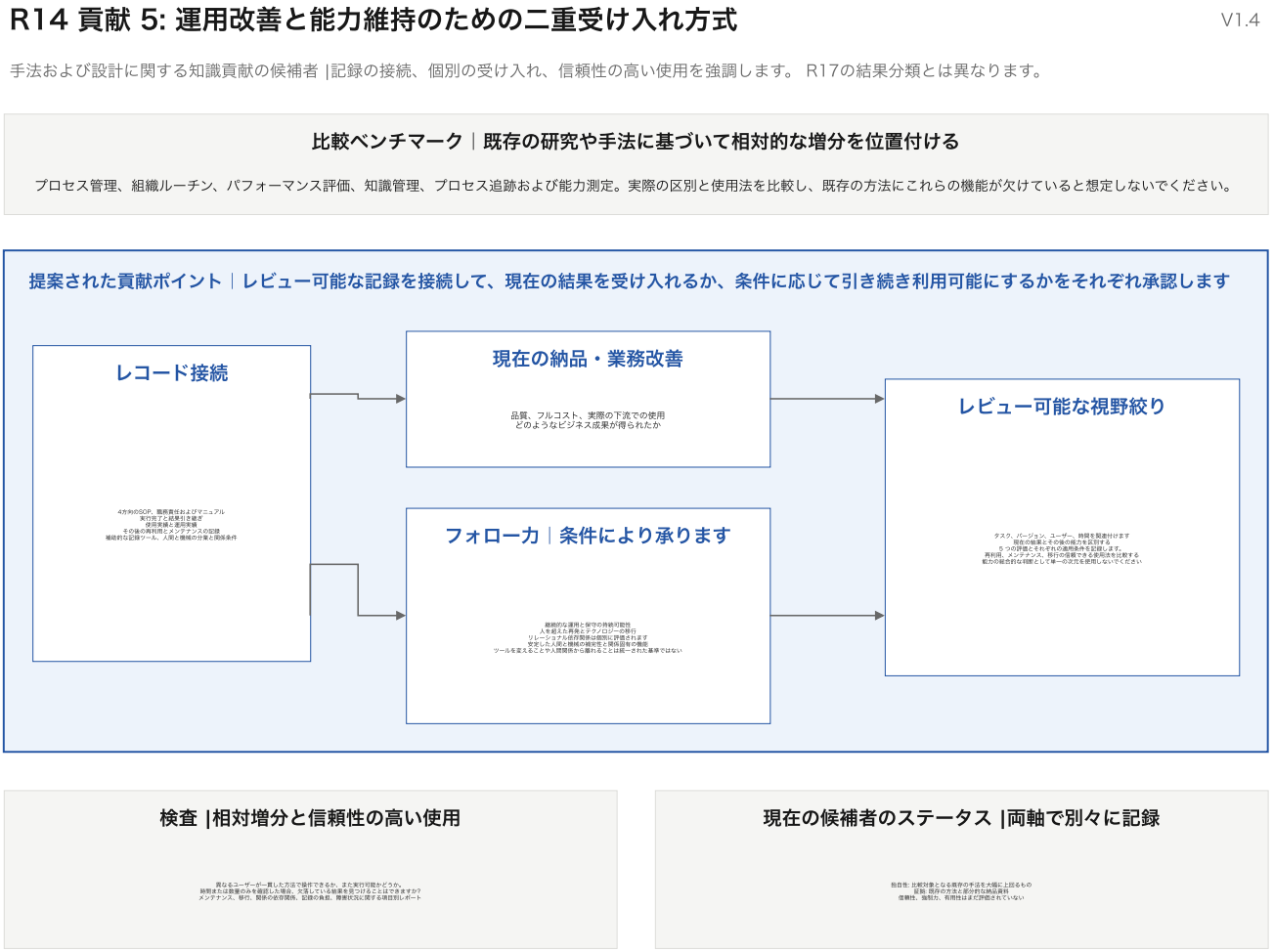
貢献5：業務改善と能力維持のための二重受け入れ方式

タイプ: 手法および設計の知識に貢献する候補者。主に A2、B1、B3、C3、C1、C2 に関連する顧客プロジェクト、E に関連するガバナンス問題に関連します。 CTO、OMT、STR、OSCM に関連する運用上の問題とのドッキング。

提案された増分: 4 方向の SOP、職務責任とマニュアル、結果の引き継ぎとその後の再利用記録を通じて、現在の納品または運用の改善、および明確な条件下での継続的な運用と機能の維持が個別に承認されます。その後、メンテナンス、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性が個別に報告されます。実行完了、受入、下流での使用、稼働結果を結び付けてレビュー可能な観察基準を形成し、ツール交換や関係からの離脱を統一的な合格条件として設定しないでください。

図R14・貢献5：業務改善と能力維持のための二重受け入れ方式

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 実行、引き継ぎ、実際の使用、運用結果、その後の再利用とメンテナンスの記録を結び付け、現在の納入または運用改善の受け入れと、条件に応じて継続的に利用できる能力を区別します。継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、技術の移行、および人間関係への依存を個別に評価し、レビュー可能で信頼性の高い使用ができる観察能力の形成を計画します。



4群/2×2比較や一般的な測定手法は確立された手法です。名前や記録シート自体は新規性を示しません。

著者の研究枠組みの模式図。実線は記録と受理の間の関係であり、効果が確認されたことを意味するものではありません。この研究の4人の支援候補者のうちの1人

4方向のSOP、職務責任とマニュアル、引き継ぎ、保守記録の再利用を使用して、実行、実際の使用、および運用結果を結び付けることが計画されています。現在の提供または運用の改善と、状況に応じて継続的に利用可能なフォローアップ機能がそれぞれ受け入れられ、5 つの機能の側面が個別に評価され、既存の方法の増分と信頼性の高い使用がテストされます。

比較参考： 既存のプロセス管理、組織ルーチン、パフォーマンス評価、知識管理、プロセス追跡および能力測定。実際の区別と目的の比較に基づいて、4 つのグループ/2×2 の比較と一般的な測定が既存の方法です。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

ベンチマーク: プロセス管理、組織ルーチン、パフォーマンス評価、知識管理、プロセス追跡、能力測定があります。二重承認または一連の記録の名前だけが新規性を証明するわけではありません。それがどのような特徴、信頼できる測定値、または適用可能な設計原則を追加するのかを示します。

証拠と反例: さまざまなユーザーが一貫した方法で操作できるかどうか、欠落した作業時間や数量の結果が見つかるかどうか、継続的な操作、保守コスト、複数の人をまたいだ再発、テクノロジーの移行、および関係の依存関係をそれぞれ特定できるかどうかを確認します。記録の負担、測定の失敗、証拠のない寸法を報告し、すべての能力の判断を単一の移行テストに置き換えないでください。 4 つのグループの比較と一般的な測定手法は確立された研究方法として使用されており、これに基づいて独自の研究デザインを提唱するものではありません。

現在のステータス: 既存の方法と部分的な成果物。既存の方法と比較して、明確な増分、実行可能性、信頼性、および有用性を評価する必要があります。

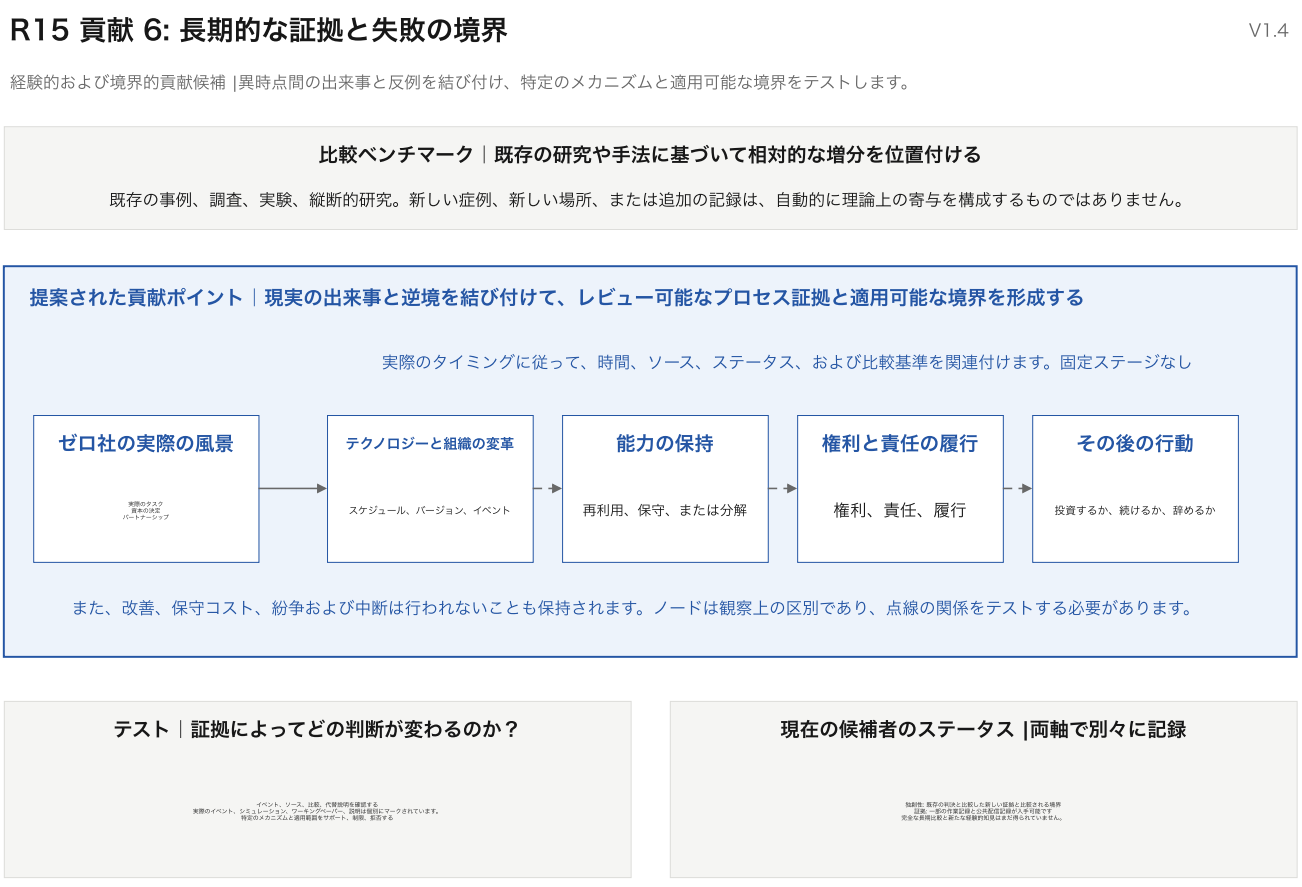
貢献 6: 長期的な証拠と失敗の境界

タイプ: 経験的および境界的な貢献の候補者。主に STR、OMT、CTO、または SIM を特定のメカニズムに従って接続し、5 方向に実行されます。

提案された増分: Company Zero の実際のタスク、資本決定、および協力関係を利用して、技術的および組織的な変更、能力の保持、権利と責任の履行およびその後の行動を結びつけ、改善、保守コスト、紛争と中断を一切保持せず、レビュー可能なプロセスの証拠と適用可能な境界を形成します。

図 R15 · 貢献 6: 長期的証拠と失敗境界

図は、提案された貢献ポイントを示しています。 実際のタスク、資本に関する意思決定、協力関係における異時点間の変化、能力の保持、権利と責任の履行、およびその後の行動を逆の軌道に結び付けて、レビュー可能なプロセス証拠を形成し、既存のメカニズムの判断と適用の境界における特定の増分を特定します。



同じ組織からの繰り返しの観察 ≠ 複数の企業からの独立した因果関係のサンプル。 Company Zero からの証拠は、一般的な因果関係の結論に直接一般化することはできません。

著者の研究枠組みの概略図。相関線は原因と結果を証明するものではなく、完全な長期的な証拠と故障の境界はまだテストされていません。貢献候補者へのサポート

ゼロ社の実際の業務、資本決定、協力関係における異時点間の出来事をレビュー可能なプロセス証拠に結び付け、改善の欠如、保守コスト、紛争と中断を保持し、既存の判断の相対的な増分、メカニズムの理解、および適用可能な境界をテストすることが計画されています。

比較参考： この分野ではすでに事例、調査、実験、縦断的研究が行われています。新しい場所、新しい症例、その他の記録が自動的に新しい理論になるわけではありません。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 既存の事例、調査、実験、縦断的研究を中立的な比較ベンチマークとして使用します。ブルーボックスで提案されている貢献点は、ゼロ社の実際のタスクと資本決定における時間、情報源、ステータス、比較基準を協力関係と関連付け、技術的組織の変更、能力の維持、権利と責任の履行、およびその後の行動を結びつけ、改善の欠如、保守コスト、紛争、中断などの好ましくない軌道を保持して、レビュー可能なプロセス証拠と適用可能な境界を形成することです。ノードは観察によって区別され、固定された段階ではなく実際のイベントのシーケンスに基づいて関連付けられます。点線の関係をテストする必要があり、プロセスは確立された因果関係の連鎖として描かれていません。評価する際には、ソース、イベント、比較、代替説明を確認し、実際のイベント、シミュレーション、研究論文、説明を区別し、証拠がどのメカニズムと適用範囲をサポ

ート、制限、または否定しているかを検討します。新しい症例や記録の数は、自動的に理論上の寄与を構成するものではありません。独創性軸では、どの既存の判断や境界が新しい証拠によって変更されたかを比較する必要があります。証拠軸にはすでにいくつかの作業と公開記録があり、完全な縦断的比較と新しい経験的発見はまだ形成されていません。同じ組織内で繰り返された観察は、複数の企業の独立した因果サンプルを構成するものではなく、Company Zero からの証拠を一般的な因果関係の結論に直接一般化することはできません。

ベンチマーク: 関連分野では、事例、調査、実験、縦断的研究が行われてきました。新しい事件、新しい場所、または追加の記録は自動的に理論的貢献を構成するものではなく、既存の判断、メカニズムの理解、または適用可能な境界のどれを変更するかの説明が必要です。

証拠と反例: イベント、状態、ソース、比較、および代替説明を特定します。実際の出来事、シミュレーション、調査報告書、解釈を区別します。同じ組織内で繰り返された観察は、対応するレベルで解釈されます。著者、人間のチーム、AI ツールのさまざまな役割は個別に記録され、AI における複数グループの共同作業は複数の独立した人間の研究サンプルとはみなされません。反例、変化なし、または不利な結果は、境界線の証拠を形成する可能性があります。

現在のステータス: 一部の作業記録や公共配信記録はすでに入手可能ですが、完全な長期比較や新たな実証的知見はまだ形成されていません。 Company Zero からの証拠は、すべての企業に対する一般的な因果関係の結論を直接一般化するものではありません。

貢献と研究の方向性および主力トピック間の対応関係

候補者の貢献	主な方向と主な路線	主に引き受ける
貢献1：長期資本関係の形成と持続メカニズム	E2、E3、関連する B、C、D	フラッグシップ 3; 4 つの論文のステークホルダー資本と関連メカニズム
貢献２：長期資本勘定制度の設計	E1〜E3、A2、A3、Dに関連付けられています	フラッグシップ 3;アカウント、権限、ルール、フルフィルメント、レビューの設計
貢献 3: 組織と執行の変更、能力維持メカニズム	A1、A2、B1-B3、C1、C2、C3 に関連	フラッグシップワン。次の同様の配信を使用して保持能力をテストし、検証された購入先、トランザクション、コストを使用して会社がどれだけの収益を保持できるかを観察します。
貢献 4: 資本運用と能力構築の双方向の効果	D1—D3、B、C、E に関連付けられています	フラッグシップ2;資本の道、条件、そして実際の決定
貢献 5: 二重の受け入れと観察の方法	A2、B1、B3、C3、C1、C2、Eに関連	Flagship One およびその他の該当するトピック。運用改善と機能維持をそれぞれ確認して受け入れ、顧客のプロジェクトを市場比較に結び付けます。
貢献 6: 長期的な証拠と失敗の境界	特定のメカニズムに従った帰属	3 つの主力艦とカンパニーゼロの実践記録

提案されている 2 つの寄稿では、依然として説明とシステム設計に重点が置かれています。 4 人の支援候補者はそれぞれ、組織の実行、資本のフィードバック、手法、長期的な証拠を研究しています。これらはまた、長期的な資本関係だけを対象としたものではなく、企業の適応と差別化に関する一般的な質問にも直接答えてい

ます。各項目は材料を共有できますが、何を実証しているのかを明確に説明する必要があり、同じ材料を複数の独立した発見として繰り返しカウントすることはできません。

C1 と C2 は、主要な 1 つの顧客プロジェクトの比較に入ります。オリジナルの投稿 3 と 5 は、それぞれ能力を維持する方法と測定方法に答えています。他の業者が同様の配達を行った後も、誰が注文や報酬を受け取ることができるかは、顧客の実際の選択によって決まります。研究者は 2 種類の材料を同じプロジェクトにリンクし、その収益が実際に次の投資に流れ込むかどうかを追跡できます。

比較文献の最初のバッチとテスト対象の増分

以下の表は、まず広範囲にわたる比較を行うことを目的としており、まだ完全な文献レビューではなく、研究上のギャップを特定するものでもありません。書誌情報と公開抄録はチェック済みです。特に何が追加されたかについては、関連する全文を読み、フォローアップ文献を追跡し、それを項目ごとに実証する必要があります。

比較文献	すでに研究ベンチマークを持っている	この研究でさらに説明が必要なこと
Bridoux および Stoelhorst (2022)、ステークホルダーのガバナンス	共通の価値創造における集団行動とガバナンスの取り決め	確認、権利設定、実績、再投資のプロセスと長期資本関係の境界の区別
ギボンズとヘンダーソン (2012)、人間関係の契約と組織能力	関係契約と組織能力との関係	企業の能力形成と参加者の異時点間の責任はどのように同期されるのか、または同期されないのか、またアカウント設計には何が追加されるのでしょうか?
ルミノー、ワン、シルケ (2021)、ブロックチェーン ガバナンス	ブロックチェーンおよびその他の協力的なガバナンス メカニズム	複数の役割、権限の確認、異質な権利、履行、異議および退出に関する特定の組織的ルール
ブリニョルフソン、ロック & サイバーソン (2021)、生産性 J カーブ	一般的な技術と無形の補完的投入	組織と実行、能力の保持と維持、長期的な権利と責任との関連のための特定の中間メカニズム
Myers（1977）, Determinants of Corporate Borrowing	資金調達、資本構成、投資機会の関係	特定の資本運用協定の下での能力投入、協力、およびパフォーマンスのための新しいメカニズムまたは境界

Teece (1986) は、模倣条件と補完的な資産がイノベーションの利益の帰属にどのように影響するかを分析しました。 Coff (1999) はさらに、参加者の交渉力が企業が帳簿上どれだけの利益を得ることができるかに影響を与えると説明しています。これら 2 つの調査に続いて、顧客プロジェクトの同じバッチにおける配信能力、再見積後の実際の収益、および次の投資の選択を追跡し、3 つが接続される条件を比較したいと考えています。この関係が検討されるべき問題です。ティース原文 · コフ原文

補足的な最も近い比較: 権利、リソースの呼び出し可能性、および関係の特異性

次の 4 つの比較は、公平性、リソースの呼び出し可能性、および関係の特異性に焦点を当てています。一次資料の書誌情報と要約はチェックされていますが、これは全文の体系的な比較や世界的な新規性のレビューが完了したことを意味するものではありません。

一次ソース比較対象	既存の説明による承認	この研究でさらに比較するために必要な候補増分
ラジャンとジンガレス (1998)、会社理論における権力 [71]	主要なリソースへのアクセス権に対する取り決め、専用の投資、およびインセンティブについて議論されています。リソースの利用可能性や権利の役割それ自体は新しい発見とはみなされません。	複数の役割を持つ株式の取得、保有、事業の選択は、実際のリソースの呼び出しとその後の収益にどのように関係するのでしょうか?
ブレアとスタウト (1999)、企業法のチーム生産理論 [72]	専用のインプット、不可分なアウトプット、報酬分配について議論し、共通のインプットと収入の取り決めについて説明しました。	収益システム全体における株式保有、実際の業績、ビジネスの間の継続的な非同期の具体的なメカニズムと境界
ハートとムーア (1990)、財産権と会社の性質 [73]	資産管理と所有権の変更が投資インセンティブに及ぼす影響は研究されており、すべての収入の取り決めが資産の所有権と同一視されるわけではありません。	権利内容、キャリア、記録、部分取消を個別に扱った後、アカウントシステムにはどのような説明や設計目的が追加されるのでしょうか？
ダイアーとシン (1998)、関係的見解 [74]	関係固有の資産、知識共有ルーチン、補完的なリソース、ガバナンスについて議論されており、機能は関係に組み込まれる可能性があります	関係条件内での能力の保持と相互関係または技術移転を個別に評価する場合の具体的な方法または境界増分は何ですか?

この文献は、公正な比較を必要とする確立された説明を提供するものであり、この研究がそれらを超えるものであることを証明するものではありません。フォローアップでは、特定の命題と設計インターフェイスに焦点を当て、重複と相違点を 1 つずつ説明し、反例を確認する必要があります。既存の説明でカバーできる部分はその分減っていきます。

> **独創性は何を追加するかによって決まり、証拠はそれがどれだけ裏付けられるかによって決まります。**

2種類のステータスを別々に記録

判断軸	記録内容	このバージョンのステータス
オリジナリティチェック	著者の資料と情報源、比較対象、明確な増分、特別な文献の比較範囲と結論	著者の蓄積は整理され、比較対象の最初のグループにランク付けされました。関連分野をカバーするシステムの新規性の確認はまだ完了していません。
証拠の裏付け	概念実証、設計仕様、実装、実用化、比較証拠、反例、適用範囲	各アイテムは主にモデル、デザイン、および一部のプロセス素材に基づいています。関連する因果関係と完全な経験的寄与をテストする必要があります。

原稿が書かれて公開されるか、システムが起動されて実装されると、それ自体は新規性を証明しません。文書の配置が完了しても、有効性テストが完了するわけではありません。コンセプトとデザインは、明確に実証され比較された後に、対応する貢献を形成することができますが、実証の完了がすべての種類の貢献の唯一の条件ではありません。

オリジナル貢献記録カード

フィールド	内容を明確にする
貢献の請求	提案された説明、設計、方法、または発見を説明する一文
寄付型	理論的メカニズム、制度設計、方法論的測定、経験的証拠または境界
ベースライン	比較範囲を示す特定の文献、既存の説明、または実際の設計
特定の増分	どのような関係、ルール、区別、指標、または適用可能な境界が変更されますか?
適用条件	オブジェクト、分析レベル、必要な条件、および考えられる障害シナリオ
テストと反例	どのような議論と証拠が必要であり、どのような結果が主張を制限または否定するのでしょうか?
著者は証拠を蓄積する	原稿、図、ツール、バージョン、制作記録、引用および共同寄稿
2種類のステータス	独自性の検証と証拠のサポートを別々に記録し、ある軸を別の軸に置き換えないでください。

研究紹介に使える寄稿文

この研究は、技術変化における企業の適応と差別化に焦点を当てており、ビジネスモデル、組織方法、資本配置が能力の形成と更新、価値の創造と獲得にどのように関連しているか、また長期的な経営成績と発展経路の違いを調査しています。この一般的な問題の下で、著者は引き続き 2 つの主要な貢献案を提案しています。それは、長期的な資本関係の形成と、持続的かつ長期的な資本勘定システムの設計です。具体的な理論的説明と研究経路として、ステークホルダーと長期資本の関係は主にEとDを結びつけ、その組織、能力、経営上の影響を比較します。組織と実行メカニズム、資本運用のフィードバック、運用改善と能力維持の二重の受け入れ、長期的証拠は引き続き 4 つのサポートの候補であり、また、大綱の各方向における質問に直接答えることができます。株式の取得、受け入れおよび継続保有、パフォーマンス、撤退および事業提携は個別に観察されます。システムの範囲内での事業、資産運用、投資からの全体的な収益は個別に会計処理され、具体的な条件はまだ決定されていません。能力の維持、維持、人を超えた再発、技術移転、人間関係への依存も個別に評価されます。

この序論では、提案された研究貢献について説明します。特定の主張は、文献比較、理論的議論、設計評価、実践的な証拠によって引き続き更新されます。

長期資本関係と営業資産の概念的な境界線

このセクションでは、ステークホルダーと長期資本の間の関係パスの分析的定義と境界について説明します。主に E と D を結び、B、C、A におけるその結果を比較するためにも使用されます。これらのパスの定義は、すべての研究方向に共通の前提ではありません。このセクションは既存のセクションを引き継ぎます4つの資本概念、特定の契約、会計確認、法的権利または担保権の決定に代わるものではありません。

オブジェクトの定義と識別

コンセプト	この研究の意味	直接何も起動しない
分散している資源	知識、専門的能力、社会的関係、さまざまな人々や組織に分配された資金が、実際の希望、任務、効果的な取り決めに従って作戦に参加します。	含まれている、連絡が確立されている、または参加する意欲があるということは、投資が承認された、参加可能になった、または投資が完了したことを意味するものではありません。人々と組織は独立したアイデンティティを維持します。
企業能力の持続的な展開	明確な条件下で組織化および使用を継続し、対応するメンテナンス投資を負担する企業の能力。継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性が個別に評価されます。	各機能は、特定のツールや関係なしに確立する必要はありません。安定した人間と機械の相補性と関係固有の機能が存在する可能性があり、依存関係と制限が明確でなければなりません。
営業資産	識別可能な管理または使用境界を持ち、特定の経済的価値を形成し、業務に使用されるリソースと権利。研究では、その形成、実際の使用、メンテナンスが追跡されています。	職業上の評判、人物リスト、社会的つながりは、記録されたからといって企業に属するものではありません。営業分析における資産計算書は、自動的に会計資産や発行可能な有価証券を形成するものではありません。
長期的な資本関係	この研究は、その後の共創投資をサポートし、それに応じて異時点間の収益、責任、リスク、協力の選択の間の関係を整理するための効果的な取り決めに基づいて、企業の長期的な価値と資本戦略に関連する株式を参加者が自主的に受け入れ、継続的に保有することについて言及している。この株式の取り決めは、元の役割に重ね合わせることができます。	期間、固定報酬、1 回限りの拠出実績、アカウントの存在、または技術的実現だけでは、個別に認識するのに十分ではありません。賃金や支払いの後払い決済は、異時点間の徴収のため、そのような資本にはなりません。通常の取引関係と資本資本関係は分けて観察する必要があります。

正の境界と負の境界の例

以下は、何をチェックする必要があるかを説明するための概念分析の仮説的な例です。これは、既存の共同建設制度や特定の権利利益が発効することを意味するものではありません。

状況	概念的な判断と守るべき境界線
従業員は長期間賃金を受け取り、サプライヤーは商品を供給し続け、メンバーは予定通りに料金を支払い、サービスを利用します。会社の長期的な価値と資本戦略に関連する権利と利益を受け入れ、保持するための他の根拠はありません。	これらは、継続的な労働、取引、メンバーシップ、サービス関係などです。これらは、本調査で資本関係と呼ばれる「長期」としてのみ特定することはできず、また、それらすべてを 1 回限りの取引と呼ぶこともできません。
同じ従業員、顧客、またはサプライヤーが、合意された責任またはリスクを引き受けながら、効果的な取り決めに従って会社の長期的な価値と資本戦略に関連する利益を独自に受け入れ、保持し続けます。	これは長期的な資本関係の分析に含めることができる前向きな状況です。権利の内容、根拠、実際の保有および履行については個別に引き続き確認します。その結果、元の賃金、消費、または供給の取り決めは自動的に変換されません。
参加者はビジネス協力を停止しましたが、上記の利益は有効な取り決めの下で依然として保持されています。	ビジネス関係の終了は、資本関係の終了と直接的には同じではありません。保有、適用される権利と責任、および履行は個別に記録され、サービスの提供を継続するかどうかは判断に代わるものではありません。

状況	概念的な判断と守るべき境界線
その後の規則が許可し、上記の株式譲渡が実際に完了した場合、参加者は元の事業を継続します。または株式の一部を譲渡するだけで、まだ実行すべき事項が残っています。	事業の継続は、元の保有関係の継続を直接意味するものではありません。譲渡された部分とまだ保持されている部分、元のビジネス上の義務と保留中の履行を区別します。いつでも無償譲渡、買い戻し、またはすべての責任の同時終了が推定されることはありません。
企業は、継続的デリバリのために安定した人間と機械のコラボレーションや特定のパートナーシップに依存しており、ツールを変更したり、その関係を断ったりするとパフォーマンスが低下します。	交換後の低下だけで元の状態での能力を否定することはできません。同時に、維持コスト、人を超えた再発、移行、および関係依存性を評価して、適用可能な境界を明確にする必要があります。能力の保持は、参加者の権利と責任が履行されたことを直接証明するものではありません。

> **事業を停止した場合、権利利益が保持され責任が清算されるかどうかは契約によります。**

営業利益、権利、出口を個別にチェック

正式な運用後、提案されたシステムは、システムの範囲内の商業、資産運用、投資、その他の収入を含む全体的な営業収入と関連する権利と責任を重視し、源泉と対応する権利と責任に応じて個別に会計処理され、新たな収入の共有のみに限定されることはありません。営業利益は、コスト、利益、実際の分配、企業の保有および再投資から区別されなければなりません。事業全体をカバーするということは、すべての収益を分割することを意味するものではなく、それに応じて割合が決定されるものでもありません。具体的な割合、既存の資本、過去のビジネス関係、および有効な境界は、今後のシステムによって決定される予定です。

権利の内容、引受事業者、登録技術、および終了条件は分離されています。配当には収入とその実施、株式、株式およびSTO関連の取り決めが含まれており、特定の基礎となる権利と適用される根拠を確認する必要があります。記録や技術的な表現によって、それらが自動的に交換可能になるわけではありません。参加者は受け入れて保留を継続するかどうかを選択できます。実際の譲渡、一部譲渡、買戻し、保留中のパフォーマンスは、効果的な取り決めに従って個別に観察されます。いつでも事前に決められた自動変換、無条件の譲渡または買い戻しはありません。ここでは、発行、取引、流通、またはガバナンスの閾値スキームは確立されていません。

比較の次元と作用メカニズムを統一する

寸法を比較する	コンテンツを一緒に録画する
分析のレベル	タスク、人、チームまたはプロセス、プロジェクト、企業、組織間の関係。インシデントが属する担当者、プロセス、プロジェクト、主題を示し、比較単位と結論レベルを明確にします。
テクノロジーへの露出	AI のモデル機能、バージョン、使用強度、タスク範囲、データ アクセス、システム統合、手動レビュー。ブロックチェーンのチェーンのタイプ、参加者、権限、検証、ルールのバージョン、オンチェーンおよびオフチェーンのインターフェイス、および実際の適用範囲。

寸法を比較する	コンテンツを一緒に録画する
組織と資本の状況	管理とスキル、プロセスの成熟度、現金と流動性、資金源と投資期間。
市場、権利、時間環境	需要、競争、交渉、知的財産、システム。導入、学習、安定運用、更新、終了の各段階。

優先検査の仕組み

学習、調整、制御、情報検証、監督とパフォーマンス、交渉とインセンティブ、リスク共有などのメカニズムのテストを優先します。各トピックでは、まず 1 つまたは 2 つのメカニズムに焦点を当て、中間プロセスを観察する方法を説明します。

理論と別の説明

組織の学習、リソースと能力、取引コスト、関係契約、企業財務、ステークホルダー理論を使用して、さまざまなメカニズムを説明します。選択の違い、経営の質、市場の変化、以前の能力、同時期のインプットなどの代替説明も検討されます。

同業他社の違いを研究するときは、まずどの企業やビジネスが同じタイプの顧客を獲得するために戦っているのか、顧客にはどのような選択肢があるのか、どの入札や契約更新で実際に選択肢を変更できるのかを説明します。企業自身のやり取りの記録は、業務がどのように変化したかを示すことができます。同様の顧客からの比較可能な見積もり、代替サプライヤーからの納品条件、または同業他社によるフォローアップ後の取引結果は、ギャップが継続するかどうかを判断するのに役立ちます。比較する場合は、サービスの範囲、品質、要件、契約期間を確認してください。

時間と境界線

採用前、慣らし運転、安定化期間を記録し、必要な更新、状態の変化、終了イベントを追跡します。能力、顧客関係、資金調達の取り決めは、時期によって変更される可能性があります。能力の 5 次元評価を参照B3。

ネストされた観察と結論の階層

コンテンツ、タスクの実行、配信または改訂イベントはすべて、同じ人、チームまたはプロセス、プロジェクト、企業内にネストされる場合があります。組織を越えた協力が関係する場合は、双方の主題と関係を別々に記録します。研究カードには、同じ関係における変更のレビューを容易にするために、観察単位、比較単位、および推論のレベルを同時に明確に記載し、出典、時間、バージョン、および帰属を保持する必要があります。

同じ組織内の複数のタスク、複数のバージョン、または複数の月は、繰り返しまたはネストされた観察であり、複数の独立した企業として直接扱うことはできません。単一タスクの品質を向上させるには、まずタスクレベルの結論を作成する必要があります。プロセスまたは企業の能力を判断するには、対応する範囲内での継続的な運用、メンテナンス、および組織的呼び出しの証拠も必要です。操作的または因果関係を主張するには、適切な比較も必要です。著者、人間のチーム、AI ツールの役割は個別に記録されます。 AI の複数グループによるコラボレーションは作業上の取り決めであり、複数の独立した人間の研究サンプルと同等ではありません。

> 「同様の技術の使用」は、観察可能な暴露状況に基づいて判断されます。同じテクノロジー ブランド、アカウント開設、システム起動だけでは、実際の使用状況が類似していることを独立して示すには十分ではありません。

新しいメカニズムの比較要件

- 組織の変化は、分業、権限の委任、リソース、引き継ぎ、レビュー、フィードバックの変化を明確に文書化し、それらの効果をテクノロジー自体の効果と比較します。
- 資本運用では、参入経路の選択、初期運用条件、ツールと条件、実際のリソースの変更とその後の戦略も記録します。同じ期間の選択の違いと市場の変化を確認します。
- 長期資本勘定は、確認、レビュー、認可、履行および紛争の取り決めを比較し、参加の選択と元の関係を記録し、勘定の存在を協力効果として直接解釈することを避けます。

観察はビジネス イベント、ステータスの変化、および必要なフォローアップ プロセスによって定義され、固定の実施期間は事前に設定されていません。

2 種類の制度的テクノロジーの比較

ルール、インセンティブ、参加条件を可能な限り同等にし、ブロックチェーンと集中型または他の共有記録の実装との違いを比較します。技術的条件を可能な限り比較し、確認、許可、権利、履行および紛争規則の違いを比較します。テクノロジーと制度の間に相互作用がある可能性もありますが、実際の設計に基づいてテストし、まだ分離できない要素を説明する必要があります。

また、検証と調整のコスト、エラーと修正、紛争、履行、フォローアップの投資とメンテナンスの負担にも注目してください。これらの判断は実際のプロセスと比較に基づいて行う必要があり、連鎖、自動実行、システム起動に基づいて直接推測することはできません。

研究カード、指標、証拠

学習カードのフィールド	内容を明確にする
01 オブジェクト	誰と何が機能するか、タスク、プロセス、プロジェクト、またはパートナーシップを調査します。人々と、彼らが組み込まれている組織を特定します。
02 説明すべき現象	どのような違いや変更が説明を必要とし、既存の説明に何が欠けているのか。
03 アレンジメントを比較する	誰と、どのイベントで、どのような条件で比較しているのかを明確に書きます。競争力のギャップを調査するときは、顧客が選択できる実際のサプライヤーまたはソリューション、および再見積、更新、または同僚のフォローアップのタイミングをリストします。押す統一口径観察単位、比較単位、結論レベルを示します。
04 作用機序	手配から結果につながる中間プロセスはどれですか。

学習カードのフィールド	内容を明確にする
05 結果インジケーター	品質、総コスト、顧客、能力、現金または協力行動。機能は、継続的な運用、メンテナンス、人を超えた再発、移行、関係依存に基づいて適用可能な指標を設定します。
06 時間範囲	必要な観測範囲は、導入、学習、安定化、更新、終了イベントに応じて定義され、一定の期間は事前に設定されません。
07 証拠と身元確認	データ ソース、割り当てまたは選択の方法、別の解釈、および制限。
08 拒否条件	どの結果が意図した説明を弱めたり、制限したり、否定したりするのか。

共通指標の階層化

タスク: 品質、時間、エラー、やり直し、レビュー。 **プロセスと機能:** 待機、ハンドオーバー、下流での使用。継続的な運用と保守の負担、人を超えた再発、適用可能なテクノロジーの移行、および関係の依存関係。各ディメンションには、適用可能な条件、サポート レベル、未解決の問題がそれぞれ保持されます。 **運営と資本:** 顧客の支払い、利益、現金、投資、資本コスト、リスク。 **ガバナンスと協力:** 審査、権利履行、追加投資、契約更新、紛争、撤回。

> 完了、受諾、実際の使用、運用上の変更、因果関係を区別します。各記録には、ソース、時刻、バージョン、確認責任、および未解決の問題が保持されます。インジケーターの口径は比較前に決定されます。

科目の学術的位置づけ分野

研究カードには、主な方向と主なライン、主な AOM フィールド、条件付き交差、隣接する分野、および位置付けの理由も示す必要があります。理論、スキーム、方法、ツールは個別にリストされており、研究課題、実装方法、結果の証拠も個別に説明されています。

オリジナルの投稿に関する注意事項

各研究カードには、明確な貢献主張も関連付けられており、比較文献、特定の増分、該当する条件と反例が記録され、独自性の検証と証拠のサポート状況が個別に記録されます。特定の口径については、を参照してください。オリジナル貢献記録カード。

評価プロセスと調査検査の関係

図R20ユーザー価値と参加貢献度をそれぞれ確認します。図R17現在の運用改善と異時点間能力保持を個別に確認します。 2 組の判決は異なる質問に答えており、同じプロジェクトと結果に関連している可能性がありますが、それぞれが対応する証拠に基づいて結論を導き出しています。プロセスの受け入れと学術メカニズムの検査も引き続き分離されています。

3 つの主なトピックの証拠の収集はどこから始めればよいでしょうか?

Company Zero がすでに行っている顧客への配送から始めましょう。予算と資本の調査にはそれぞれ独自の開始条件があります。条件を満たせば同時に記録することができます。図 R29 · 3 つの主なトピックの証拠収集の順序

重点研究	何のイベントから始まりますか？	その後のイベントはどれか	この一連の資料で何が答えられるでしょうか?
1. 技術・組織・能力	再現可能な顧客サービス カテゴリを事前に選択し、最初の納品段階からプロジェクト全体に組み込み、品質基準、契約価格、分業、ベースライン、コストを文書化します。	次回の同様の配信、顧客の購入方向、その後の投資を追跡します。有効期限が切れていないアイテム、キャンセルされた購入、招待されていないアイテム、失敗した入札、完了した取引、不明な目的地などの記録を保持します。	機能が再利用できるかどうかを確認します。まず取引とコストを検証し、証拠が十分であれば、すべての当事者の純利益を推定し、競争力の差を比較します。
2. 資本および設備投資	実際に予算を決定するときは、同じバッチの代替案、利用可能な資金、現在の判断をまとめて保管してください。	どのプロジェクトが承認、遅延、放棄、不承認となったかを記録し、実際の投資と能力の変化を追跡します。	マネージャーがプロジェクトを選択する方法。資金自体の役割を判断するには、プロジェクトの見通しと資金調達条件を区別することも必要です。
3. 寄付、資本および再投資	システム準備時にシナリオの比較調査や判断を行います。規則が発効すると、招待、選択、既得権益の履行が資格のある者から順に記録されます。	次回任意連携が行われた際には、再度誰が何を出資するのかを観察し、権利保持やサービス停止の状況も記録する。	状況は判断力をテストし、実際の機会と行動は行動をテストします。 2 種類の研究は別々に報告されます。

テクノロジーと組織の取り決めが持続可能なビジネスの改善にどのようにつながるか

このセクションでは、全体的な質問のこの部分に答えるために、テクノロジーの選択と組織の調整がどのように形成され、機能が更新され、業績に影響を与えるのか、また、同様のテクノロジーの採用が長期的な結果に異なる結果をもたらす可能性があるのはなぜかを検討します。具体的には、ビジネスニーズとタスクの条件、組織方法、テクノロジーと制度的取り決めの役割、補完性、持続可能性を比較し、業務の改善と能力の維持を観察し、変更、失敗、異なる開発パスが保持されていないことも確認します。長期的な資本関係および関連するガバナンス協定は、特定のトピックにおける比較パスとして使用できます。

このセクションでは主に A、B、C を結びます。連携が関係する場合、E での確認、権限、パフォーマンスについて検討します。Company Zero では、顧客配信と知識コンテンツ構築という 2 種類の実際の作業がすでに行われています。 Flagship Oneは、繰り返し提供できるサービスを優先し、初回納品から対象案件を一括登録し、次回購入時の所在を追跡します。知識コンテンツの構築は、引き継ぎ、再利用、保守のための資料を提供し続けるだけでなく、独自に学習することもできます。

実働入口は2種類

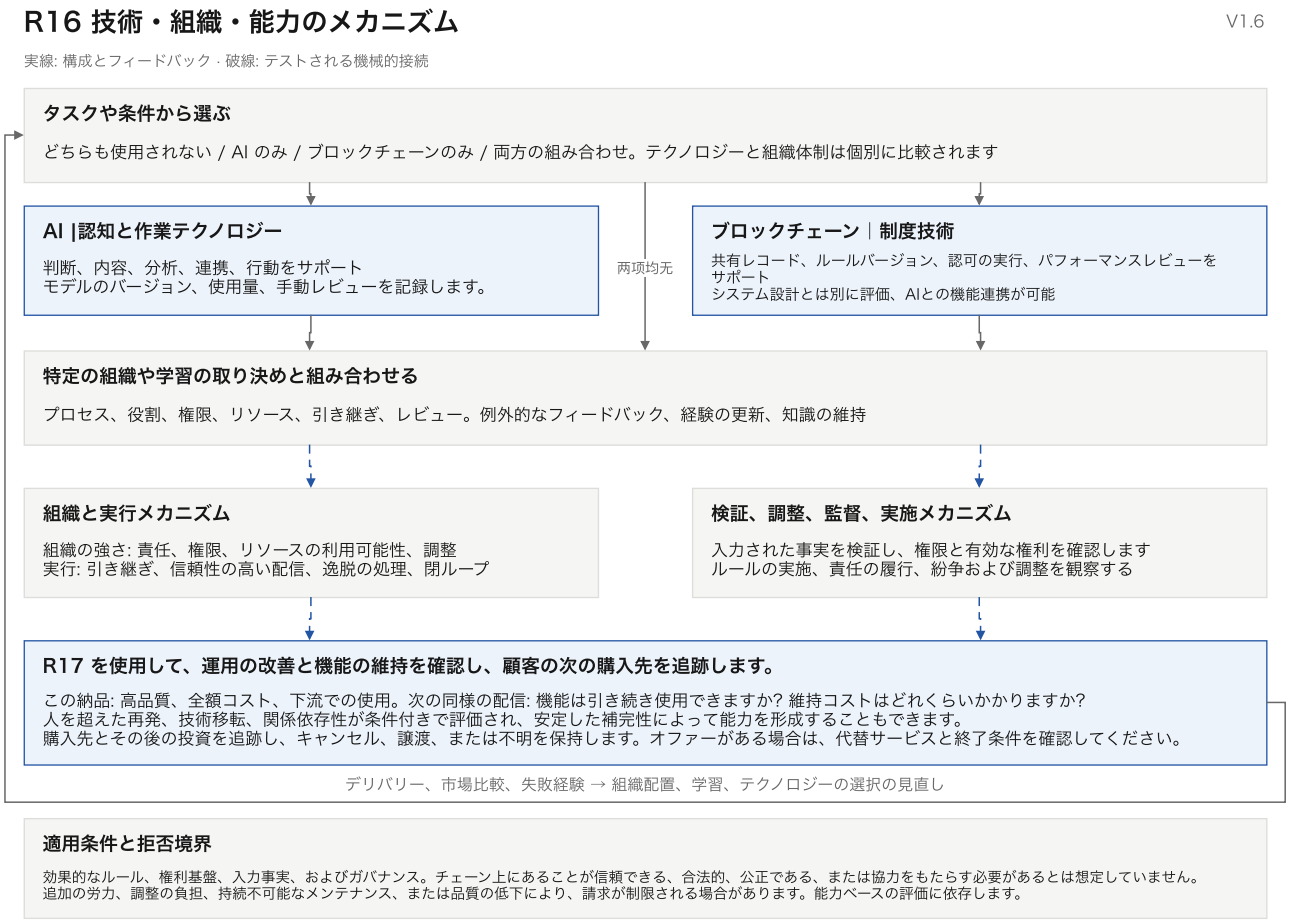
職場入口	定義可能な観測オブジェクト	接続可能な記録と問題
知識コンテンツの構築	コンテンツの一部、改訂、および分類、チェック、引き継ぎ、その後の使用のプロセス。	ソースとバージョン、作成者と人間のチームの作業、AI ツールへの参加、使用状況のフィードバック。結果がクリアな条件下で継続的に使用および維持できるかどうか。
顧客への商業納品	事前に選択したサービスカテゴリーのうち、顧客プロジェクト全体の初回納品およびその後の調達先。	需要、品質、テクノロジーの使用状況、引き継ぎ、コスト、実際の使用状況、および価格。同様の納品が発生した場合、それらは検査されて再利用され、顧客の選択、証拠に基づいた転送オーダー、実際の見積、取引およびその後の投資も記録されます。

まず、定期的なエンタープライズ サービスなど、範囲と品質のしきい値が明確な配信の種類を選択します。最初の段階でタスクの記録、契約、会計情報を保存し、その後、入手可能な実際の証拠に基づいて顧客の居場所を更新します。社内のナレッジワークは、実際の使用とメンテナンスに基づいて評価されます。 2 つの種類の仕事が同等の条件にある場合、それらが相互に裏付けられるかどうかを議論できます。

Flagship One Research Card · 最初の納品から顧客の次の選択を追跡します

いつ思い出すか	何を記録するか
初めて含まれた	繰り返し提供できるサービスの種類、対象範囲、観測を開始するバッチなどを事前に決めてください。登録は対象となる各顧客プロジェクトの最初の納品から始まり、プロジェクトのバッチ全体が保持されます。最初のラウンドでは、タスク、価格設定、品質基準、コスト、および予想される次回購入時期を書き留めます。
次回の購入のために再訪問する	調達時期が到来していない、その後の購入がないことが確認された、または要求が取り消された、顧客が購入したが企業を招待しなかった、企業が入札に参加したが敗北した、企業が取引を締結した、目的地が不明であるなど、検証可能な事実に従って個別に記録します。他のサプライヤーへの譲渡が確認された場合は、譲渡の根拠と、その時点でその企業が招待されたかどうかを示してください。
証拠と結果を確認する	各ステータス更新の日付と根拠を示します。これは、顧客の確認、招待状、見積書、購入決定、または契約によって確認できます。見積書が見つからない場合、または連絡できない場合は、元の項目を保管し、関連するフィールドに「不明」とマークを付けてその理由を述べてください。確認された転送注文は競争結果に含まれますが、宛先が不明なその他のプロジェクトは受注喪失または収入ゼロとして扱われません。

図 R16 · 技術-組織-能力のメカニズム



著者の研究枠組みを示す。メカニズムの接続をテストする必要があります

AI、ブロックチェーン、およびそれらの組み合わせをタスクごとに選択し、組織および学習の取り決めが機能にどのような影響を与えるかを比較します。顧客のプロジェクトは、次の購入先を追跡します。見積もりが入手可能になったら、顧客の代替案と成約条件を比較します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

2 種類のテクノロジー、同じビジネスと機能の問題

技術とアレンジメント	特定の作業への影響	解釈が必要な結果
AI と人間と機械のコラボレーション	変更の分析、判断、生成、実行、学習、タスクの再割り当て、手動レビュー	品質、全額コスト、下流での使用、独立した判断と機能の保持
制度的テクノロジーとしてのブロックチェーン	共有検証の変更、権限、ルールのバージョン、承認の実行とフルフィルメントの確認を確認します。	コストの調整と監督、権利と責任の明確化、紛争、履行および継続的な協力
組織とシステムのマッチング	職務責任、プロセス、リソース、引き継ぎ、確認、異議、知識の維持を明確にする	テクノロジーによってもたらされた変化は確実に実現され、持続可能な運用能力と協力能力となることができるでしょうか?

テクノロジーはどれも、個別に使用することも、組み合わせて使用することもできます。特定の問題にどの機能が必要かを説明し、すべてのタスクに AI とブロックチェーンの両方を使用する必要がなく、適切な比較を確

立します。

出発点と実用的な組み合わせがすでにある

4方向SOP、エンタープライズAI管理能力再構築システム、SOPからスキル、アクション、能力の蓄積。ブロックチェーンシステムテクノロジー、長期資本勘定、貢献のレビューとルール履行の設計。知識組織、デジタルビジネス プラットフォーム、ブランド サービス、テクノロジーの実装と運用保守。ペーパー III は、標準やリソースの取り決めを変更するためのフィードバックを受け入れるメカニズムを提供します。

AI と仕事用組織

	既存の勤務体制	プロセスと知識の維持手配を増やす
AIを使用していない	① 既存プロセスベースライン	② プロセスと組織体制
AIを導入する	③既存プロセスへのAI統合	④AIと組織体制の組み合わせ

まず、どの職務責任、引き継ぎ、受け入れ、または知識維持の取り決めが変更されたかを指定します。条件が許せば、4 セットの比較を使用して、AI、組織調整、およびそれらの組み合わせの効果を特定します。複数のチームが同じナレッジ ベースを共有している場合は、新しい実践が他のグループに広まったときを記録し、比較のために比較的独立したワークフローに優先順位を付けます。

ブロックチェーンと制度的取り決めの比較

複数の当事者間の確認、共有ルール、承認、またはパフォーマンスの遅延を伴うビジネス関係を選択します。ルールとインセンティブが同等である場合は、ブロックチェーンを他の記録および実行方法と比較してください。技術的条件が同等である場合は、異なる確認、権限、レビュー、紛争および履行規則を比較します。 AIが参加するかどうかは別途記録されます。組み合わせの効果を研究する必要がある場合は、対応する比較が設計されます。

貢献と実績の事実がどのように意思決定に反映されるか、ルールを確認して変更する権利は誰にあるのか、間違いや異議はどのように修正されるのか、リソースと資金は実績を達成するのに十分であるか、実際の参加者は協力や投資を変更するのか、あるいは撤退を選択するのかに焦点を当ててください。

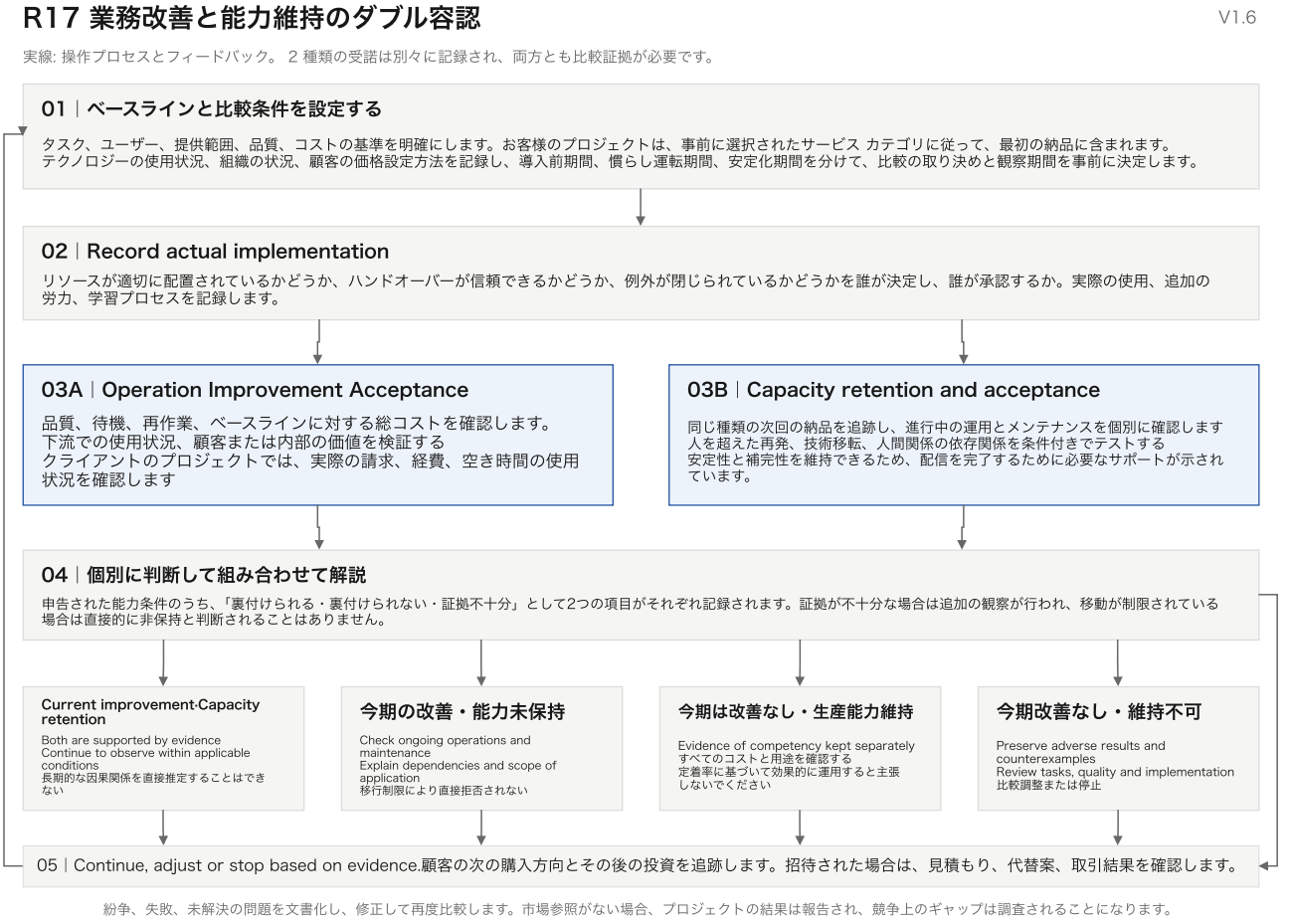
観察と識別

まず、納品範囲、品質のしきい値、およびコストの範囲について合意し、次に待機、やり直し、検証、紛争、償還、および同様のタスクの実際の下流での使用を比較します。モデルのバージョン、使用強度、担当者の経験、追加の労力、および同時の変更を文書化します。実際の状況に応じて、ランダム割り当て、段階的パイロット、または比較グループを選択します。入れ子になった表示絞りこれらの観察がどの結論を裏付けるかを説明してください。

価格の観点から仮説を立てて比較してみます。どちらのサービスも同様の AI を使用しており、範囲と品質は同等であり、どちらも工数を節約します。固定価格のプロジェクトで支払われる外注費が少なければ、モデル、レビュー、メンテナンスなどの新たな費用を差し引いた後、企業はより多くの収益を保持できる可能性があります。プロジェクトは実際の作業時間に基づいて請求されるため、クライアントの請求額は作業時間によって減額される場合があります。会社が何を受注したかを確認するには、欠員がどこへ行ったのか、新規受注があるのか、新規受注にどれくらいの費用がかかるのかを確認する必要もあります。契約の選択自体は、タスクの難易度や顧客の交渉力にも関係する可能性があり、比較する際にはこれらを記録する必要があります。

次回同様の納品が行われたときに、元のアプローチが再利用できるかどうか、引き継ぎ後も同じ品質を達成できるかどうか、実際にどの程度のメンテナンスが必要かどうかを確認します。顧客が代替見積書を受け取った場合、または再入札した場合は、両当事者からの見積書の範囲と条件、最終的に誰が選択されたか、および取引が完了した価格を記録します。競合他社が追随し、顧客がサプライヤーを切り替えることが容易な場合、元の価格差は急速に縮まる可能性があります。企業が同業者が真似するのが難しいパッケージ配送を提供し続けることができれば、顧客も元の価格を受け入れる可能性があります。どちらの状況が真実であるかは、実際の選択によって異なります。最後に、実際の償還とプロジェクトの利益を、人員、予算、または保守投資に関する次の決定と関連付けて、どの変更が決定に影響を与えたかを尋ねます。

図R17・業務改善と能力維持のダブル容認



まず、現在の運用改善と次回の同様の配信での容量維持を個別に検証します。顧客のプロジェクトは、次の購入先とその後の投資を追跡し続け、招待された場合には見積書、代替案、取引結果を確認します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

業務改善と能力維持のダブル容認

現在の承認では、納入品質、実際の使用状況、総コスト、運用結果が検討されます。その後の能力は、継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、テクノロジーの移行、および関係の依存性に基づいて評価されます。まず、その能力がどのような条件に依存するのか、どの次元でテストできるのかを説明し、その範囲内でサポートされているか、サポートされていないか、サポートが不十分であるかを判断します。ツールを変更したり、関係を離脱したりすることを統一的な基準として使用しないでください。今期は改善されているのかもしれないが、継続的に使える能力は形成されていない。また、能力が安定した補完的な条件下で維

持されている可能性もありますが、移行は限られています。能力は形成されているものの、顧客価値がまだ実現されていない可能性もあります。これらの結果の理由は別途説明する必要があります。

拒否権と境界線

改善が原因不明の追加労働、持続不可能なメンテナンス、タスクの選択、または品質の低下のみによってもたらされる場合は、効率と能力の蓄積の解釈をそれに応じて制限してください。プロセスの効果のみが判明した場合、組織の改善については別途報告されます。短期的なツールの効果のみが見つかった場合は、短期的な効果のみが報告されます。安定したツールの補完性や特定の関係への依存性は、それ自体に拒否権が与えられることはなく、持続可能性と移転可能性は個別に判断されます。記録がより完全であるにもかかわらず、権利、責任、履行およびその後の行動に変更がない場合、制度上のテクノロジーの解釈の範囲も制限されるべきです。

顧客が別の会社に直接購入を依頼した場合、その会社が別の価格を提示していなくても、証拠があれば競争の結果が記録されます。宛先が不明な場合は、品物を保管し、不足している情報を書き留めてください。ギャップがどれくらい大きく、どれくらい続くかを判断するには、同等の範囲、品質、価格、コストを確認することも必要です。

> 段階的な出力には、タスクのベースラインと比較計画、プロジェクトの全コストと価格設定の記録、ナレッジとルールのバージョン、次回の同様の納品、顧客の調達先と実際の見積記録、およびその後の投資の理由を説明する意思決定記録が含まれます。

組織能力と実行能力を直接テストする

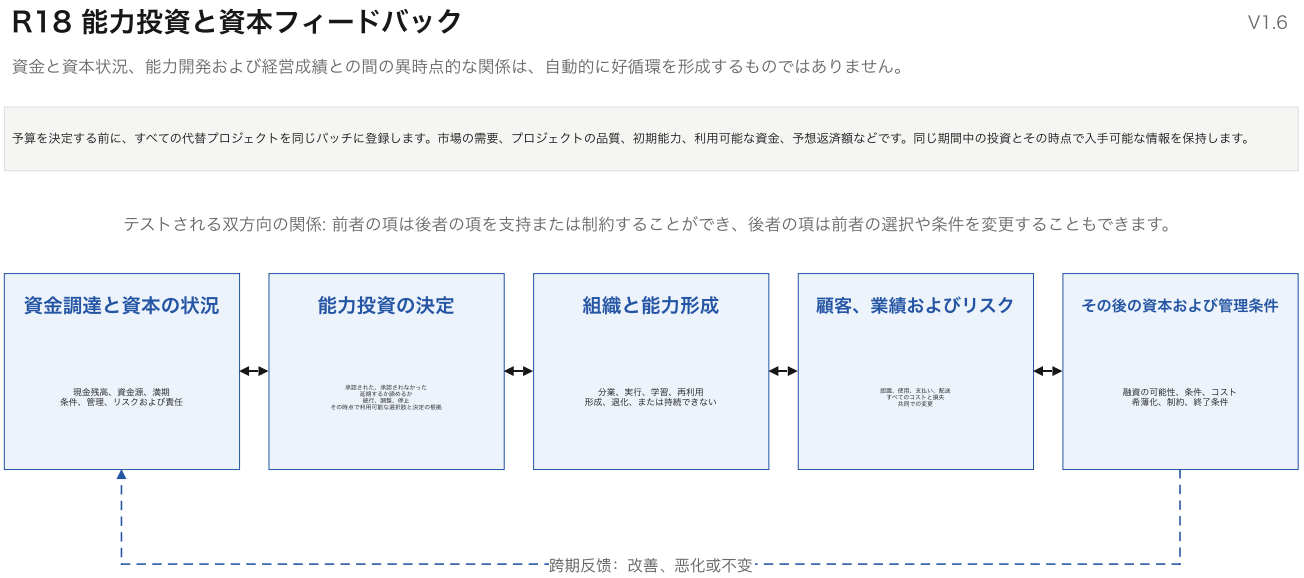
比較する際には、誰が決定を下したか、誰がそれを承認したか、リソースが整っているかどうか、引き継ぎが信頼できるかどうか、確認に十分な根拠があるかどうか、例外と紛争が解決されているかどうかも記録されます。組織および実行の変更をメカニズムとして使用して、下流の実際の使用状況、顧客または社内の価値、メンテナンス、機能の維持を観察します。

学術的な位置付けは主に CTO、ODC、STR です。組織的なルールと科目を超えたコラボレーションがOMTとSIMを結び、人間の判断とチームプロセスが課題に応じてOBとMOCを交差させます。

資金調達条件は能力投資の継続、調整、中止にどのような影響を与えるのでしょうか?

このセクションは主に B、C、D を結び付けて、資本の取り決めが企業の適応、能力の更新、発展の道筋をどのようにサポートまたは制限するかという一般的な質問に答えます。具体的には、資本市場のつながり、金融商品と取引構造、資本配分、管理権、段階フィードバックが能力投資の選択、継続、調整、中止にどのような影響を与えるかを研究します。長期的な資本関係とそのリターンコミットメントは、関連するトピックに対する比較アプローチとして使用でき、他の資金調達や権利と責任の取り決めとは別に研究できます。

図R18・設備投資と資本フィードバック



著者の研究枠組みの概略図。双方向の矢印と時間間のフィードバックはテストされるべき関係です。

同じバッチの代替案からの予算の選択とその後の変更を追跡します。資本、能力、経営成績の双方向の関係を比較し、収益、現金、財務、評価を個別に確認します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 上にリストされているのは、意思決定前に登録する必要がある代替プロジェクトの同じバッチと、それらの市場需要、品質、初期能力、利用可能な資金、予想される返済額、および同時投資です。中央の 5 つのノードは、資金調達と資本の状況、能力投資の決定、組織と能力の形成、顧客の運用結果とリスク、フォローアップの資本と管理の状況です。双方向の接続と異時点間のフィードバックは、テストされる関係を表します。投資の選択肢には、承認、不承認、延長、中止、実施後の継続、調整、中止が含まれます。以下の収入、現金、財務、評価をそれぞれ観察し、約束と受け取り、評価と達成可能な条件を区別してください。承認されたプロジェクトを他の代替案と比較し、中止後の能力、損失、責任、協力を追跡します。資金調達の役割は、資金調達条件の違いがプロジェクトの見通しとは独立した根拠を持ち、同じ期間の変化を調査できる場合にのみ、さらに検証することができます。

出発点と実用的な組み合わせがすでにある

4つの資本と二重循環、資本メカニズムモデル、資本経路の9次元比較、産業運営と資本シナジー。ビジネスおよび経済モデルの設計、資本戦略および上場計画の計画、資金調達コンサルティングおよび投資家向け広報サービス。プロジェクト条件に応じた証券および資産システムへのアクセス。

レコーディングセッション	芯材
代替案を入力するとき	予算を決める前に、このバッチで実際に議論されているすべての項目を登録します。現在のビジネス目標、顧客のニーズ、プロジェクトの品質と基礎、初期能力、利用可能な資金、予算、ソース、期限、条件、予想される返済額を保存します。
実施期間	実際の投資、収入と支出、能力構築の進捗状況、顧客または社内の使用状況のフィードバック、および現金残高。
意思決定ノード	承認、不承認、遅延、自発的に放棄されたプロジェクトをそれぞれ、その理由とともに記録します。すでに実装されているものについては、利用可能なオプションとその時点の情報に基づいて、いつ継続、追加、削減、停止するかを決定するのは誰ですか。
決定後	利用可能な資料に基づいて、追加資金を調達できるかどうか、実際の投資、営業返済、能力維持、損失と撤退、関連する協力関係の変化など、各代替プロジェクトのその後の状況を追跡します。単一列でデータが欠落しています。

比較と作用機序

次の実際の予算の決定から始めましょう。知識コンテンツの構築と顧客への提供の両方に適したプロジェクトが存在する可能性があります。まず、同じバッチの代替プロジェクトをまとめて、決定を下す前に確認された品質、需要、予想される支払い、および協力条件を比較します。次に、資金調達期間、資金制約、管理条件または割賦投資、およびそれらがその後のメンテナンス、引き継ぎ、更新、中止とどのように関連しているかを検討します。マネージャーは、より明確なニーズとより有望なプロジェクトに資金を提供したでしょう。承認されたプロジェクトと承認される可能性があったプロジェクトを追跡することによってのみ、この選択がどのように行われたかを説明することができます。同じプロジェクトに対する複数の意思決定の継承入れ子になった表示絞り。

拒否権と境界線

資金調達条件の違いがプロジェクトの見通しとは独立した取り決めによるものであるという証拠がある場合は、資金調達そのものの役割をさらに検討するために、実施時期と同時期の変化を確認する必要がある。たとえば、予算がバッチで割り当てられる場合、プロジェクト評価の前にバッチ ルールが決定されているかどうかをまず確認し、最初と最後の割り当てが依然としてプロジェクトのメリットによって決定されているかどうかを確認する必要があります。チームが誰を選んだのか、なぜ選んだのかを復元できれば、このラウンドの結論がここに書かれるでしょう。 When the simulation tool has not yet entered into actual capital decisions, it is recorded as a method output.取引活動、評価額、利用可能な企業資本は個別に報告されます。

> 段階的な出力: プロジェクトの意思決定台帳、投資と資金のタイムライン、条件と権利の比較、意思決定イベントの分析、調査レポート。

A direct test of active capital operations

「特定の経路を採用しない」という具体的な条件に応じて、外部資金調達、上場経路、上場後の適用ツール、STOや事業再編などを、アレンジメント候補としてまとめて比較します。企業が実際にどのような資金、資

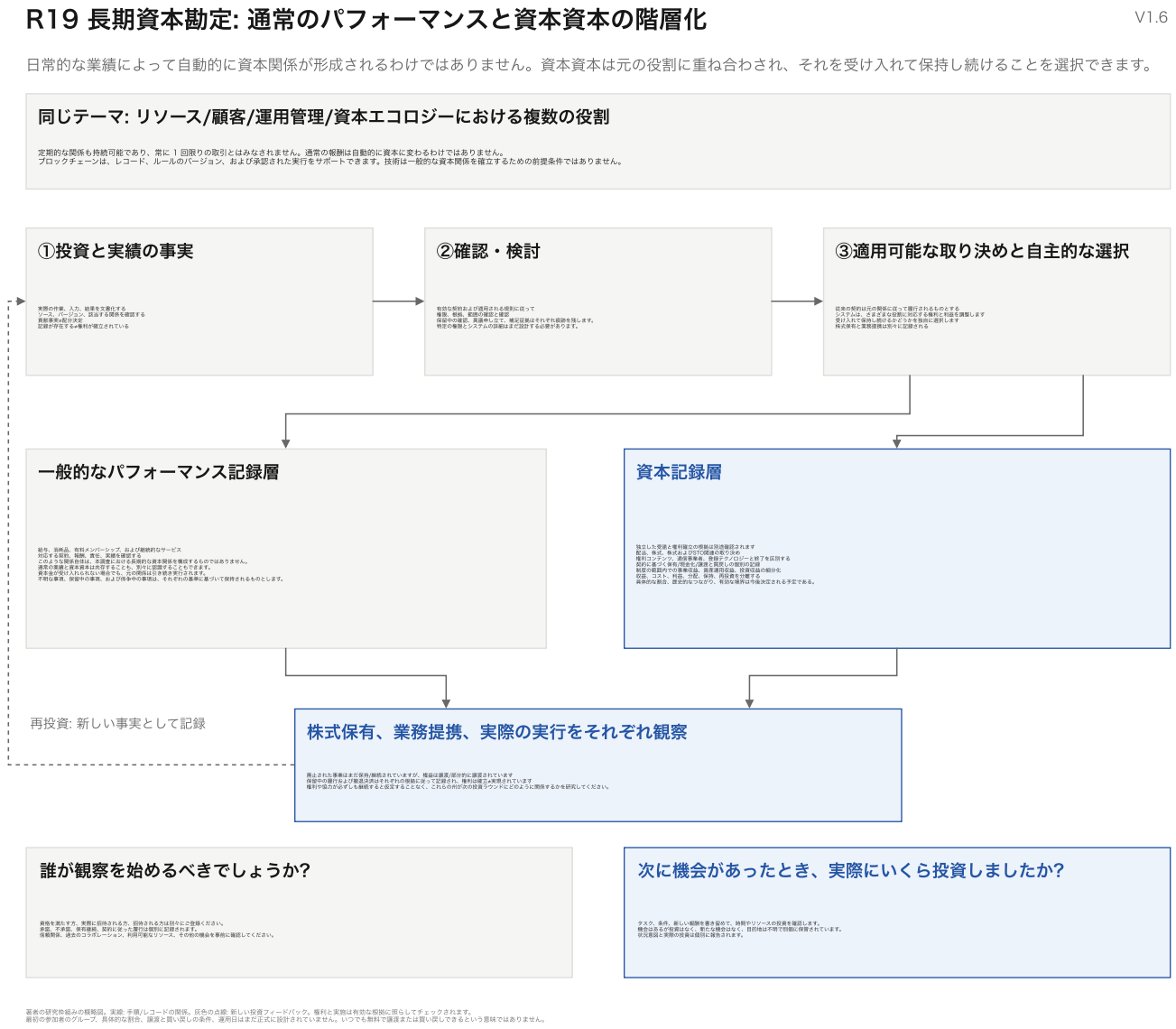
産、または経営権を取得するのか、そしてそれらの変化が設備投資、組織調整、リスク、およびその後の運営にどのような影響を与えるのかを観察します。 Company Zero の長期的な経営戦略は依然として次のことに基づいています。図R244 資本の論理は、高品質の資源の継続的な取得、資産管理、再投資の関係を説明します。

Company Zero は、実際の参入決定とイベントのみを記録します。まだ発生していないパスは計画またはシナリオの検討として保持され、前進するための必須アイテムとしてリストされません。ドッキングSTRの研究。純粋に証券の価格設定、財務構造、または法制度の問題を取り上げ、隣接する分野を結び付けます。

拠出、管理、給付の取り決めが次の投資ラウンドにどのように影響するか

このセクションは主に B、C、E を結び付けており、資本引受の問題は D に関連しています。このセクションでは、貢献、管理、収入、リスクの取り決めが企業の能力蓄積、価値の獲得、継続的な協力にどのような影響を与えるかを検討し、全体的な質問のこの部分に答えます。 Stakeholder capital, long-term capital relations and account design are one of the theoretical, governance and practical paths.具体的には、企業の長期価値、貢献の認識、収入とリスクの取り決め、実績、そしてその後の投資と協力行動をどのように結び付けるかに関連する株式を、参加者がどのように受け入れ、保有し続けるかを自主的に選択するかによって決まります。従来の性能と他の適用可能な比較のための配置を維持しながら。株式の保有、業務提携、実行状況は引き続き個別に観察されます。

Figure R19 · Long-term capital account: regular performance versus capital equity stratification



勘定科目は、定期的な業績と資本資本の基礎を保持するために階層化されています。この調査は、資格のある人と実際に招待された人の登録から始まり、それぞれ独立した受け入れ、保持、引き換えを追跡します。次に協力が行われるとき、誰がその機会を得るのか、そして誰が実際に時間やリソースを投資するのかが分かるでしょう。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー · 同等の完全なテキスト

定期的なパフォーマンスと資本資本の段階的記録

長期資本勘定では、進行中の事業、貢献の認識、および資本資本が同じステータスに混同されるのを避けるために、2 つのレベルの記録が関連付けられます。

レコード階層	対応内容	関係性と境界線の確認
日常のパフォーマンス	賃金、消耗品、有料メンバーシップ、継続的なサービスとその報酬、責任、受け入れ、および実際のパフォーマンス。	この関係は継続する可能性がありますが、この研究で言うところの長期資本関係を構成するものではなく、必ずしも 1 回限りの取引ではありません。通常の報酬は自動的に資本になるわけではありません。
資本金	このシステムは、さまざまな役割に対応する権利と利益を調整し、配当、株式、株式、STO 関連の取り決めと関連付けることができます。	参加者は、元の役割に重ねてそれを受け入れ、保持し続けるかどうかを独自に選択します。権利の内容、キャリア、登録技術、保有および償還は個別にチェックされ、アカウント記録や寄付の確認によって自動的に確立されるものではありません。

株式保有、事業提携、実行に関する個別の観察

業務提携を停止したが権益を保持し続けた場合、業務を継続したが権益を譲渡した場合、部分譲渡と保留中の業績はすべて個別に記録され、必ずしも同期しているとは想定されていません。譲渡、買戻し、および引き出しの決済は、その後の正式なシステムおよび対応する有効な根拠に従って処理され、いつでも無償譲渡、無条件買戻しまたは買戻しを約束するものではありません。適用される義務および保留中の履行は、事業の停止または持分保有状況の変更の結果のみによって自動的に完了したとはみなされません。

正式運用後の制度は、新たな収入の取り決めだけでなく、事業、資産管理、投資、その他の収入を個別に会計処理し、制度の範囲内での全体的な営業利益と関連する権利と責任を重視する。収益、費用、利益、分配、保有、再投資は個別にチェックされ、すべての収益が分配されたとはみなされません。具体的な割合、既存の資本、過去の取引関係、有効境界、最初の参加者のグループ、および運営日はすべて、その後の正式な設計の対象となります。このセクションは、実際の資産が作業記録に基づいて有効化されたことを前提としていません。

> **貢献が確認され、資本が確立され、収益が現金化されますが、これらはさまざまな時点で発生する可能性があります。**

出発点と実用的な組み合わせがすでにある

4つのエコロジカル・ガバナンス・モデル、長期資本関係と株式償還メカニズム、論文I、II、IV、およびブロックチェーン・システム技術。企業ウォレット、提携ブランドのカード、ガバナンス設計、貢献のレビュー、コミュニティ業界のエコロジー活動などです。

研究会	区別する必要がある事実
資格、招待、選考	ルールの発効後、適用される条件に従って誰が適格であるか、誰が実際に招待されるか、どのような条件が受け取られるか、自発的に受け入れるかどうかを記録します。
貢献と証拠	実際の入力、結果、証拠源、独立したレビューおよび異議。

研究会	区別する必要がある事実
権利と管理	誰が権利を確認し、割り当てを決定し、ルールをレビューまたは変更できるか。独立した受諾、権利の確立、および継続的な保有の根拠をそれぞれ記録します。
キャッシュアウトとリスク	収益源、合意された条件、実際のパフォーマンス、待機および損失負担。
次の機会と行動	参加できるタスクが実際に存在するかどうか、条件は何か、それが受け入れられるかどうか、実際にどれだけの専用時間やリソースが追加されるか。知識の共有、契約更新、紛争、離脱にも注意してください。

比較して接続する

制度の準備中に、同じコラボレーション シナリオを使用して 2 つのイベントを比較できます。まず、前事業終了後、会社は既存の権利と利益を履行するための信頼できる基盤を持っていますか?第二に、次の専用投資による追加収益は明らかですか?タスクのコストや元の役割の報酬などの他の条件を同等にし、コミットメントの判断とどれくらいの時間やリソースを費やしてもよいかについて参加者にそれぞれ尋ねます。シナリオ内の選択肢は、まず願望として記録されます。

有効なルール、権利、利益が満たされ、実際に新たな協力の機会が生じた場合、同じ関係への次の投資が検討されます。まず、招待されていない人も含め、資格のある人を記録します。次に、同様の機会を与えられ、同様の状況に直面している人々を比較し、自発的に受け入れるか受け入れないか、その後の調整の選択肢を残します。参加者の元々の信頼、リソースバランス、過去の協力経験、外部機会はすべて、権利と利益を受け入れるかどうか、そして再び投資するかどうかに同時に影響します。これらの違いは、以前の記録と照合して確認する必要があります。それでも区別できない場合は、グループ間の行動の違いのみが報告されます。

チャンスはあったのに投資しなかった人もいれば、新たな任務を受けられなかった人もいた。前者は選択を記録しますが、後者は機会が与えられなかったとして個別にリストされます。目的地や理由が不明な場合は、不明のままにしておきます。最後に、保有状況、契約履行、実際の業務提携、新規投資を同じタイムラインで確認します。

拒否権と境界線

記録がより完全になったが、配布やその後の動作に変更がない場合は、権限、引き換え、およびインセンティブのリンクを個別に確認してください。透明性が高まると、管理が集中したり参加が減少したりした場合でも、こうした有害な結果が維持されます。意欲の変化と実際の投資の変化は別々に報告されます。

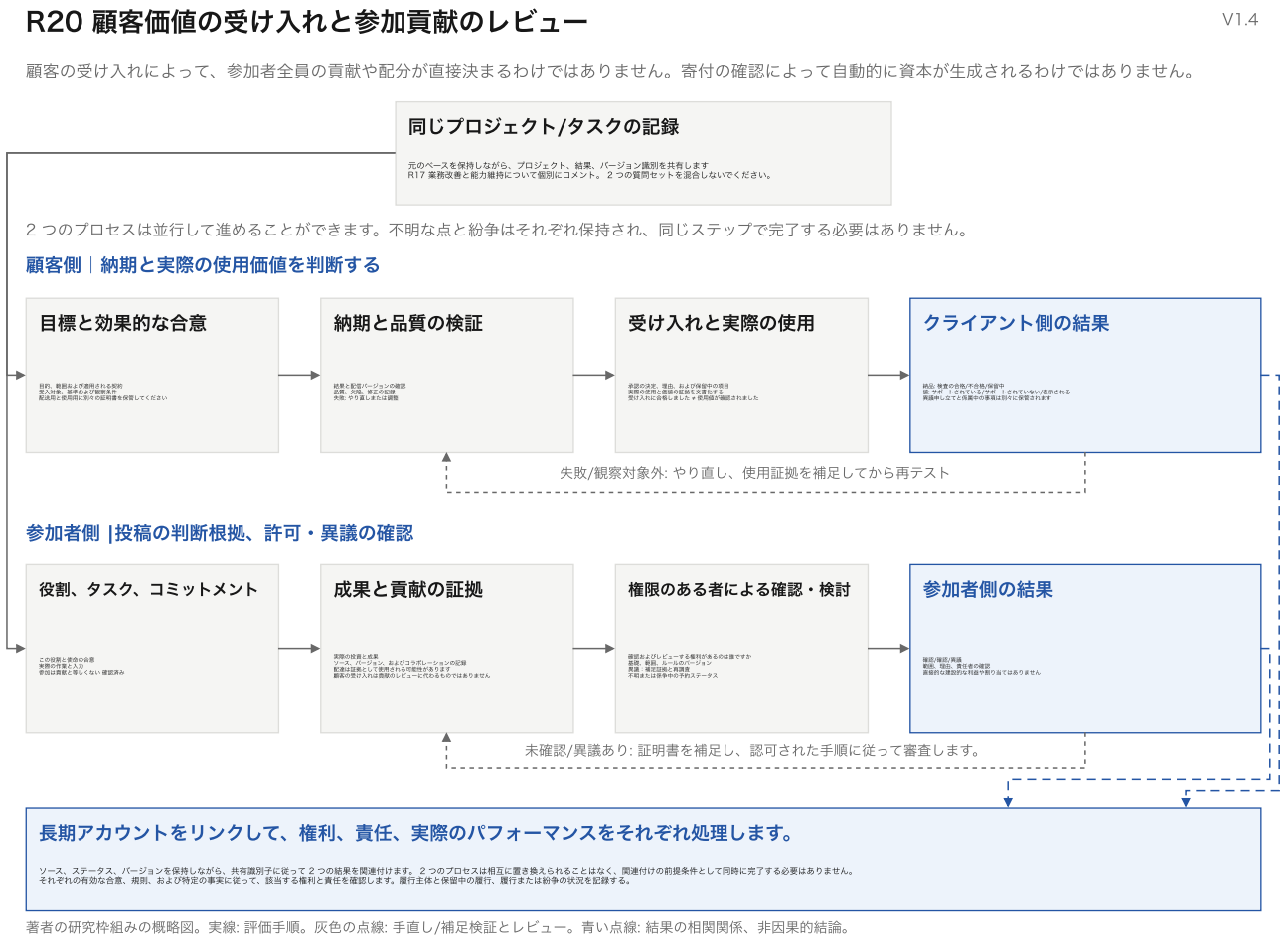
> フェーズの出力: 貢献と権利の記録、レビューと紛争イベント、収益の履行と再投資のタイムライン、実験または事例資料、研究レポート。

顧客価値の受け入れと参加貢献のレビュー

同じプロジェクトまたはタスクは、同じプロジェクト、実績、およびバージョン識別を保持しますが、2 つの評価プロセスを個別に処理します。顧客価値の受け入れは、納品が目標と有効な契約を満たしているかどうか、そして実際の使用によって価値が生み出されるかどうかに答えます。貢献レビューへの参加は、誰がどのような作業を行ったのか、実際にどのようなインプットと結果があるのか、そして誰がどのようなルールに従

って確認する権利を持っているのかを答えます。 2 つのプロセスは並行して実行でき、顧客の受け入れ記録は該当する証拠の 1 つとして使用できますが、参加者全員の貢献や配分を直接決定することはできません。

図 R20 · 顧客価値の受け入れと参加貢献のレビュー



著者の研究枠組みの概略図。実線: 評価手順。灰色の点線: 手直し/補足検証とレビュー。青い点線: 結果の相関関係、非因果的結論。

同じプロジェクトは識別情報と証拠を共有します。顧客側は納入受領書と実際の使用価値をそれぞれ記録します。参加者側は入力、結果、証拠、認可された手順に基づいて貢献を確認します。 2 つの結果はそれぞれ長期的なアカウントに関連付けられており、不明点や論争は保留されています。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 同じプロジェクトまたはタスクは、プロジェクト、実績、およびバージョンの識別子を共有し、元の基盤を保持します。クライアントはまず、目標、範囲、有効な契約、受入対象、基準および観察条件を明確にし、次に納入バージョン、品質、欠陥および修正記録を確認し、受入決定と実際の使用価値をそれぞれ記録します。配信ステータスは合格、不合格、または検査待ち、値ステータスはサポート、未サポート、または観察待ちです。合格したからといって実際の使用価値が確認されたわけではありません。失敗した場合、または観察を待っている場合は、追加の証拠とともに再加工または再検査されます。参加者は、役割とタスクの合意、実際の入力と結果、証拠ソースとコラボレーションのバージョンを記録し、適用される根拠、権限の範囲、ルールのバージョンに従って、権限を与えられた主体によって確認およびレビューされます。異議がある場合には、認可された手順に従って証拠が補足され、再調査されます。参加者は、それぞれ確認すべき事項、確認すべき事項、異議を唱えるべき事項、および保留中の事項を保持します。顧客の承諾は、該当する証拠の 1 つとしてのみ使用でき、貢献度のレビューに代わったり、すべての参加者の貢献度や配分を直接決定したりすることはできません。 2 つのプロセスは並行して実行でき、相互に置き換えることはなく、同時に完了

する必要もありません。それぞれの結果は共有識別子に従って長期アカウントに関連付けられ、ソース、ステータス、バージョンが保持され、それぞれの有効な契約、規則、特定の事実に基づいて適用される権利と責任が確認され、実行対象と保留中の実行、実行、または紛争の状態が確認されます。貢献の確認によって自動的に資本が生成されるわけではありません。 R17 ビジネスの改善と能力の維持を二重に受け入れることは、別の一連の質問に答えるものであり、この図と混同しないでください。

プロセス	根拠と手順を確認する	結果を別に保存する
顧客価値の受け入れ	目的と範囲、有効な合意、受け入れ対象と基準。納品バージョン、品質および変更記録。受け入れの決定と実際の使用の証拠。失敗した場合はやり直しまたは調整し、証拠が不十分な場合は追加の観察を行います。	納品が成功したか、失敗したか、または検査待ち。使用値のサポート、サポートされていない、または観察待ち。異議申し立てと係属中の事項は個別にリストされます。承諾は使用価値が確認されたことを意味するものではありません。
貢献レビューに参加する	役割とタスクの合意、実際の入力と結果、証拠ソースと共同バージョン。権限を与えられた主体は、確認権限、適用範囲、規則バージョンに従って確認および検討し、異議申し立て、補足証拠および再審査の手順を保持しなければならない。	確認、確認、または異議を唱えるため。確認の範囲、理由、責任主体は別途記録されており、参加、納品完了、貢献確認は同一のステータスとはみなされません。

2 つの結果はそれぞれ、共通の識別子に従って長期アカウントに関連付けられ、それぞれのソース、ステータス、基準、およびバージョンを保持し、同じステップで完了する必要はありません。その後、権利、責任、および実際の履行は、それぞれ有効な契約、適用される規則および特定の事実に基づいて処理され、履行主体は、履行される履行、履行、または紛争の履行状況と照合されます。不明な事項は引き続き不明としてマークされ、記録または寄付の確認は自動的に株式の取得として解釈されず、異なる参加者が同じ収入権または議決権を取得するとみなされません。異議および履行されていない事項は、該当する手続きに従って処理されるものとし、すでに通過した別の手続きをこの判決に代えることはできません。

2つのプロセスと図R19長期資本勘定関連。図R17業務改善と能力維持を個別に比較することで、さまざまな疑問に答えます。それぞれの判断には独自の根拠が使用されます。内部プロジェクトの場合、内部ユーザーは対応する値の受け入れに責任を負い、全体的な検証、ユーザーによる最終レビュー、および実際の使用効果が個別に記録されます。

顧客価値の受け入れと参加貢献のレビューを別々に処理する原則は、既存の運用コンセプトを継続しています。 [31]

長期資本勘定の直接的なテスト

Company Zero の実際の関係と効果的な取り決めにおいて、アイデンティティ関係、投入貢献、権利と責任、ガバナンスの実施に関する観察記録を確立します。アカウントとルールが承認、レビュー、償還、信頼、およびその後の動作にどのような影響を与えるかを調査し、紛争、追加コスト、関係の終了、変更なしのシナリオを文書化します。さらに、通常のパフォーマンス、資本資本の受け入れと保持、実際の現金化と該当する譲渡買戻しを区別し、これらのステータスの組み合わせ、ビジネス提携、およびその後の投資の変化を追跡します。資本関係の成立・継続の有無は、対応する事実と有効な取り決めに基づいて証明されるものであり、技術の採用や口座の有無のみによって判断されるものではありません。

主に SIM、OMT、STR を接続します。デジタルワークとプラットフォームの仕組みは CTO を超え、公平性と信頼行動は OB を超えます。アカウントの設計、技術的な実装、権利の確立、パフォーマンスへの影響は個別に報告されます。

現在の出発点は著者によって確認されています

以下は2026年11月25日に筆者が確認した状況です。

従来のビジネスは常に行われており、ナレッジ コンテンツの構築と顧客へのビジネスの提供はすべて実際のタスクです。すでにチームができており、関連作品に注目して参加を希望する人もいる。これは、研究を継続して観察するための 2 つの入り口を提供します。1 つは知識コンテンツがどのように形成、編成、使用、改訂されるか、もう 1 つは顧客のニーズ、実際の提供とその後の使用です。これが11月25日に確認された事業の基礎となった。 V1.6 のフォレンジックの取り決めは、繰り返し観察可能な顧客配信のクラスを優先します。知識コンテンツの構築は、研究の引き継ぎ、保守、再利用のために引き続き使用されます。

新しい共同建設システムはまだ正式に開始されておらず、関連製品の機能はまだ小規模にテストされています。以降の開設は、システムの準備と実際のテストをもとに進めていきます。参加意欲、正式参加、業務遂行、貢献確認、権利利益の確立、実績がそれぞれの基準に応じて記録されます。チーム、フォロワー、またはテスト機能があるからといって、対応する権利や割り当てが有効になるわけではありません。

その後、実際の作業から、要件、分業、バージョン、引き継ぎ、使用状況、コスト、およびフィードバック資料を蓄積できます。著者、人間のチーム、AI ツールは異なる役割を果たしており、AI ツールの複数のコラボレーション記録セットを複数の独立した人間の研究サンプルとして扱うことはできません。作業状況、特定の事件記録、比較研究証拠については、個別に説明する必要があります。

第1陣の口座参加者、特定の権利と利益、配分比率、買戻しと譲渡の詳細、ガバナンスの基準値、運用日などは今回は策定されない。関連する事実、合意および結果は、実際に形成された後、対応する根拠に基づいて記録され、検討されます。

科学研究の共同建設、運用資産、収益再投資の関係

このセクションでは、主に B、C、D、E に関連する、比較可能な研究と実践のパスとして、知識と専門能力、営業資産と資本配置の間の関係を開発します。企業の適応、価値の獲得、継続的な投資を研究するための具体的な問題を提供します。これは 5 つの方向すべてで採用しなければならないシステムではありませんし、これが唯一の説明でもありません。

科学研究の共同構築は研究課題、知識、専門能力を結び付けることができ、リソースワークは人々、機関、実際の呼び出し可能な条件を結び付けることができ、企業は適切な能力を製品、サービス、顧客ソリューションに組織化することができます。実際の納品、使用、メンテナンス、協力の経験は、継続的な運用能力と資産ベースの材料となります。これらの取り組みは並行して反復的に実行でき、各投資を順番に通過しなければならない資本化段階はなく、個別の一連の運用次元もありません。

研究では、どれだけの知識製品が形成され、どれだけのビジネスが完了したかだけでなく、明確な条件の下でどの結果と関係が継続的に使用、維持、サービスできるか、どの投資がまだサポートを必要としているか、どの投資を調整または停止する必要があるかについても検討します。運用資産の具体的な範囲や確認根拠は、実

際の事項と併せて確認する必要がある。勤務中の蓄積は、自動的に確立された会計資産、法的権利、または有価証券の利益とみなされることはできません。

資本関係が資金やリソースをどのように獲得するか、これらの条件が適切な資産の取得と運用をどのようにサポートするか、資産の使用と運用が事業収益、実際の収益、再投資をどのように形成するかが、この研究の対象となります。資産を取得する際には、需要の適応、運用状況、投資および責任を確認してください。運用を継続する場合は、使用、メンテナンス、利益、リスク、およびその後のリソースの選択を検討します。各リンクは中断または逸脱する可能性があります。実際のプロセスと比較する必要があります。このサイクルは、資産を取得したり、資金調達を完了しただけでは有効とは言えません。ここでの 4 つの資本は依然として長期的な資産管理および運用戦略の原則的なロジックであり、資金調達、発行、または取引コミットメントは含まれません。利益、現金、評価および実現利益は個別に観察され、金融収益と事業収益は個別に会計処理されます。

著者の方向性案によれば、正式運用後の制度は、単に新たな所得を中心に整理するのではなく、事業、資産運用、投資、その他の所得を含む、制度の適用範囲内の所得とそれに関連する権利義務を中心に据えたものとなる。すべての種類の収入は個別に会計処理され、調査では収益、コスト、利益、分配、保有、再投資が個別に追跡されており、すべての収益が分配に使用されるとは想定されていません。具体的な割合、既存の資本、過去の取引関係および有効な境界は、その後のシステムによって決定されます。

対応する株式協定はさまざまな役割に対応しています。参加者はそれらを受け入れるか保持し続けるかを選択でき、元のビジネス ID は別途記録されます。株式保有と実際の協力関係は一致していない可能性があり、長期的な資本関係は継続的な供給、賃金、有料会員だけから推定することはできません。継続的な投資に見合った収益が得られるか、運営能力が維持されるか、協力が継続されるかなど、すべて実際のプロセスに基づいて比較する必要があります。したがって、科学研究の共同建設と運転資金との関係は、達成された効果のサイクルではなく、研究されるべき問題である。

> **このラウンドをどのように分割するか、次のラウンドで何を続けるかを取り決めに書き込む必要があります。**

Company Zero の科学研究の実践、運営体制、および証拠の状況

Company Zero: 科学研究成果の総合的な実践的キャリア

Company Zero の観察は、WISERUNION 自体の実際の組織、任務、投資、運営および協力に限定されます。研究によって形成された理論、モデル、方法、システム設計は、技術変化の中でビジネスモデル、組織方法、資本配置を調整するために使用され、その後、実際のプロセス、結果、逸脱、失敗、調整が研究に戻されます。 [25、31]

これらの実践を通じて、私たちは企業の能力がどのように蓄積され更新されるか、価値がどのように創造され獲得されるか、資本がどのように配分されるか、協力がどのように管理されるかを研究します。ステークホルダー資本理論、長期資本関係と勘定、NST、およびエコロジカル・ガバナンスは、それぞれ理論、方法、ガバナンスの取り決めまたは実践的な道として関連トピックで蓄積および使用され、他の適用可能な説明や取り決

めと比較されています。実際の結果は、特定の主張を裏付けたり、認定したり、否定したりすることができ、それぞれの研究の方向性は依然として独自の問題に従って実行されています。

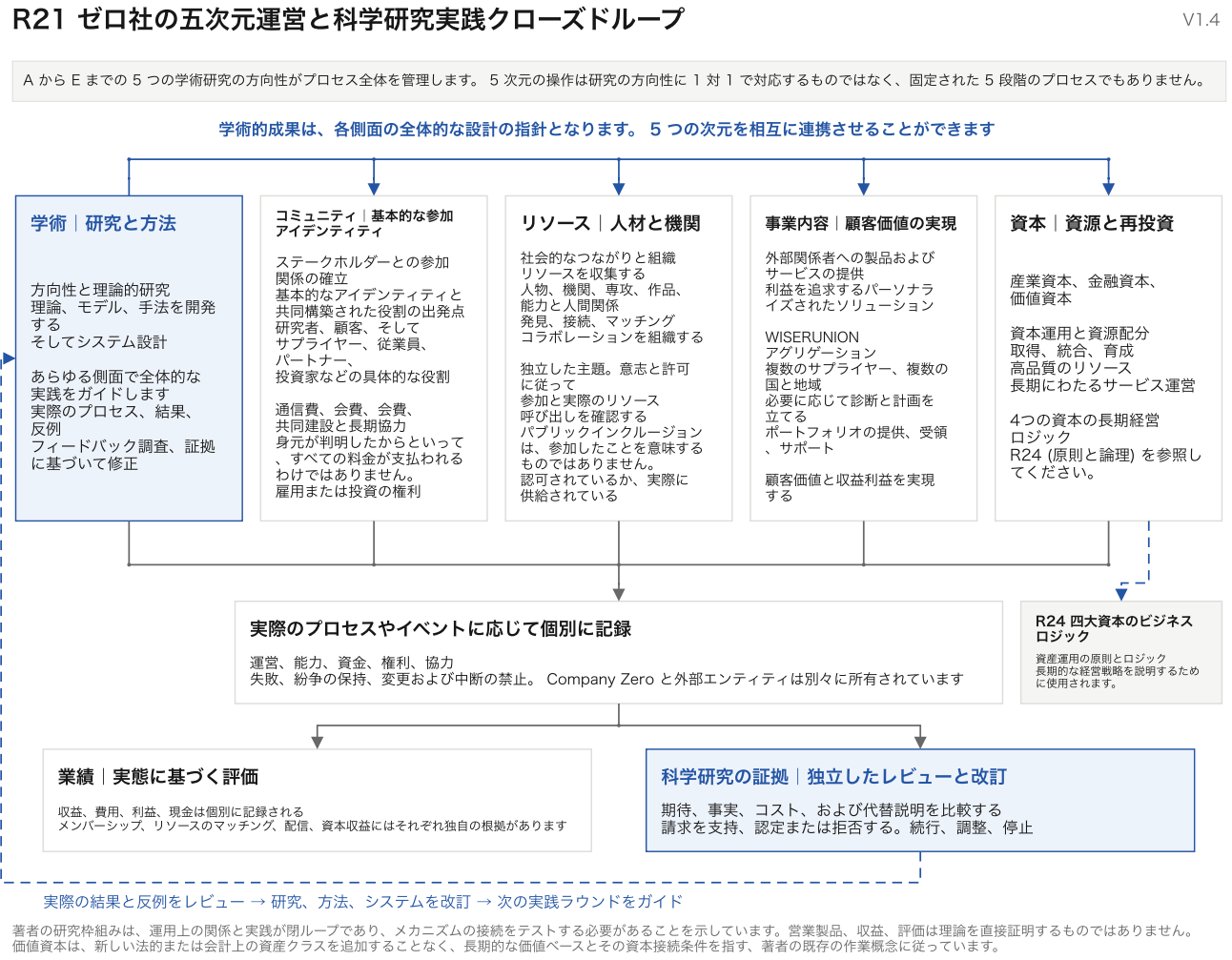
5 次元の運営: 学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本

Company Zero は、相互に関連する 5 つの次元に沿って実際の業務を組織しています。 5 つの次元が「組織がどのように運営されるか」に答えます。 5 つの研究方向 A ～ E と 15 の主要行が「何を研究するか」に答えます。 4 つの主要な生態学は参加者と関係を整理するために使用され、4 つのリソースはリソース、資産、資本、および資金がどのように割り当てられ、変換されるかを説明するために使用されます。これらの分類セットにはそれぞれ独自の用途があり、異なる観点から同じプロジェクトに関連付けることができます。

> **学術形成の方向性と理論 → コミュニティ、リソース、ビジネス、資本、組織全体の実践を指導 → 実際のプロセス、結果、反例を記録 → 学術結果のレビューと修正 → その後実践に入る。**

5 つの次元は、並行、交差、反復することができ、発達の 5 つの固定段階を構成するものではありません。

図R21・ゼロ社の5次元運営と科学研究実践の閉ループ



Company Zero は、学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの側面で運営されています。学術的な成果は各側面の全体的な実践の指針となり、実際のプロセス、結果、反例は独立してレビュー、修正、研究されます。 5 つの次元は相互に連携することができ、A ～ E の研究方向に 1 対 1 で対応するわけではなく、5 つの段階で固定されているわけでもありません。資本次元は、資産管理原則と長期的な運用戦略を説明するために R24 を参照しており、特定の実施計画を構成するものではありません。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: A から E までの 5 つの学術研究の方向性がプロセス全体を管理します。学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの運営側面は、研究の方向性に 1 対 1 で対応するものではなく、また、5 つの固定されたステップでもありません。理論、モデル、方法、システム設計を学術的に定式化し、あらゆる側面で全体的な実践を導き、実際のプロセス、結果、反例からのフィードバックを受け入れます。コミュニティは、関係者が最初の基本的なアイデンティティとその後の共同構築の役割を確立するための出発点です。研究者、顧客、サプライヤー、従業員、パートナー、投資家などの役割を重ね合わせることができ、コミュニケーション、会費、会費、共同構築、長期協力を維持します。アイデンティティは、一律の支払い、雇用、または投資の権利を意味するものではありません。 Resource Dimension は、社会的つながりと組織リソースを収集し、職業、作品、能力、キャラクターや組織の関係を通じてコラボレーションを発見、接続、マッチング、組織化します。キャラクターや機関は独立した主観を維持し、意欲と承認に基づいて参加と実際のリソースの利用を確認します。公的包含は、参加、承認、または実際の供給を意味するものではありません。

企業は利益を得るために製品、サービス、パーソナライズされたソリューションを外部の世界に提供します。WISERUNIONは複数のサプライヤーや国・地域を集約し、ニーズに応じた組み合わせ納品を診断・計画し、顧客価値と収益利益を実現します。資本には、産業資本、金融資本、価値資本および投資、融資、管理、収益および再投資が含まれます。資本運用と資源配分を通じて高品質の資源を取得、統合、育成し、長期的な事業に貢献します。 R24 は、長期的な 4 つの資本による資産管理の原則とロジックを説明しているだけであり、特定のツール、トランザクション、または実装計画ではありません。価値資本は著者の既存の作業概念であり、新しい法的または会計上の資産カテゴリーを追加するものではありません。 5 つの次元は相互に連携できます。実際の業務、能力、資金、権利、協力実績は別途記録されます。失敗、紛争、変更なし、中断は保持されます。 Company Zero と外部エンティティは別々に所有されています。営業成績は、収益、コスト、利益、現金とメンバー、リソースのマッチング、納品、資本収益によって個別に評価されます。科学的研究の証拠は、期待、事実、コスト、および代替説明を独自に比較して、主張を支持、認定または拒否し、条件に基づいて継続、調整または停止し、次の実践ラウンドを導くために研究、方法、システムを修正します。収益、評価額、経営成績は理論を直接証明するものではありません。

動作寸法	実際のタスク	主な結果と観察	研究事業
学術的な	研究の方向性を決定し、理論、モデル、手法、システム設計に関する研究を実行します。教育と応用を通じてそれらを実践に移し、使用と運用からのフィードバックを吸収します	特定の質問、理論的な比較、貢献の主張、設計とバージョン、証拠、反例、改訂	A〜Eと15本のメインラインをコーディネート
コミュニティ	最初の基本的な参加アイデンティティとして、また、すべての利害関係者の役割を共同構築するためのその後の参加の出発点として。組織コミュニケーション、メンバーシップとメンバーへの課金、共同構築と長期的な関係	参入と参加、アイデンティティと役割の変更、会員サービス、任務、貢献、権利と責任、協力の継続	E のアイデンティティ、ガバナンス、協力が中核となり、B、C、D を結び付けます
リソース	社会的なつながりと組織リソースを収集します。人々や組織の専門職、仕事、能力、関係を通じて、コラボレーションを発見し、結びつけ、マッチングし、組織し続ける	情報と情報源、連絡の有無、実際の参加、権限の範囲、呼び出し可能性、リソースの供給およびコラボレーションの質	主要な論点に応じて、A3、B1、B3、C、D1、E3 が受け入れられます。
ビジネス	製品、専門サービス、パーソナライズされたソリューションを外部の世界に提供して収益性を達成します。WISERUNION を通じた集約、計画、結合、提供、サポート	顧客の使用状況と支払い、収益、総コスト、利益、現金、品質と容量の再利用	Cは価値と収入の核であり、A、B、D、Eを結びます

動作寸法	実際のタスク	主な結果と観察	研究事業
資本金	産業資本、金融資本、価値資本に関連する調査と業務を組織する。キャピタルオペレーションと財務ツールを活用して質の高いリソースを獲得し続け、資産管理と長期的発展を4つの資本のロジックで説明します	資本と運営、リソースベース、リターンリスク、資本リターンと継続的投資の関係	D1 ～ D3 がコアで、B、C、E を接続します。

コミュニティ: 基本的なアイデンティティとその後の共同構築

Company Zero の参加型アイデンティティ設計では、コミュニティはさまざまなステークホルダーの共通の基本アイデンティティであり、共同構築へのさらなる参加の出発点でもあります。実際の仕事では、研究者、顧客、サプライヤー、従業員、パートナー、投資家、編集者、その他の役割を重ね合わせることができます。同じ主題が複数の役割を持つことができます。

基本的なコミュニティへの参加、有料メンバーシップ、特定の役職やタスク、取引や投資関係は個別に記録されます。コミュニティは会費を減額しません。既存の顧客、従業員、サプライヤー、投資家の契約上の身元と権利は、引き続き独自の基準で確認されます。該当する一般入口をご覧ください WISERUNIONが共同建設に参加。[70]

リソース: 人、組織、継続的なつながり

社会的なつながりと組織リソースが失われる 人物コラムそして人々と組織リソースのハブ集まって、専門知識、仕事、能力、証拠に基づいた関係を中心にお互いを発見し、継続的なつながりを確立し、実際の希望に応じて需要、供給、コラボレーションを組織します。 [68、69]

パブリックインクルージョン、連絡先の確立、参加への同意、協力の承認、実際に電話をかけて供給を完了できるかどうかは、個別に登録する必要があります。コミュニティは共通のアイデンティティと参加の出発点を提供し、リソースワークは特定の人々と組織をさらに結びつけ、コラボレーションがどのように行われるかを明確にします。ビジネスは提供を完了するために適切な能力を組織し、資本はリソースの取得と育成をサポートします。

科学研究、教育、実践の変革

科学研究は疑問を提起し、理論、方法、規則を形成します。その後、教育は適切な結果を明確に説明し、人々がそれを理解し、学び、使用できるようにします。これらのコンテンツは、学習や実践に直接使用することも、タスクのニーズに応じてナレッジ ツール、製品、サービスとしてさらに開発することもできます。外部供給に適した部品については、使用、保守、責任を明確にし、実際の供給を行います。

図R22・科学研究、教育、実践の変容



研究結果は理解しやすく学習可能なコンテンツに変換され、知識やツール、製品やサービスがオンデマンドで形成されます。 Company Zero または顧客による実際の使用後、問題、経験、証拠が調査と内容修正のために持ち帰られます。教育は既存の5つの次元によって共同で行われます。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 研究の質問、理論、方法は、比較の基礎と適用可能な条件を明確にし、理解しやすく、学習可能で、使用可能な内容を形成します。知識コンテンツは学習や実践に直接使用できます。特定のニーズに基づいて、各研究を商品化することなく、知識ツール、製品、またはサービスとして形成することもできます。ゼロ社または顧客が明確なタスク、バージョン、条件の下で実際に使用し、効果、コスト、逸脱、使用失敗を記録します。問題、経験、証拠、反例が検討され、研究と内容の修正に反映され、状況に応じて継続、調整、一時停止、または停止されます。改訂フィードバック研究は、学習内容やツールの配置にもフィードバックされます。学術形成の内容と方法、コミュニティ組織の学習、交流と共同構築、人、組織と実際の能力を結び付けるリソース、製品とサービスの供給と提供のビジネスオンデマンド組織、証拠に基づく持続的投資のための資本サポート。 5 つの次元は、変革の 5 段階ではなく、要求に応じて共同で実行されるものであり、教育によって 6 番目の次元が追加されるわけではありません。コース、読書、普及の数は活動を反映するだけであり、それだけでアプリケーションの成功を証明することはできません。使用法と運用結果については、まだ調査して検討する必要があります。

Company Zero または顧客による実際の使用。特定の問題、経験、偏見、証拠が研究に持ち込まれます。レビューでは、内容が理解できたか、学習後に実際の業務で活用できるかだけでなく、利用効果、コスト、制限事

項、利用できなかった理由なども検討し、研究の説明、学習内容、ツール、備品などを見直します。カリキュラム、読書、コミュニケーション活動の結果が記録され、理解、実践、効果がそれぞれ観察され、研究は対応する証拠とともにフィードバックされます。

この変革は、オンデマンドの既存の 5 つの側面によって共同で行われます。それは、学術形成理論、方法と内容、コミュニティ組織の学習、交流と共同構築、人々、組織と実践的能力を結び付けるリソース、商業組織による適切な製品とサービスの供給と提供、および証拠に基づく継続的投資のための資本サポートです。教育は 5 つの次元間の変換作業として共同で行われ、5 つの次元は並行、交差、反復することができます。

この変革は、Company Zero の既存のコンセプトである「科学的研究 - 応用 - 実践的なフィードバック」を継続しています。 [31]

プロジェクト間の次元を超えた仕事のつながり

古い記事の 5 つの作業グループは、特定のプロジェクトを結び付けるために引き続き使用され、何を受け取り、何を作成し、誰に与え、フィードバックを受け取った後にどのように調整するかを説明します。それらは新しい研究の方向性、運営上の次元、または固定された部門ではなく、サイトごとに分かれているわけでもありません。同じプロジェクトには同時に複数の作業グループが関与することがあり、実際の役割と責任は特定の合意に従って確認されます。

動作中の接続	入力	メイン出力	引き継ぎとフィードバック	関連する5つの次元
研究と教育	研究上の疑問、理論的手法、実際的な問題、および既存の証拠	ソース、バージョン、適用条件を含むコンテンツの調査と学習。利用可能な方法やツールが必要に応じて開発される	学習者、共同構築者、および使用プロジェクトに目的を説明します。理解の障壁、使用結果、研究と改訂のための反例を返す	学術の形成と内容の改訂、コミュニティの学習と共同構築。実際のニーズに応じたリソース、ビジネス、資本サポートのアプリケーション
製品サービスソリューション	顧客の目的と状況、需要診断、利用可能な供給と調査方法	明確なプロバイダーと責任を伴う製品、サービス、およびパーソナライズされたソリューション	WISERUNION は、複数のベンダー、複数の国、地域の供給を集約します。計画、契約、納品およびサポートの責任がプロジェクトごとに明確になります。フィードバックは供給と研究を返すために使用されます	ビジネス組織の供給、リソース接続機能、コミュニティへの参加。オンデマンドの学術的および資本的サポート
リソースハブと共同建設への参加	個人情報と所属機関の情報、専攻と作品、実際のニーズ、参加意欲と権限	つながり、コンピテンシーの一致、参加する役割、および実際のコラボレーションに関する検証可能な記録	包含、連絡、参加意欲、実際の供給、完了した納品を区別します。マッチング偏差、納品品質、貢献度に基づいた関連プロジェクトのフィードバック	リソースとコミュニティは、人々、組織、参加する役割を結びつけます。産学資本がプロジェクトで連携

動作中の接続	入力	メイン出力	引き継ぎとフィードバック	関連する5つの次元
NST ソフトウェアと共有ガバナンス	ガバナンス要件、効果的なルール、役割の権限、プロセスの記録、および使用上の問題	実際に使用して検証した方法、ルール、ソフトウェアバージョンと修正事項	認可機関はルールの策定と変更を行い、ソフトウェアは認可内の実行と記録をサポートします。まずゼロ社の自社用途に提供し、実際の検査に基づいて独自に納入できる部品を判断する。貢献、権利、パフォーマンスは個別に確認されます	学者、コミュニティ、リソースが共同で設計と使用に参加します。実際の供給、メンテナンス、投資のニーズに応じて事業と資本を引き受けます
投資調査、投資、資金調達および投資後	操作とリソースの要件、研究資料、入力条件、既存の結果	十分に根拠のある投資選択、明確な主体責任、継続的な追跡記録	選考基準、条件、責任は実際の意思決定と実行に引き継がれます。フォローアップの取り決めには実際の結果、リスク、パフォーマンス状況がフィードバックされ、4 つの資本は長期的な資産管理および運用戦略の原則的な論理を維持します。	主に資本、学術研究、リソース能力、事業運営、コミュニティ参加を結びつけます。具体的な関係は別途確認される

5 つの次元がどのように相互にサポートするか

学術的な成果は、教育、ツール、実践的なアプリケーションを通じて問題を診断し、解決策を計画し、システムを選択するのに役立ちます。コミュニティ組織への参加、学習交換、共同構築。リソースワークは、連絡先、機関、実務能力を結びつけます。ビジネスは顧客価値と利益を実現します。資本は投資、権利、リスク、その後の配分を整理し、適切なツールを通じて高品質のリソースを継続的に取得することもできます。業務上で発生した新たな課題や実際の結果は、学術的な比較、証拠のレビュー、成果の修正に利用されます。

WISERUNION は、さまざまなサプライヤーの製品、サービス、ソリューションを統合して、需要と供給を結び付けます。それぞれのWebサイトやツールを別の入り口として利用することができ、Webサイトごとに5次元の運用を分けることはありません。

資本次元における 3 種類の作業口径

著者が採用した資本口径	ゼロ社の求人情報	接続を継続的にチェック
産業資本	実際の業界、企業、プロジェクト、機能を中心に、投資、ビジネスコラボレーション、資産配分、および該当する業界統合を整理します。	投資がリソース、ビジネス、機能にどのように投入されるか、コラボレーションがどのように行われるか、誰が投資を負担して収益を得るのか
金融資本	資本供給、資金調達構造、金融市場を結び付け、事業体や市場状況に応じてIPO、上場後の適用商品、STO、その他の資金調達取引経路を比較します。	資金調達と条件によってリソースの取得、コスト、期間、管理、リスク、流動性、再投資条件がどのように変化するか

著者が採用した資本口径	ゼロ社の求人情報	接続を継続的にチェック
価値資本	「ステークホルダー・キャピタル」という仮題に従い、長期的な価値基盤とその資本関係条件を分析し、具体的な研究における内包、指標、境界を明らかにします。 [03]	リソース、能力、資産、パートナーシップが持続的な価値をどのようにサポートするか、資本がどのように結びつくか、利益と権利がどのように実現されるか

3 種類の資本の機能能力は重複する可能性があります。 4 つのタイプの資本は長期的な資産管理の論理的な枠組みとして理解されており、2 つの分類セットが加算されることはありません。著者の研究コンセプトに従って「バリューキャピタル」が引き続き使用されており、法的または会計的な資産カテゴリーは追加されていません。

科学研究と業務の相互点検

科学研究の結果は、実際の意思決定、組織ルール、および実施に反映されます。 AI の認知効果と作業効果、およびブロックチェーンの制度的技術効果が問題に応じて選択され、個別にテストされます。特定の取り決めには研究の根拠、適用される条件、実装バージョンおよび調整理由が保持されており、実際の運用では元の解釈を支持、制限、または否定することができます。

学術成果、コミュニティへの参加、個人および組織のリソース、事業収入および資本収益は個別に評価され、同じ実際の出来事に関連付けられます。会費、事業収入、資本投資、金融収入、評価額および実際の収益は分離されたままです。成長、包摂、システムの立ち上げ自体が理論的なメカニズムを証明するものではありません。

Zhixing Personal Knowledge Station: オンライン知識組織の実践

yutengfei.com は、研究、作品、スキル、ソース、バージョンを整理するための個人的なナレッジ ステーションとして立ち上げられました。ウェブサイトの構築、翻訳、ナレッジベースの作業では、タスクの分割、引き継ぎ、受領、改訂、資料の再利用が行われます。継続的な効率性と人を越えた移動も研究設計に従ってテストされます。 [27]

100億メイプル：ブランディング・コミュニケーション段階での成果

公開事例としては、戦略とブランド表現、VIS、店舗SIコンセプト、デジタル公式サイト、コミュニケーション業務などがあります。戦略と配信、バージョンとメンテナンスの関係を観察できます。 SI の概念と構築の事実、コミュニケーションの配信と運用上の効果は個別に記録されます。 [26]

ステータス	それに応じて述べることができる
モデルと研究デザイン	テストする概念、メカニズム、方法、またはトピックが提案されます。
公開資料とサンプル	表示可能なドキュメント、ツール、またはメソッドの成果物が完成します。
実際の実装と受け入れ	特定の合意された作業が行われ、実行、変更、または承認の記録が存在します。
使用の証拠と結果	その結果を実際に使用し、期間限定で変化を観察します。

ステータス	それに応じて述べることができる
比較および持続可能性の証拠	明確な比較、レビュー、追跡観察を通じて説明をサポートします。

> 外部のケースやパートナーのビジネスはそれぞれの事業体に記録され、Company Zero の進歩のマイルストーンや業績には含まれません。データ収集、関係の導入、および計画の開示は、それぞれ事実上の境界を保持します。

新しいモデルの下での主な所見

学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの側面の実際の運用において、Company Zero は、方向性と理論的形成、アイデンティティと共同構築の役割、人々と組織とリソースのつながり、組織の実行と能力の維持、顧客価値、資本と長期的な運営、長期的なアカウント関連の関係を観察します。資本運用経路、口座機能および制度的取り決めは、計画、設計、パイロット、実行および結果のステータスによって区別されます。発生していない事業は、計画の名前に基づいて完了したとは推定されません。

研究成果と実践評価

成果レベル	主な商品とレビュー
研究結果	概念と境界、比較設計、メカニズムの証拠、論文と長期的な事例。予想される所見を裏付けない所見も報告します。
メソッドの結果	4 方向の SOP、調査カード、証拠台帳、貢献レビュー、資本比較および承認基準。適用される条件と改訂根拠を記録します。
知識の成果	原稿、シンクタンク、文献および用語のリソース、スキルおよびトレーニング資料。ソース、バージョン、引用可能性を維持します。
製品、サービス、ソリューションの実績	需要の診断と計画に基づいて、製品とサービスを組み合わせて、パーソナライズされたソリューションと合意された納品を形成します。受け入れ、使用、メンテナンス、フォローアップの結果をそれぞれ評価します。
カンパニーゼロの業績	学術的方向性の理論的かつ実践的な見直し。コミュニティの基本的なアイデンティティ、メンバーシップ、および共同構築。リソース、人々、機関のつながりと実際のコラボレーション。商用製品、サービス、ソリューションの営利。 3 種類の資本の働きと、長期的な運用、資源の獲得、継続的な投資をサポートする資本の働き。
実反科研の成果	5 次元操作における期待、実際の結果、逸脱、失敗、および条件の変化を特定の研究提案に結び付けて、理論、方法、システム、およびソリューションの修正を形成します。

研究声明

この研究は戦略的経営を主な学術基盤としており、その上位レベルの命題は次のとおりです。**技術変化への確実な適応と差別化。** 一般的なタイトルは「インテリジェントテクノロジーの変化における企業能力と資本ガバナンスに関する研究」のままです。主な質問は次のとおりです。

> 技術が変化するなかで、企業はビジネスモデル、組織のあり方、資本の仕組みをどう調整し、企業能力を形成・更新し、価値を創造・獲得するのか。なぜ似た技術を導入した企業が、異なる長期的な経営成果と発展経路をたどるのか。

5つの方向と15の主要ラインが共同でビジネスモデル、組織方法、能力の蓄積、価値の創造と獲得、資本の配置、協同組合のガバナンスに関する研究を組織しており、名前、コード、および並行レベルが維持されています。 AI は認知および作業テクノロジーであり、ブロックチェーンは制度的なテクノロジーです。特定のトピックでは、採用、組み合わせ、従来の代替品と条件の違いを比較し、同様のテクノロジーの下でのさまざまな長期運用結果と開発パスを追跡します。テクノロジーは可能性をもたらします。導入とその結果を説明するときは、ビジネス ニーズ、競争、組織と資本の配置、変更なしと失敗も考慮する必要があります。

ステークホルダー資本の蓄積、長期資本関係、長期資本勘定、NST、エコロジカル・ガバナンス、および 4 つの資本は、実際の性質に応じて、具体的な理論的説明、方法、ガバナンスの取り決め、および実践的な道筋に入ります。ステークホルダーと長期資本の間の関係を維持する上で重要な問題は次のとおりです。

> ステークホルダーはどのようにして企業の長期価値に関わる権益を自主的な選択と制度的ルールに基づいて取得し、保有し続け、長期的な資本関係を形成できるのでしょうか？この関係は、組織形態、能力蓄積、収入分配、継続的な協力にどのような影響を与えるのか、また資本運営を通じてどのように継承され、実現され、継続されるのでしょうか?

このパスは主に E、D を接続し、その B、C、A の結果を比較します。全方向に共通の前提としてではありません。 「どのような組織およびガバナンス条件の下で、分散した知識、専門的能力、社会的関係および資金を、企業が持続的に使用できる能力および運用資産に変えることができるでしょうか? 対応する利益は、参加者の継続的な投資をどのようにサポートできるでしょうか?」は、組織能力と運用資産の形成を支える課題であり続けます。提案された 2 つの主な貢献と 4 つの補助候補は、既存のステータスと証拠ステータスを保持し、それらの相対的な増分がそれぞれ示されます。これは、概要に関するすべての研究を網羅するものではなく、また、4 つの支持候補者の使用を利害関係者へのパスに限定するものでもありません。

長期的な懸念事項は次のとおりです。**スマートテクノロジーと制度的取り決めの変化の下で、企業と利害関係者の組織形態はどのように進化する可能性があるか。** これはリサーチクエスチョンであり、現在の観測対象は依然として企業と特定の協力関係である。

研究は、既存の生態学的ガバナンス、4方向SOP、AI運用能力、資本メカニズム、制度技術から始まります。Company Zeroは、学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の5次元組織の全体的な実践を実行します。つまり、方向性と理論的研究ガイドの運営、コミュニティは利害関係者の基本的なアイデンティティと共同構築を引き受け、リソースは社会的つながりと組織リソースを収集し、ビジネスは利益を上げるための製品、サービス、および個別のソリューションを提供し、資本は投資、収益、4つの資本の循環を組織し、適切な資本運用と金融商品を通じて高品質のリソースを取得し続けます。実際の結果は科学研究にフィードバックされます。 WISERUNIONは、現在およびその後のサプライヤーの製品、サービス、ソリューションを統一的

に集約し、顧客の問題、国および地域に応じてマッチングおよびパーソナライズされた組み合わせを組織し、プラットフォームとサプライヤーそれぞれの責任を明確にします。他のケースは比較と境界の特定に使用されます。進捗は条件、証拠、段階的な結果に基づいて行われ、固定された期限はありません。

成果の評価

研究の貢献を評価するには、既存の研究にどのような説明、設計、方法、または発見が追加されたか、比較が信頼できるかどうか、結論のレベルと境界が明確かどうかを検討する必要があります。独自性の検証と証拠の裏付けという 2 つの軸が別々に記録されます。実際の貢献を評価するには、その結果が実際に使用されているかどうか、明確な条件の下で機能を継続的に展開および維持できるかどうか、資金とリスクが手頃かどうか、合意どおりに協力を継続できるかどうかを確認する必要があります。対応する結論は、人を超えた再発、移行、関係依存について個別に提供されます。まず 2 つのタイプの貢献を個別に評価し、次にその関連性について説明します。

> この概要は研究と実践の計画です。現在のモデル、設計草案、公開資料、オンライン ケース、および候補ソリューションはすべて、それぞれのステータスを保持します。

> **運用では価値を実現できるかどうかをテストし、リサーチでは説明が成立するかどうかを問う。**

元の貢献の帰属

理論、設計、方法、および経験的成果は、それぞれ対応する寄与クレームに分類され、比較基礎と二重軸のステータスが維持されます。 5 つの方向と 15 番目の主要なラインは組織化と蓄積を続けており、カタログ、モデルの数、テクノロジーの導入、またはビジネスの規模を学術的な増加に置き換えることはできません。主な貢献と補助的な貢献については、を参照してください。オリジナル投稿の位置づけと検査。

運用接続の結果

科学研究と教育の変革は、研究基盤、学習可能なコンテンツ、実際の使用フィードバックを維持します。 NST は、自己使用および製品化のためのルール、ソフトウェア、内部使用、メンテナンス、および独立した配布ステータスを保持します。価値の受け入れと貢献のレビューはそれぞれ証拠、結論、異議を保持します。完全な実践例では、納品、収入と支出、権利と利益、レビューを同じプロジェクトとして統合します。

上記製品を確立された研究方向、5次元の運用と成果評価体系に落とし込み、研究、学習、応用、実現、実際の効果を個別に説明します。その後、実践的なフィードバックに基づいてメソッド、ソフトウェア、研究の改訂を続けます。

付録のナビゲーション

以下の資料は完全に保持されており、質問ごとに確認できます。

必要性を確認する	参照先
画像、ソースファイル、完全なテキスト説明	絵画カタログ · 画像に相当するテキストを更新する

必要性を確認する	参照先
学術分野とこれまでの研究蓄積	AOM/SMSマッピング · 生態学的モデル · 原稿と論文 · 既存のメソッドが引き継がれる
資本分析と長期的な運用原則	言語と 4 つの首都の共同分析
プラットフォーム、製品、サービス、ソリューション	アグリゲーションプラットフォーム · 製品 · サービス · 供給関係 · 資本プログラム · デジタルビジネスプラン
進歩を練習し、教材を処理する	事前条件 · 研究指標と社内事例

ビジネスカタログはオプションの消耗品や研究事業を確認するために使用され、特定の消耗品はプロジェクトごとに確認されます。プロセス インスタンスは、独自の観察カットオフ ポイントに従って読み取られ、その後新たに追加されたイメージは、履歴インスタンスの完了したアイテムとして書き戻されません。

図解付きの読み物と編集可能なドキュメント

図番はブロックの表示順にR01～R29となります。 R01 はテクノロジー、組織、能力、資本、協同組合のガバナンスに関する共通の説明モデルを示し、R02 は上位レベルの命題、一般的な問題、および 5 つの方向性の 5 つの主要なラインを示します。方向性マップ、具体的な貢献マップ、実践マップはそれぞれのレベルで作成され、ステークホルダー相関マップは理論的および実践的な道筋を説明します。

各画像は、ネイティブで編集可能な Draw.io、SVG、および PNG を提供します。フィギュアカタログと歴代フィギュア番号の比較原図番号を確認できます。 R29 では、3 つの主なトピックごとに証拠収集条件をまとめています。

図面番号	名前	テキスト
R01	共通の説明モデル	図を見る
R02	5つの研究領域と15の研究テーマ	図を見る
R03	A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築	図を見る
R04	B. 企業力の蓄積と更新	図を見る
R05	C. 顧客価値、市場競争、収益獲得	図を見る
R06	D. 投資、融資および資本配分	図を見る
R07	E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス	図を見る
R08	制度技術としてのブロックチェーン：ルールと実装の共通評価	図を見る
R09	オリジナルの貢献と証拠	図を見る
R10	貢献1：長期資本関係の形成と持続メカニズム	図を見る
R11	貢献2：長期資本勘定の制度設計	図を見る

図面番号	名前	テキスト
R12	貢献 3: 組織と実行メカニズムが能力保持にどのように影響するか	図を見る
R13	貢献4: 資本運用と能力構築の双方向の役割	図を見る
R14	貢献5：業務改善と能力維持のための二重受け入れ方式	図を見る
R15	貢献 6: 長期的な証拠と失敗の境界	図を見る
R16	技術・組織・能力の仕組み	図を見る
R17	業務改善と能力維持のダブル容認	図を見る
R18	能力投資と資本フィードバック	図を見る
R19	長期資本勘定: 通常のパフォーマンスと資本資本の階層化	図を見る
R20	顧客価値の受け入れと参加貢献のレビュー	図を見る
R21	ゼロ社の五次元運営と科学研究実践クローズドループ	図を見る
R22	科学研究、教育、実践の変革	図を見る
R23	資本運用の機能と経路	図を見る
R24	Company Zero の長期経営戦略の 4 資本のロジック	図を見る
R25	WISERUNION アグリゲーション サプライ	図を見る
R26	パーソナライズされたソリューション	図を見る
R27	NST ガバナンス手法とソフトウェア: 自己使用検査と段階的な製品化	図を見る
R28	完全な実践例: 要件からレビューまで	図を見る
R29	3 つの主なトピックの証拠収集の順序	図を見る

分類の関連性、研究手順、テスト対象のメカニズムが各図の凡例に従って説明されています。完全なカタログ、収益の増加、資本の獲得、技術の導入だけが理論の正当性を証明するわけではありません。

AOM分類と研究対応

全体的なポジショニング

この研究では、STR を主な学術基盤とし、CTO、TIM、OMT、SIM との交差に焦点を当て、特定の問題と分析レベルに応じて ODC、OB、MOC、HR、OSCM を結び付けます。これらの分野すべてが主な所属としてリ

ストされているわけではなく、この研究の第一レベルの方向性に追加されているわけでもありません。

以下の英語名は AOM のパブリックドメインの記述に基づいており、中国語名はこの概要の統一翻訳です。参照 AOM研究領域カタログ。

略語	正式な英語名	中国語名	ソース
STR	Strategic Management	戦略的経営	正式なドメインの説明
CTO	Communication, Digital Technology, and Organization	コミュニケーション、デジタルテクノロジー、組織	正式なドメインの説明
TIM	Technology and Innovation Management	テクノロジーとイノベーションの管理	正式なドメインの説明
OMT	Organization and Management Theory	組織と経営理論	正式なドメインの説明
ODC	Organization Development and Change	組織の発展と変化	正式なドメインの説明
MOC	Managerial and Organizational Cognition	マネージャーと組織の認知	正式なドメインの説明
OB	Organizational Behavior	組織行動	正式なドメインの説明
HR	Human Resources	人材	正式なドメインの説明
SIM	Social Issues in Management	経営における社会課題	正式なドメインの説明
OSCM	Operations and Supply Chain Management	運営とサプライチェーン管理	正式なドメインの説明

5方向への電界分布

この研究の主な方向性	集中ドッキング用の AOM ドメイン	主要な交差点または国境
A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築	CTO、TIM、ODC	STR、OMT、OB、OSCM
B. 企業力の蓄積と更新	STR、MOC、OB	OMT、TIM、HR
C. 顧客価値、市場競争、収益獲得	STR	OSCM、TIM、OMT、SIM
D. 投資、融資および資本配分	STR、戦略的および組織的課題によるポジショニング	TIM、OMT、SIM;企業金融と資本市場は隣接する分野です
E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス	OMT、SIM、STR	CTO、OB、HR、OSCM

15 本の幹線の主な所有権と条件

主な帰属は、この概要の位置付け判断です。 特定の論文がどの分野に分類されるかは、中核となる問題、理論的メカニズム、分析のレベルによって異なります。複数の分野にまたがる場合には、それが研究においてどのような役割を果たしているかも説明する必要があります。

連続本線	推奨される主な所有権	横断的または隣接する分野	権利確定条件
A1 タスクとテクノロジーの適応	**CTO**	TIM、OSCM	デジタル テクノロジーが組織の業務に導入される場合、CTO が主なリーダーとなります。革新的な導入は TIM に関連しており、運用品質とコストは OSCM に関連しています。
A2 プロセスと人間と機械のコラボレーション	**CTO**	ODC、OB、OSCM	デジタル作業とコラボレーションは CTO が主導します。組織変更は ODC に、作業設計とチームは OB に、デリバリープロセスは OSCM に接続されます。
A3 テクノロジーへの依存と組織の境界	**STR**	OMT、CTO	戦略に対する自己構築、外部コラボレーション、および境界の影響は STR に影響します。組織の依存関係は OMT に属し、デジタル インフラストラクチャは CTO に属します。
B1 知識の蓄積とフィードバックの変換	**MOC/STR (質問による)**	OMT	学習、注意、解釈、記憶は MOC に送られます。戦略的アジェンダ、予算編成、リソースへのフィードバックは STR に送られます。制度とルーチンは OMT に移行します。
B2 人間とコンピュータの学習とスキルの変化	**OB**	HR、MOC	人間の行動、チーム、学習は OB に関連しています。スキル開発と人材配置は HR に接続され、認知的判断メカニズムは MOC に接続されます。
B3 能力の保持と移転可能性	**STR**	MOC、TIM、HR	能力の継続性とパフォーマンスは STR と交差します。組織の記憶、テクノロジーの更新、人材の流動性が問題によって交差します。
C1 需要の満足と商業的実現	**STR（戦略的課題）**	OSCM、TIM	ビジネスモデルと競争結果はSTRに関係しています。配信品質は OSCM に関連しています。テクノロジーの商業化は TIM に関連しています。純粋な消費者問題はマーケティングに関連しています。

連続本線	推奨される主な所有権	横断的または隣接する分野	権利確定条件
C2 競争と価値の獲得	**STR**	OMT、SIM	競争、交渉、価値の獲得はSTRによって支配されます。市場制度と権力は OMT に結びつき、利害関係者の責任と公平性は SIM に結びつきます。
C3 ビジネス価値の測定	**STR**	OSCM	運用パフォーマンスと競争パフォーマンスは主に STR に基づいています。運用の品質と効率は OSCM に関係しています。メソッド自体が貢献を構成する場合、メソッド フィールドに関連付けられます。
D1 ダイナミックな投資とプロジェクトの選択	**STR**	TIM	動的なリソースの割り当て、選択、調整は主に STR に基づきます。テクノロジーとイノベーションへの投資は TIM に関連しています。
D2 資金調達マッチングと資本制約	**STR（一部対応）**	企業金融、資本市場、金融法などの隣接分野	STR に関連する場合、資金調達条件は戦略と能力への投資に影響します。純粋な発行価格、証券構造、および監督を完全に AOM に帰することはできません。
D3 資本管理、リスクと出口	**STR**	OMT、SIM	撤退によるガバナンス、管理、戦略的影響はSTRでも継続します。制度と管理構造はOMTでも継続し、責任と規制の問題はSIMでも継続します。
E1 知識、データ、意思決定力	**OMT**	CTO、TIM、STR	組織システム、権限、責任は主に OMT に基づいています。デジタルガバナンス、知的財産、戦略的資源管理が課題に応じて交差します。
E2 寄付金の認識と収入の取り決め	**SIM**	OB、HR	複数の当事者による貢献、公平性、責任は SIM によって支配されます。公正・信頼・自主貢献はOBにつながり、従業員報酬制度は人事につながります。

連続本線	推奨される主な所有権	横断的または隣接する分野	権利確定条件
E3 組織横断的な取り組みとシステム調整	**STR**	OSCM、OMT	組織間のコミットメントと協力の戦略的結果は STR に関連しています。サプライヤーのパフォーマンスは OSCM に接続され、ルールの策定と調整は OMT に接続されます。

フォーカス境界

1. **B1は中核課題に応じて位置付けられます。** 組織知識の学習と記憶、戦略的アジェンダに入るフィードバック、フィードバックを引き継ぐ組織ルールは、それぞれ MOC、STR、OMT に関連付けられています。ペーパー III では、戦略的行動の翻訳に焦点を当てる際に、STR との会話を優先します。
2. **D2 は部分的な対応を保持します。** IPO、上場後の証券ビークル、STO の戦略的、組織的、ガバナンス的な影響が AOM に反映されます。それらのサービスの価格設定、セキュリティ構造、および法制度自体には、隣接する規律が必要です。
3. **長期資本勘定は研究課題ごとに分割されます。** 役割と権限は OMT に、デジタル システムは CTO に、貢献と責任は SIM に、コラボレーションとリソース割り当ての戦略的結果は STR に割り当てられます。
4. **C1 戦略とマーケティングの問題を区別する。** 顧客価値とビジネス モデルの企業レベルの解釈は STR に対応できます。純粋な消費者行動やマーケティング測定をすべてこの領域に含めることはできません。
5. **研究ツールは専門分野への所属と同等ではありません。** 分類は、ブロックチェーン、メトリクス、または経験的方法を使用して自動的に決定されるわけではありません。また、長期的な協力の持続可能性だけが環境研究の帰属の根拠となるわけでもありません。

SMSとの補完比較

この版では主に AOM を参照して学術分類を決定し、SMS を通じて関連する戦略的研究グループを検索します。主要な 15 行は変更されません。参照 SMS研究グループディレクトリ。

第 1 レベルの方向	SMS主対応	適用条件
A	Knowledge and Innovation；Strategy Process；Corporate Strategy	技術と知識の応用、戦略の実行、企業境界と外部協力
B	Knowledge and Innovation；Strategic Human Capital	組織の学習と知識の伝達、人間のスキルと導入が企業パフォーマンスに及ぼす影響
C	Competitive Strategy；Stakeholder Strategy	製品および要素市場、競争と価値の獲得、およびマルチパーティの価値
D	Strategy Process；Strategic Leadership & Governance；Corporate Strategy	投資決定、資本提供者およびガバナンス。 M&A、売却および事業範囲。純粋な金融コンポーネントには依然として隣接した分野が必要です
E	Stakeholder Strategy；Cooperative Strategies；Strategic Leadership & Governance	複数の当事者の権利と価値観、組織を越えた関与と協力、監督とインセンティブ

企業戦略は主に企業範囲と事業ポートフォリオを検討するものであり、すべての財務活動を含めることはできません。研究方法コミュニティは方法サポートを提供できますが、これに基づいて C3 の被験者の所有権を決定することはできません。

生態学的モデルと全体的な蓄積

ステークホルダーの生態学的デジタル ガバナンス モデルと 4 つの生態学的ガバナンス モデルは、参加者の関係、価値観の活動、ルールの取り決めを観察および設計するために使用されます。該当するトピックでは、テクノロジーの変化に直面して企業がどのようにリソースを組織し、業務を遂行し、協力するかを分析するために使用できますが、このフレームワークはすべてのトピックに必要というわけではありません。 [01-02]

資源生態学

才能、知識、技術、サプライヤー、その他の組織リソース

顧客エコロジー

需要、使用状況、トランザクション、フィードバック、および継続的な顧客関係

運用管理エコロジー

役割、タスク、プロセス、引き継ぎ、業務の実行と改善

資本生態学

投資、資本、権利、リスク、収益、再投資

6つの価値観

中核となる価値、価値の生産、価値の販売、価値の運営と管理、価値の収入、価値の増幅。これは、企業がどのような価値を提唱しているか、価値をどのように形成して実現するか、実行を組織する方法、利益を獲得してその後の発展をサポートする方法を追跡するために使用されます。

4 つのレベルの競争

製品、プラットフォーム、金融、文化。競争上の地位と組織関係の観察次元として、製品とサービス、コラボレーションネットワーク、資本関係、共有認識がそれぞれ調査されます。各ディメンションの役割は、企業の状況に基づいてテストする必要があります。

3種類のクローズドループと研究事業

管理の閉ループは仕事と結果を観察します。貢献の閉じたループでは、事実、権利と利益の確認と適用が検討されます。ガバナンスの閉じたループでは、問題がどのように決定され、実装され、修正されるかが検討されます。 4 つの生態学的モデルは、A ～ E の該当するトピックがオブジェクトと関係を決定するのに役立ちます。それは別々の研究方向を設定するものではなく、各方向が同じ生態学やアカウントの配置から開始することを要求するものでもありません。

> このモデルは現在、組織の観察と設計のフレームワークとして使用されています。参加記録、作業結果または貢献が確認された後も、有効な契約および対応する事実に基づいて特定の権利が確立されます。

資本運用と長期的な資本関係との関係

キャピタル・エコロジーでは、資本投資だけでなく、資本市場のつながり、金融商品、取引構造、資産と支配権の調整にも注目します。長期資本関係を研究する場合、長期資本勘定を使用して、リソース、顧客、運営および管理関係の投入、貢献、該当する権利、責任、パフォーマンスを記録し、それらが継続的な協力にどのように関連しているかを確認できます。その他のテーマについては、ご自身の課題に応じて観察・記録方法を選択してください。このモデルは組織の観察と設計に役立ちますが、すべての参加関係が株式または同様の資本利益を形成することを前提としていません。

原稿と原論文

以下の原稿と論文には、著者の既存の理論的説明、手法、実践的な道筋が蓄積されており、技術変化における企業の適応と差別化に関する特定の質問に答えるために使用できます。概要には他の研究も含まれます。 A ～ D のテクノロジー、能力、市場、資本の問題にも独自の調査タスクがあり、それらすべてがステークホルダー パスのサポート ツールとして使用されるわけではありません。それぞれの資料の性質と、それが持つ主張と証拠を記録し続けます。

「ステークホルダー資本主義」

共創、貢献の評価、能力、長期的な協力関係を統合し、共同貢献が時間を超えて使用できるリソース、能力、関係を形成する条件と、対応する資本とガバナンスの取り決めが協力をどのようにサポートするかを研究します。 [03]

「ブロックチェーン - ステークホルダー資本主義の基盤テクノロジー」

制度上のテクノロジー、情報と資産、寄付記録、資本形成、株式配分、ガバナンスの進化に至るまで調査を実施します。ブロックチェーンが検証、調整、認可、監督、パフォーマンスをどのように組織するかは、A のテクノロジーと組織の適応、B のルールと能力の蓄積、C、D、E の価値、資本、ガバナンスの問題を通じて実行されます。 [04]

原紙	主な所有権と現在の状況
From shareholder primacy to stakeholder company	E、協会 D. 公的規範の議論と政策の枠組み。
論文 I: ステークホルダーの公平性認識が自発的な貢献行動に及ぼす影響メカニズムに関する研究	E2、B2に関連付けられています。研究計画の草案。実証結果は報告されていない。
論文 II ：ステークホルダーの力と戦略的貢献のミスマッチ下における価値分配メカニズムに関する研究	E2、C2に関連付けられています。研究計画の草案。実証結果は報告されていない。
論文III: ステークホルダーのフィードバックを企業の戦略的行動に変えるプロセスメカニズムに関する研究	B1、A2、E1に関連。研究計画の草案。実証結果は報告されていない。
論文 IV: 利害関係者の協力継続意欲に対する異時点間の利益相反の影響に関する研究	E3;実際に財務状況を測定する場合は、D2 に関連付けられます。研究計画の草案。実証結果は報告されていない。

> 論文は理論的統合を担当し、論文は具体的な実証とテストを担当します。最終草案、出版物、提案された研究計画は個別に記録されます。経験的な結論は、実際のデータと研究レポートに基づいて確認されています。

論文の原文とステータスについては、記事の最後にある [05–09] を参照してください。原稿については、[03–04] を参照してください。

既存の方向性とメソッドの継続的な継承

> 共創 → 貢献確認 → 価値分配 → 公平性とガバナンス → 継続的な協力

このメカニズムチェーンは、ステークホルダーと長期協力の研究に引き続き使用され、主に E と D を結び付け、次に B、C、A の能力、価値観、組織への影響を比較します。これは、一般概要の具体的な解釈パスです。各方向には依然として独自の研究課題があり、テクノロジーと組織の研究は、このチェーンに支援機能を提供することに限定されません。

既存のトピック	主に引き受ける
ステークホルダー企業とキャピタル・ガバナンス	E の権利とガバナンス。 Dの資本条件。そしてBとCの能力と業績との関連性。
貢献の認識と価値の分配	E2 の証拠とインセンティブ。 C2 の価値の獲得。 D の投資とリスクの取り決め。
公平性、信頼、フィードバックの変革	公平性と信頼性が主に E2 に入ります。フィードバック変換は主に B1 に入り、A2 と E1 を接続します。
組織を超えたコラボレーションと信頼できる取り組み	E3 がメインです。実際に資金調達期間と制約が測定に含まれる場合は、D2 と D3 を接続します。
制度的テクノロジーとしてのブロックチェーン	E1、E3、A3 が主なもので、D3 は特定の資本および資本の問題に応じて接続されています。

メソッド資産の分割

既存の蓄積には、理論的な説明、方法、ガバナンスの取り決め、実践的な道筋が含まれていますが、これらは実際の性質に応じて区別する必要があり、すべてをツールと呼ぶことはできません。ステークホルダー資本理論と長期資本関係は、理論的な説明と検証されるメカニズムを保持しています。具体的な手法やソフトウェアが適切かどうかは、研究課題や実際の資料に基づいて判断されます。

生態学的モデルは、参加者と依存関係を描写します。 4方向のSOPは、パフォーマンス、ビジネス、機能、アクションを結び付けます。 AI システムの組織認知および作業テクノロジーの適用と試験運用。ブロックチェーン システム テクノロジーは、共有検証、ルール バージョン、承認、履行を接続します。資本ツールは投資と融資のオプションを比較します。貢献ツールとガバナンス ツールは、事実、レビュー、決定、償還を記録します。

> 各資産の主な所有権を決定し、バージョン、適用範囲、既存の証拠、テスト対象の問題を保持します。同一機種を多方向で使用する場合は、同一項目として蓄積管理されます。

研究の蓄積と学術課題の関係

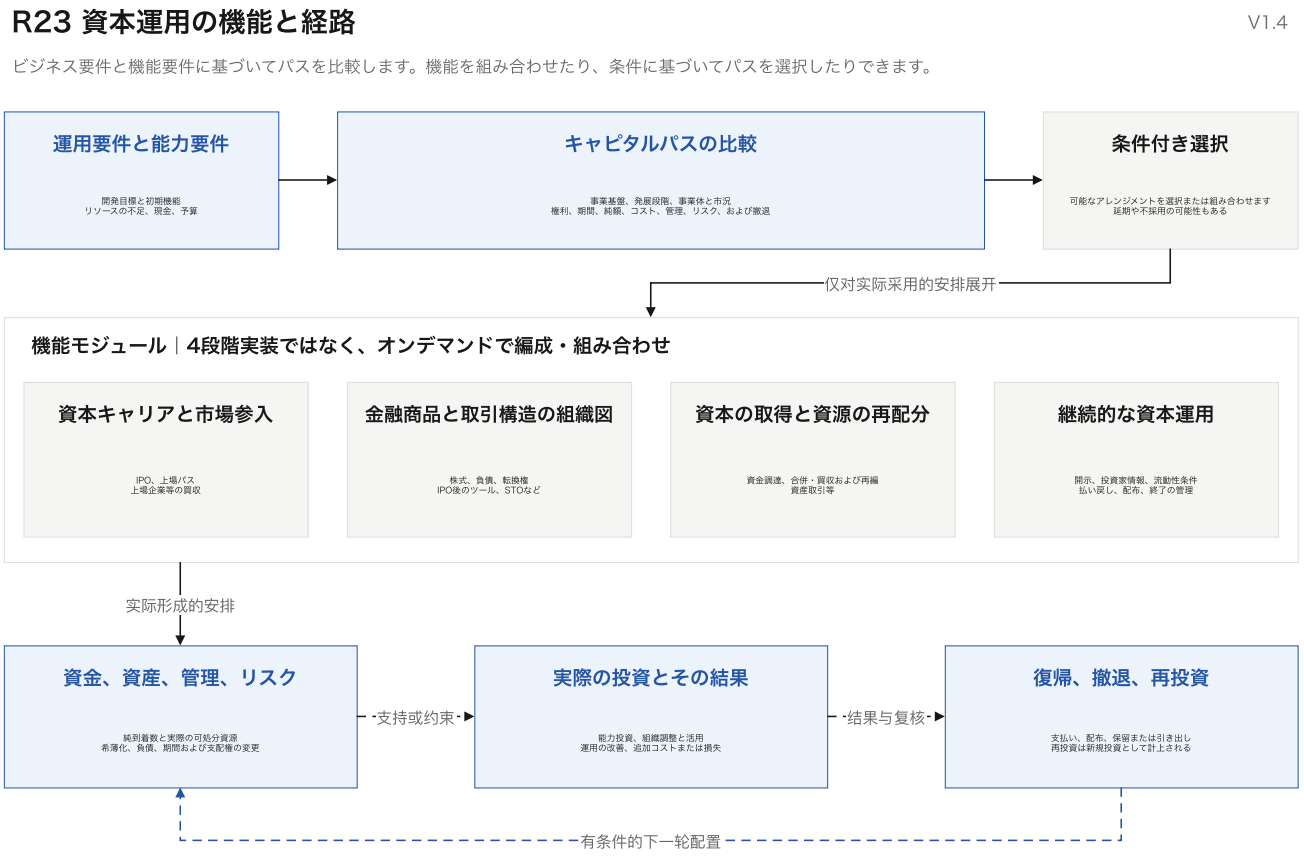
4 方向の SOP および AI システムは、組織および経営陣の変更を研究するために使用されます。資本のメカニズム、経路、ツールは、積極的な資本運用を研究するために使用されます。ステークホルダー資本理論と長期資本勘定は、異時点間の関係とガバナンスを研究するために使用されます。制度的なテクノロジーとして、ブロックチェーンは組織のコラボレーション、寄付の確認、長期口座およびルールの履行に使用でき、証券のトークン化などのキャピタルパスもサポートできます。それによって検証、調整、監督、協力がどのように変化するかを具体的に検討し、主な問題に応じて所有権を決定します。

資本と金融のための共通の分析言語

コンセプト	本研究の観察範囲
リソース	才能、知識、技術、人間関係、その他組織化して動員できる要素。
資産	識別可能な管理または使用境界を持ち、特定の経済的価値を形成するリソースおよび権利。
資本金	将来の利益、およびそれに対応する資本、リスク、利益の関係を中心とした組織の投資。
資金	特定のエンティティが実際に制御および割り当てることができる支払い能力。

4 つの首都の概念は、関連する書籍や包括的な研究から得られたものであり、互いに重複する場合があります。経営分析で参照される資産または資本は、会計上の確認や特定の法的権利とは別にチェックされる必要があります。 [15]

図 R23 · 資本運用の機能とパス



IPO、上場後の商品、STO は組み合わせることができ、連続する必要はありません。上場、発行、取引アクセス、実際の資金調達については別途確認されます。

著者の研究枠組みは概略的である。機能と手順の間の接続は組織図であり、メカニズムの接続をテストする必要があります。

運用ニーズと生産能力のニーズに基づいて資本パスを比較し、資本キャリアと市場参入、ツールと取引構造、資本の取得と再配分、および継続的な資本運用を組み合わせ可能な機能として考慮します。実際のリソースと権利と責任の変更は、入力、結果、レビューを経て、その後の割り当てに反映されます。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 運用と能力の要件により、資本パスの比較が行われます。事業基盤、段階、事業体、市場、権利、期間、純額、コスト、管理、リスク、および撤退条件に基づいて、実現可能な取り決めを選択または組み合わせたり、延期したり採用しない場合があります。実際に採用される取り決めでは、資本キャリアと市場参入、金融商品と取引構造の組織化、資本の取得と資源の再配分、継続的な資本運用の 4 種類の並行機能のみが実行されます。 IPO、上場後ツール、STO は必須の段階ではなく、任意の手段です。能力投資や組織調整を支援または制限するための資金、資産、管理およびリスクの取り決めを実際に形成すると、改善、追加コスト、または損失が発生する可能性があります。結果は、返済、割り当て、保有、またはレビュー後に終了し、条件付きで次の割り当てラウンドに入ります。再投資は新規投資として記録されます。上場、発行、取引へのアクセス、および実際の資金調達については個別に確認されます。

Company Zero の長期経営戦略の 4 資本のロジック

Company Zero は、Shi Yuqiang の「Four Capital Operations」の分析の主軸を利用し、それを魏登飛と結び付けます。読み取り図の最初の写真、4 つの首都間の変革と循環を使用して、資産管理と長期的な運用戦略を説明します。 [67]

> **質の高い資源を継続的に取得→資産を整理・運用→要素と資本を結び付けて配分→資金のリターンフローを形成→資源の獲得・育成・管理に再投資。**

4つの資産	長期的な運営における役割
リソース	持続可能な開発のための基盤を提供し、高品質の資源の収集、取得、育成に重点を置く
資産	適切なリソースを管理可能な価値キャリアに編成し、運用を通じて継続的に価値を創造します
資本金	発展を支援するための資本運用と財政的つながりを利用した組織的な投入、権利および要素の配分
資金	開発、運用、売上高をサポートします。リショアリング後も引き続きリソースと資産管理に割り当てます

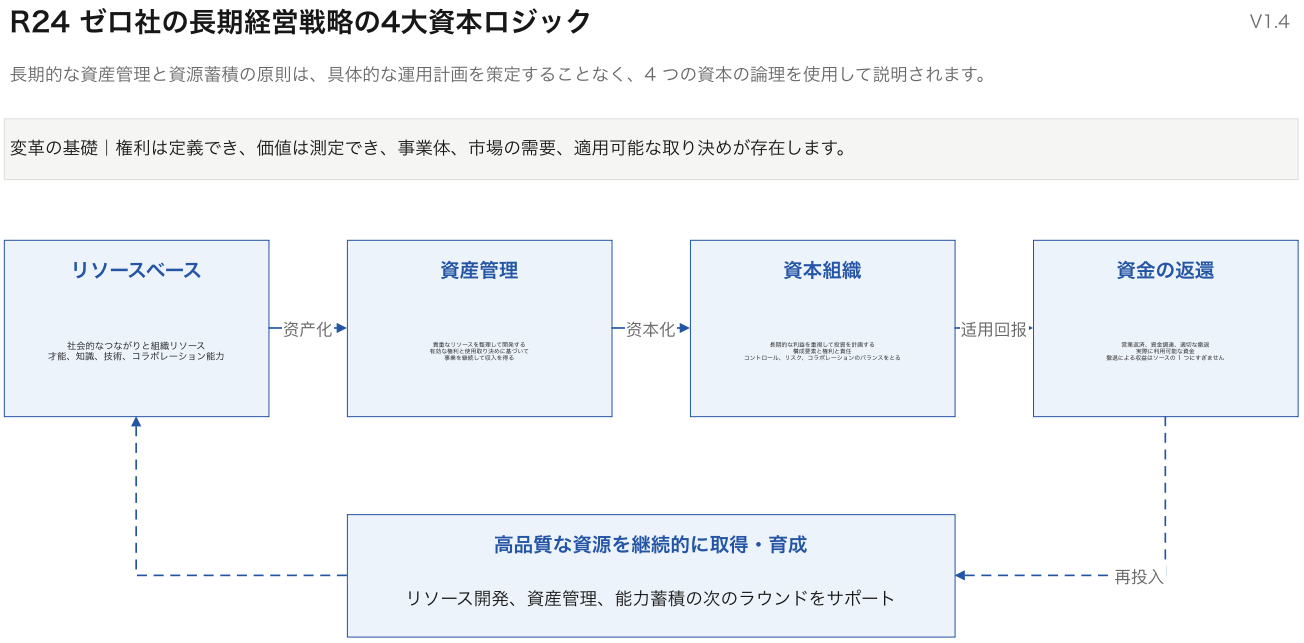
長期運用の原則: リソースをベースに、資産管理を通じて価値を創造し、資本組織によって拡大をサポートし、資本の還元と再投資によって発展を継続します。そして、資本運用や金融商品を通じて高品質のリソースを継続的に取得し、運用においてリソースベース、資産、能力を更新できるようにします。

資金は資源開発、資産管理、取引を通じて使用されます。運営、資金調達、適切な出口はすべて資金をもたらすことができますが、出口リフローは資金源の 1 つにすぎません。資本と事業がどのように相互に支え合うか、また 4 つの資本がどのように変革されるかは、実際の状況によって異なります。

Company Zero は、このフレームワークを使用して資産管理の原則と長期戦略を説明し、「なぜリソースを取得し続けるのか、なぜ資産を運用するのか、資本と資金が次の開発ラウンドをどのようにサポートするのか」を説明します。 Four Capital Framework の出典と Company Zero の適用明細には、それぞれ出典が示されています。このセクションでは、これに基づいて新たな四資本理論を提案するものではありません。

人々と組織の独立したアイデンティティは依然として明確です。リソースの収集と資産管理は、実際のコラボレーションと有効活用を通じて結びつけられます。

図 R24 · Company Zero の長期経営戦略の 4 資本のロジック



Company Zero の長期資産管理の原則は、4 つの資本のロジックで説明されています。リソースベースは、資産管理、資本構成、資本収益を通じて高品質のリソースの継続的な取得と育成をサポートします。資本運用と金融商品が総合的なサポートとして機能します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: これはゼロ社の長期的な経営戦略を説明するための原理図と論理図であり、具体的な経営計画ではありません。リソースベースには、社会的つながり、組織リソース、才能、知識、テクノロジー、および協力能力が含まれます。組織開発と効果的な権利と使用の取り決めを通じて資産管理に参入し、その後、資本組織が、管理、リスク、協力を考慮して、長期収益を中心に投資、要素、権利と責任を割り当てます。運営上の返済、資金調達、および適切な撤退により、実際に利用可能な資金が形成されますが、撤退による収益は資金源の 1 つにすぎません。利用可能な資金は、高品質の資源の取得と育成を継続し、次の資源開発、資産管理、能力蓄積をサポートし、資源ベースに戻すために再投資されます。資本運用と金融商品は、リソース、投入、収益を結び付ける一般的なサポートメカニズムであり、特定のツールやパスを列挙するものではありません。資金は開発、生産、取引を通じて使用され、リソースの取得は最初に終了することを前提としていません。変革には、定義可能な権利、測定可能な価値、運営主体、市場の需要、および適用可能な取り決めが必要です。4 つの資本は、各リソースを自動的にアップグレードする必要があることを意味するものではなく、継続的な付加価値を保証するものでもありません。

ダブルループと4層のレビュー

景気循環: 要件とリソース → 作業と納品 → 使用量とトランザクション → コスト、チャージバック、改善。
資本循環: 投資と権利 → 資本配分 → 収益とリスク → 償還、分配、撤退、再投資。

価値、資本、資本、財務上のつながりの 4 つのレベルに基づいてレビューします。つまり、営業価値が確立されているかどうか、誰が権利を保有しているか、資本がどのように編成されているか、資金と取引にどのようにアクセスしているかです。

9次元の比較

開発段階、投資家の役割、権利の種類、発行の取り決め、一次関係と二次関係、製品または商品、リスク、リターン、登録技術を比較します。各ディメンションを明確に入力し、同じビジネス目標の下で利用可能なパスを比較します。

資金と権利は個別に追跡される

現金、顧客契約、消費者の権利、プロジェクト資産、株式または投資単位の勘定科目は個別に確立されます。営業キャッシュフロー、投資キャッシュフロー、財務キャッシュフローを個別にチェックします。増資は企業に、古株の売却益は売り手に渡されます。収益分配後の再投資は新規投資として計上されます。

> モデル内の事件の金額、割合、期限は、本質的に実証的なものです。資金調達効率では、純額、到着、コスト、希薄化および条件が観察されます。キャッシュアウト効率は、時間、達成可能な価格、コスト、および終了条件を観察します。

資本運用と長期口座の境界

資本市場は研究機関、市場、投資家を結びつけます。ツールと取引構造は、権利、条件、価格設定の根拠、リスクと責任を研究します。継続的な資本運用の調査開示、ガバナンス、返済および撤退。長期資本勘定は、参加者の関係を確認された取決めに結び付け、有価証券勘定、資本勘定および法的権利と個別に調整されます。

リソースや運用能力を投資関係にまとめる際には、管理、使用、利益、責任を個別にチェックする必要があります。時価評価、資産状況、実際の可処分資金を組み合わせて計算することはできません。

WISERUNION アグリゲーションおよびパーソナライゼーション ソリューション

WISERUNION は、製品、サービス、ソリューションの統合集約プラットフォームです。 現在統合されている供給と、将来的にさらに多くのサプライヤーからの供給がすべて揃っています。 wiserunion.com 表示、検索、比較、マッチング、組み合わせを統一。カタログはまず顧客の問題と供給内容ごとに編成され、次にサプライヤー、国、地域にリンクされています。これらの次元は交差する場合があります。

このセクションでは、V1.3 の最終的な運用設計について説明します。既存のポータルをどのように統合・移行するのか、どのような手順で機能構築を行ったのかを実態に合わせて記録します。 [20〜25]

図R25・WISERUNION集合体供給量



著者の研究枠組みを示す。分類と供給マッピング、非排他的な地理的割り当てまたは因果関係の表示

WISERUNION は、P/S/L を統合ディレクトリに集約し、サプライヤーと品目の多対多マッピングを通じて、バージョン、国地域、サービス範囲、責任によって差別化された供給ソリューションを提供します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: WISERUNIONは、個人サイトやプラットフォームからのソースごとにカタログを分割することなく、製品P、サービスS、ソリューションLを統一的に表示、検索、組み合わせます。サプライヤー コレクションには、既存のサプライヤーと後継サプライヤーが含まれます。同じサプライヤーに複数のエントリが存在することも、同じエントリに複数のサプライヤーが存在することもできます。国と地域が重複する場合や、同じ地域に複数のサプライヤーが存在する場合があります。同じエントリで、バージョン、国、地域、範囲、責任によって区別された複数の供給計画を形成できます。個人の Web サイト、WiserAsset、およびその他の機関は、研究知識のソースやサプライヤーのポータルとして使用できますが、その情報源はサプライヤー、請負業者、配達業者と同等ではありません。プラットフォームは集約を担当します。特定のプロジェクトでは、計画、契約の署名、実装、運用、およびサポートの責任が明確に定義されます。

統合されたアグリゲーションとマルチベンダー プロビジョニング

レベル	コンテンツを整理する	他のレベルとの関係
統合されたディレクトリ	製品P、サービスS、ソリューションLの内容、目的、オプション機能	元の個人 Web サイトや他の Web サイトに従ってディレクトリを分割しないでください。知識、バージョン、結果のソースを保持する

レベル	コンテンツを整理する	他のレベルとの関係
サプライヤーネットワーク	現在および今後の製品、サービス、ソリューションのプロバイダー	同じアイテムを複数のサプライヤーが提供することも、単一のサプライヤーが複数のアイテムを提供することもできます。
全国および地域の供給	特定の国または地域における各サプライヤーのサービス範囲、バージョン、納品条件およびサポート	同じ地域に複数のサプライヤーが存在する可能性があり、同じサプライヤーが複数の地域をカバーすることもできます。実際の供給計画に基づいて補償範囲と責任を明確化
クライアントとプロジェクトの手配	特定の顧客の目標、現在の状況、実際のエリアに基づいて供給品を選択し、配送を手配します	完全なサプライヤー ソリューションから選択するか、サプライヤー全体の製品とサービスを組み合わせてパーソナライズされた手配を作成します

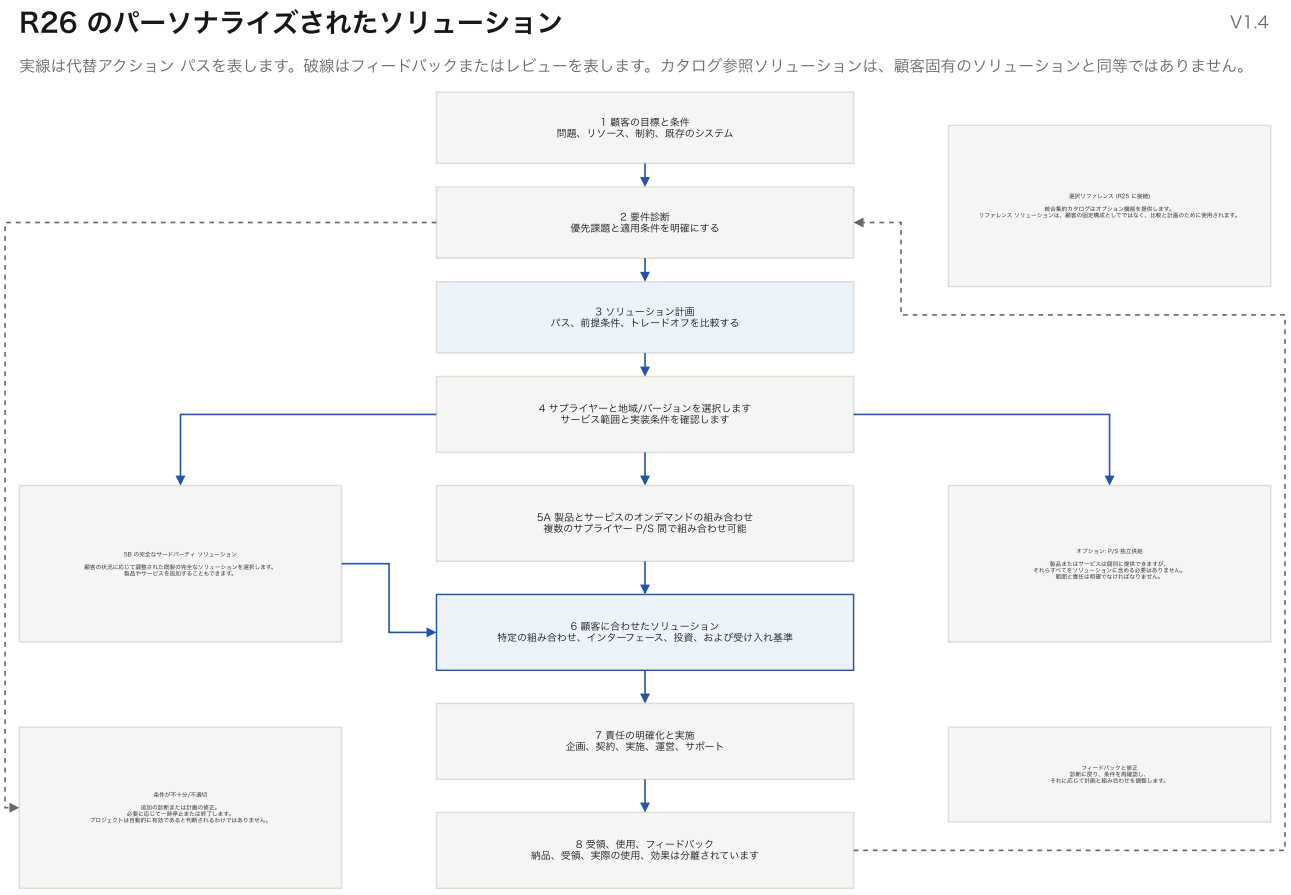
同じ製品、サービス、またはソリューションに複数のサプライヤーが存在する場合や、異なる国や地域向けの供給ソリューションが存在する場合があります。名称が同じでも、機能、バージョン、サポート、サービス範囲が異なる場合があります。実際の内容に応じて、関連付けて比較します。該当する条件が満たされた場合にのみ、交換可能なオプションとしてリストされます。

製品、サービス、ソリューション

レベル	定義	集約と配信における役割
P/製品	選択可能で再利用可能なナレッジプロダクト、ツール、ソフトウェア、システム、アプリケーション、プラットフォームおよび関連アカウント、ルール実行またはインターフェース機能	個別に提供することも、さまざまなソリューションに参加するために別のサプライヤーから適用可能なバージョンを提供することもできます。
S/サービス	人や組織が担う診断、調査、計画、設計、調整、実装、訓練、運用、サポート	顧客のニーズに応じて、単独で提供することも、製品、他のサービス、完全なソリューションと組み合わせて提供することもできます
L/ソリューション	需要の診断と計画の後、特定の顧客またはプロジェクトに合わせて、必要に応じて複数の製品とサービスを組み合わせて、パーソナライズされた取り決めが形成されます。	サプライヤーの完全なソリューションに基づいて適応させることも、サプライヤー全体で計画することもできます。問題、目標、組み合わせロジック、責任者、実装、納品、受け入れを明確にする

ソリューションプランニング自体がプロフェッショナルサービスであり、作成されるソリューションは特定の顧客に対応する必要があります。サプライヤーの参照計画または完全な計画に基づいて計画を続行し、選択、地域、バージョン、役割、リソース、および納品条件を明確にすることができます。

図 R26 · パーソナライズされたソリューション



顧客の目標と条件から出発し、診断、計画、供給品の選択を行った後、P/Sを組み合わせるか、完全なサードパーティのソリューションを適応させて、顧客固有の計画を作成し、責任を明確にします。受け入れと実際の使用からのフィードバックに基づいて改訂されています。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 顧客の目標とリソースの制約は、需要診断に基づいて、次にソリューション計画に組み込まれます。代替パス、主要な前提条件、トレードオフを比較した後、サプライヤー、地域、バージョンを選択し、範囲条件を確認します。複数のサプライヤーの製品とサービスをオンデマンドで組み合わせたり、完全なサードパーティ ソリューションを選択して顧客に応じて P/S を調整および補完したりできます。どちらのパスでも、顧客固有のソリューションを形成できます。この計画では、組み合わせインターフェイス、投資および受け入れ基準を明確に定義し、明確な計画、契約の署名、実装、運用およびサポートの責任に従って実装されます。納品、受領、実際の使用と効果を区別し、診断と計画の修正にフィードバックします。 P/SはLを形成せずに独立して供給することもでき、責任も明確です。診断の結果、条件が不十分または不適当と判断された場合には、診断の補足または計画の修正を行い、必要に応じて中止または中止します。統合カタログおよびカタログ参照プランは、選択計画にのみ使用され、顧客にとって固定された構成ではありません。

ニーズから個別のソリューションまで

> **顧客の目標と条件 → 需要診断 → ソリューション計画 → サプライヤーと該当する地域とバージョンの選択 → 必要に応じて複数の製品とサービスを組み合わせる → パーソナライズされたソリューションを形成 → 責任を明確にし、受け入れを実施 → 使用、フィードバック、継続的改善。**

リンク	主な仕事と商品
要件診断	クライアントやプロジェクトの問題、目標、国、地域、運営基盤、リソース、制約を理解し、何を優先すべきかを明確にする
ソリューションプランニング	研究、理論、モデル、方法を使用してパスを比較し、目標、重要な前提、適用可能な条件、選択の根拠を明確にします。
供給品の選択と組み合わせ	対応する製品、サービス、または完全なソリューションを選択し、サプライヤー、バージョン、地域範囲、インターフェイス、依存関係、サポートを比較し、複数の関係者によるコラボレーションを組織します。
パーソナライズされたソリューションを形成する	目標、ポートフォリオ構造、役割と責任、入力、実装、提供、受領、その後のメンテナンスをプロジェクトの完全な取り決めに整理します。
実装、使用、改善	すべての関係者に対する明確な計画、契約署名、実装、調整、運用およびサポートを行い、受け入れと実際の使用に基づいて組み合わせと作業方法を調整します。

知識源、プラットフォーム、実際のプロバイダー

個人的な研究プラットフォーム weitengfei.com（yutengfei.com) 研究、論文、書籍、方法、結果を蓄積し続ける。 Wiser Asset およびその他のプラットフォーム、機関、および専門団体は、製品、サービス、テクノロジー、またはコラボレーション機能を提供できます。関連するサプライ品は WISERUNION 集約システムに統合されます。

知識と結果がどこから来たのか、どのプラットフォームに表示されるのか、誰が提供するのか、誰が契約するのか、そして誰が実際に提供するのかを個別に記録する必要があります。既存の Web サイトとプラットフォームは、研究、ソフトウェアの表示、配信、または専門的な仕事の入り口として引き続き機能します。WISERUNION は組織の供給カタログとマッチング関係を統合し、具体的な責任はプロジェクトごとに定義されます。

ソリューションカタログの役割

既存の 10 種類の解決策の方向性は、まず、適用可能な問題、考えられるパス、およびオプションのコンポーネントをリストした統合カタログのリファレンスを提供します。他の分野やサプライヤーからのソリューションを後で追加することもできます。特定の顧客向けのソリューションは、診断と計画を通じて決定する必要があります。カタログは、すべての顧客向けの固定構成として直接見なすことはできません。

ユーザー価値と参加貢献度を個別に評価

配信および使用価値は、目標、契約、および実際に使用された材料に基づいて、顧客または内部ユーザーによって評価されます。参加貢献は、役割タスク、入力結果、および適用されるルールに基づいて、権限を与えら

れた主体によってレビューされます。 2 つのプロセスは、プロジェクト、成果、およびバージョンの識別子を共有し、それぞれ結論と反対意見を保持し、それらを長期的なアカウント、特定の権利と責任、およびパフォーマンスに関連付けます。図R20。

実践はどのようにして研究に還元されるのでしょうか?

集約、選択、組み合わせから、配送とその後の使用に至るまで、サプライヤーの依存性、地域の差別化、顧客価値、生産能力の維持、資本の取り決め、長期的な協力関係を具体的に観察できます。 WISERUNION がプラットフォームとしてどのような組織的役割を果たしているか、また各サプライヤーがそれをどのように提供し実装しているかは、個別に特定する必要があります。

Company Zero は、学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの側面で実践を組織しています。学術形成の方向性と理論、コミュニティはステークホルダーの基本的なアイデンティティと共同構築を引き受け、リソースは社会的つながりと組織を結び付け、ビジネスは製品、サービス、個別化されたソリューションの収益性を実現し、資本はリソースの取得、投資、収益、および4つの資本サイクルをサポートします。 5 つの次元の実際の結果は、A ～ E の各研究方向に継続的にフィードバックされます。 Company Zero、顧客、サプライヤーのインプット、権利、実績はそれぞれに帰属します。

ポリマー製品カタログと研究事業

WISERUNION の統一ポリマー製品供給。次に、既存の 7 つの技術製品カテゴリが研究課題にマッピングされ、解決策の参照を容易にするために P01 ～ P07 番号が保持されます。サプライヤーと国および地域の供給計画も関連しています。具体的なバージョン、構成、使用範囲は実際のプロジェクトに応じて記録されます。[22]

製品	主な公開能力と研究所属
P01・WBS仲介プラットフォーム	証券口座、ポジション、注文、証券接続プロセス。 **主に：D2、D3。 E1に関連付けられています。**
P02・オミンマーケット取引プラットフォーム	デジタル証券へのアクセス、取引構成、口座ウォレットおよび市場記録。 **プライマリー: D3;関連するE1。**
P03 · AssetX流動性テクノロジーシステム	アセットの接続、参加インセンティブ、貢献記録、およびシステム インターフェイス。 **主に：D3、E2。 E3関連。**
P04 · エンタープライズ向けにカスタマイズされた STO およびデジタル アセット DApp システム	ブランドクライアント、権利表示、ルール権限、ビジネスインターフェース。 **主に：A2、A3、E1。 D3と関連付けられています。**
P05 · エンタープライズステークホルダーウォレットとガバナンスプラットフォーム	役割アカウント、貢献記録、権利表示、および承認されたコラボレーション。 **主に：E1、E2、E3。 B1と関連付けられています。**
P06・企業提携カードとカードプロジェクト管理	ブランドの入り口、カードと役割の権利、パートナーのインターフェースと記録。 **主にC1、E2、E3。**
P07・デジタルビジネスSaaSと越境ECプラットフォーム	ブランドモール、商品注文、顧客ポイント、チャネル、稼働データ。 **主に：C1、C3。 A2、E3関連。**

技術力と研究目的

システム アクセスにより、プロセス、権限、コラボレーションの変更の実装条件が提供されます。実際のユーザー、タスク カバレッジ、ルール バージョン、およびインターフェイスの依存関係には「A」と入力します。使用中の知識とメンテナンスは B と入力します。顧客の行動は C に入ります。資本条件は D に入ります。権利履行は E に入ります。

> 製品カタログには、製品の選択と納品方法が記載されています。機能の表示、アクセスの準備、実際の展開、および継続的な運用は個別に登録されます。 AIが特定の業務に参入するかどうかは、業務の事実に基づいて判断されます。

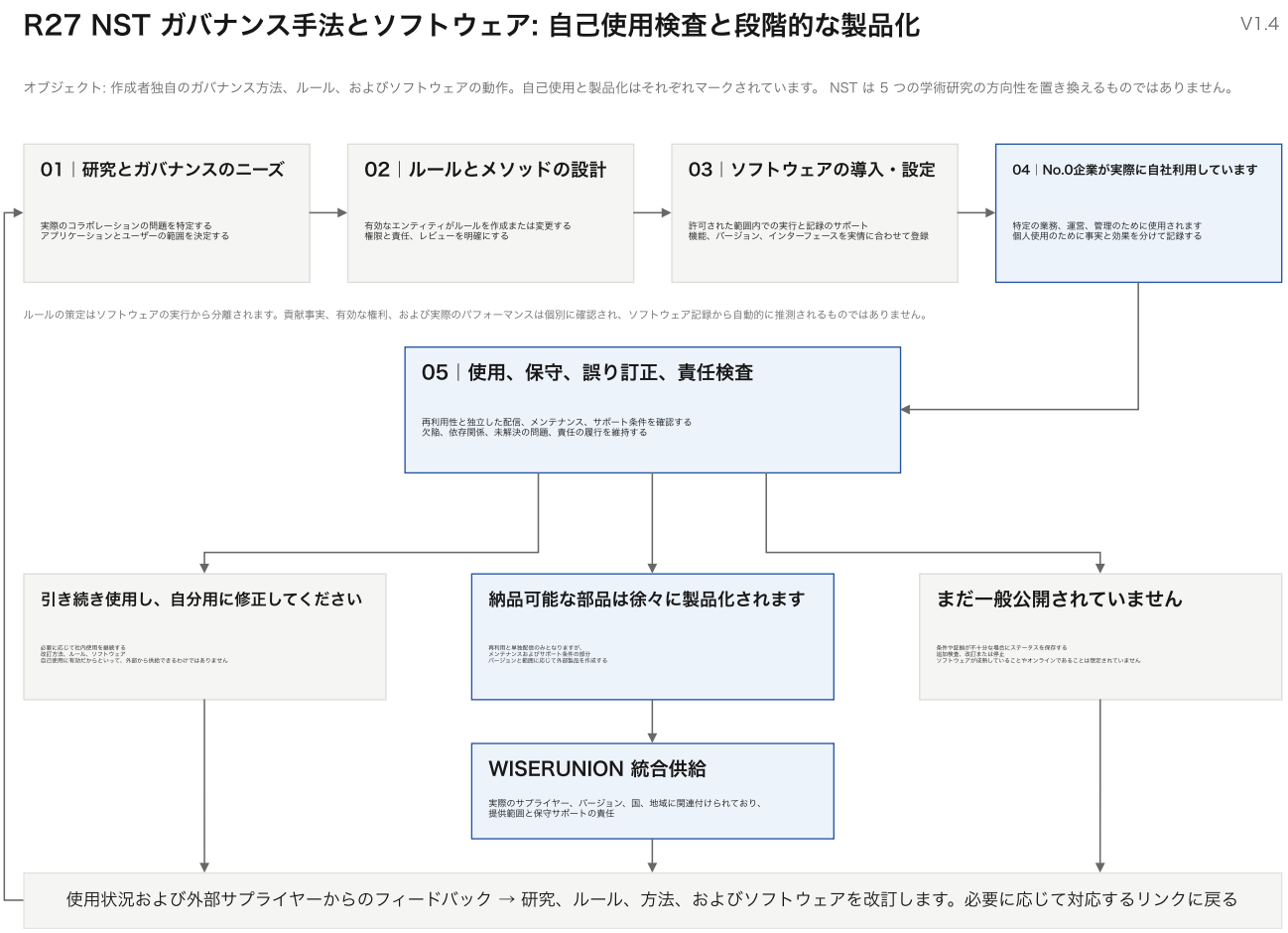
パーソナライズされたソリューションでの使用

計画時には、製品カタログから必要な機能を選択できます。具体的な選択、構成、インターフェイス、および組み合わせは、顧客の問題、既存の条件、および実際の納品に基づいて決定する必要があります。同じ製品をさまざまなパーソナライズされたソリューションに使用できます。

NST管理手法とソフトウェア：まずは自社使用検査、その後段階的に製品化

NST は、作成者の既存のガバナンス方法、ルール、およびソフトウェア作品のタイトルに従います。これは研究マスタープラン全体に相当するものではなく、また 5 つの学術研究の方向性 A ～ E に代わるものでもありません。具体的な機能、実装方法、進捗状況は実際の資料やバージョン記録に準じます。

図 R27 · NST ガバナンス手法とソフトウェア: 自己使用検査と段階的な製品化



著者独自の NST 管理手法とソフトウェアは、まず Company Zero によって実際に使用され、使用、保守、エラー修正、および責任の実装に応じてテストされます。独自の納入条件を満たした部品は段階的に製品化され、WISERUNION に供給されます。これらは引き続き使用、修正、または一時的に公開できないことが許可されています。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 研究とガバナンスのニーズから出発して、効果的な主体はルールと設計方法を策定または変更します。ソフトウェアの実装または構成は、承認内の実行と記録をサポートし、最初はカンパニーゼロの特定の運用、運用、管理に使用されます。実際に使用した後は、保守、エラー修正、責任の履行、再利用および独自納品、保守、サポートの条件を確認してください。自己利用と製品化に分けて状況を記録します。自己使用のために継続して修正したり、認定された部分をバージョンや範囲に応じて段階的に外部製品として形成したり、条件や証拠が不十分な場合には一時的に公開しないこともできます。製品化部分はWISERUNIONを通じて一律に供給され、実際のサプライヤー、バージョン、国地域、納入範囲、保守サポート責任に関連します。内部使用および実際の外部供給における問題とフィードバックは、研究、ルール、方法、およびソフトウェアに修正され、必要に応じて対応するリンクに戻ります。貢献の事実、有効な権利、および実際のパフォーマンスは個別に確認され、ソフトウェア記録から自動的に推測されるものではありません。このパスは作成者自身の管理作業用であり、カタログ内のすべてのサプライヤー製品が最初に Company Zero によって使用される必要はありません。 NST は研究マスタープランに相当するものではなく、5 つの方向に代わるものではなく、

成熟したソフトウェア、オンライン、またはイラストに基づいて権利利益が形成されたものであるとは認められません。

著者自身のガバナンス手法とソフトウェアについては、まず Company Zero の実際の調査とガバナンス ニーズに基づいてルールと手法を設計し、次に特定の運用、運用、管理用にソフトウェアを実装または構成します。ルールは、効果的な取り決めに基づいて権限を与えられた主体によって策定または変更されます。ソフトウェアは、許可の範囲内での実行と記録をサポートします。貢献の事実、有効な権利および実際のパフォーマンスは個別に確認され、ソフトウェア記録が自動的に資本またはその他の権利利益を形成するものではありません。

社内で使用した後も、引き続き使用、保守、エラー修正、責任の履行を確認し、どの部品が再利用できるか、どの部品が独自の納品、保守、サポートの条件を備えているかを確認します。ステータスは個人使用と製品化に分けて記録されます。継続して使用および修正することも、バージョンや適用範囲に応じて認定部品を段階的に外部製品として形成することもできます。条件や証拠が不十分な場合は、一時的に公開しないことが認められます。メソッド名、ソフトウェアの実装、または内部の使用記録があるからといって、ソフトウェアが成熟しているか、すでに発売されているか、または外部関係者に配信できる機能があることを意味するものではありません。

外部供給部分を形成し、WISERUNION 統合集約ディレクトリに入り、実際のサプライヤー、バージョン、国地域、納入範囲、およびメンテナンス サポート責任を関連付けます。内部使用および実際の外部供給における問題、コスト、経験および責任に関するフィードバックにより、手法、ソフトウェア、および関連研究の改訂が継続されます。この道は、著者自身の NST 管理業務を目的としています。 Company Zero がすべてのサプライヤーまたはカタログ内のすべての製品を使用する必要はありません。また、複数のサプライヤー、複数の国と地域、および需要に基づいた組み合わせ供給の原則も変更しません。

図 R27 は、上記の演算プロセス、条件分岐、フィードバック関係を示すために使用されます。これは、各リンクが実装されたこと、または各製品が順番に次の段階に進まなければならないことを意味するものではありません。実際の自社使用、検査、製品化、外部供給状況を個別に登録します。

この自己利用・段階的製品化路線は、従来の0号会社の運営コンセプトを継承しており、具体的な進捗状況は実物資料に基づいて登録されています。 [31]

知識と方法の製品

書籍の原稿、研究ツール、トレーニング資料、シンクタンクのリソースやスキルなどの知識およびメソッド製品も、実際の供給状況に基づいて統合製品カタログに入力できます。公開知識、手法の紹介、利用可能なツール、および納品に同意した製品は個別に識別され、ソース、バージョン、使用範囲、およびメンテナンス記録が保持されます。 [03、04、28]

製品アイテムと供給計画

カタログには製品の用途と機能が説明されており、具体的な供給計画にはサプライヤー、バージョン、国地域、納入範囲、インターフェース、サポートが明確に記載されています。同じ品目に複数の供給計画を持つことができ、新しいサプライヤーと新しい製品を継続的に追加できます。製品が統合カタログに掲載された後も、特定の知識や技術のソースを見つける必要があります。

統合されたサービスカタログと調査事業

既存の戦略、資本、ブランド、および WISERUNION プロフェッショナル サービスは同じサービス カタログに統合され、WISERUNION 内で統一的に表示されます。以下は顧客の問題と専門的な作業に従ってグループ化されており、元のコンテンツの検索を容易にするために既存の名前が保持されています。選定の際は、類似名称や範囲の重複を確認し、具体的な業務内容に応じてサプライヤーをマッチングしてください。 [20、23]

サービスグループ	既存の統合コンテンツ	主な研究内容
戦略、運営、ガバナンス	トップレベルの戦略計画サービス。戦略的診断と事業計画。ビジネスおよび経済モデルの設計。ステークホルダーのガバナンス設計	座標A〜E。ビジネス目標、組織、ガバナンスの問題に基づいて主な所有権を決定する
産業資本、資金調達および資本戦略	戦略と産業資本化。国際金融と長期的価値。資金調達および資本運用コンサルティング。デジタル金融とグローバルリンク	D1 〜 D3、E の関連する権利と責任
IPO、M&A、証券化	上場と合併と買収。上場計画と上場主体の買収。 STO構造の設計と発行の実装	D1-D3;エンティティ、資産、トランザクション、制御および運用入力を観察する
流動性と投資家向け広報活動	流動性構築と市場価値管理のサポート。投資家向け広報活動と資本ドッキング	D2、D3;開示協力と責任のつながり E
専門的な調整と技術的な実装	コンプライアンスと専門機関との調整。技術的な相談とカスタマイズの実装。取引所リストと通貨ドッキング	A2、A3、D3、E3
製品、ブランド、市場	商品企画サービス;ブランド企画サービス。視覚表現サービス。ブランドとマーケティングのプロモーション	C1-C3;提供と知識保持の関係 A2、B1
知識、訓練、生態学的活動	志興個人ナレッジステーション。新しい金融教育と管理トレーニング。コミュニティと産業の生態学的運営。プラットフォームの運用保守と顧客サポート	B1—B3、C1、E3
国際展開と海外事業	企業の海外展開・海外展開支援	C1、C2、D1、地域を越えた組織のコラボレーションを結び付ける

サービス名は、実行される作業を説明するのに役立ちますが、重複しない結果の数を計算するために直接使用することはできません。合併するかどうかは、サービスの範囲、製品、および責任によって異なります。古い名前は検索エイリアスまたはスコープの説明として保持できますが、古いディレクトリの数を直接追加することはできません。製品およびサービスの計画は、それぞれの作業範囲を維持します。広範な合併、買収、組織再編、業務統合についても、上場企業から個別の指示を受けます。

サービス カタログは引き続き公開されており、後続のサプライヤーは、さまざまな国、言語、範囲、配送条件で新しい機能を追加したり、既存のサービスの供給ソリューションを提供したりできます。

計画、ポートフォリオ、責任

お客様は、ソリューション計画を通じて単一のサービスを選択するか、複数のサービスと製品を組み合わせることができます。誰がそれを提供するのか、どれくらいの量で行われるのか、どのように提供され協力されるのか、どのように受け入れられるのか、そして誰がそれをサポートしフォローアップの責任を負うのか、すべては実際のプロジェクトに基づいて明らかになります。同じサービスが異なるサプライヤーによって提供される場合があります。プラットフォームに表示されているからといって、プラットフォーム自体によって配信する必要があるというわけではありません。

手法の基礎と研究資料

診断と計画には、シンクタンク、原稿、ツール、スキル、貢献レビュー、プロジェクト証拠台帳、ブランド資料を使用できます。最初の質問、オプションの比較、製品、書面による承諾、変更、実際の使用およびフォローアップのサポートを記録し、計画が何を行ったのか、何が実施されたのか、どのような効果が達成されたのかを評価する必要があります。

教育と科学研究および応用の関係

教育は、適切な研究結果を人々が理解し、学び、活用できるように明確に説明する必要があります。原稿、ガイド、コース、トレーニング、ツールの説明を実際のタスクに関連付けることができます。コミュニティ学習、専門リソース、ビジネス サービスは、必要に応じてそれらを利用するのに役立ちます。理解できないこと、それを実際に適用する方法、およびその効果を勉強するために持ち帰ってください。教育は既存の 5 つの次元によって共同で行われており、その変容関係は次のように見ることができます。図R22。

サプライヤー、全国地域および責任組織

集約システムは、供給の内容と実際に誰が供給するかを個別に管理する必要があります。同じ製品、サービス、またはソリューションを複数のサプライヤー、複数の国や地域に関連付けることができます。同じサプライヤーが複数の地域にわたって複数の種類の供給品を提供することもできます。

多対多の供給関係

オブジェクト	記録内容	接続方法
ディレクトリエントリ	安定性の識別、P/S/L タイプ、顧客の問題、機能または作業範囲、知識およびバージョン ソース	1 つ以上の供給オプションを関連付け、内容ごとに類似、代替、または組み合わせた関係を比較します。
サプライヤー	実際の組織、所在地、専門能力、供給役割、連絡先、責任範囲	複数のアイテムを提供することも、他のサプライヤーと協力して同じアイテムまたは顧客プランを提供することもできます。所在地とサービス可能エリアは別々に記録されます
国と地域	サービス可能地域、言語、対象バージョン、配信・サポート条件	供給計画の対象範囲として、1 サイト 1 ビジネスの関係を形成することは必須ではありません。

オブジェクト	記録内容	接続方法
具体的な供給計画	品目、サプライヤー、国、バージョン、範囲、納期、サポートおよび対応条件	何を誰がどのような条件で提供するのかを説明します。同じアイテムに対して複数の同等の供給オプションが存在する可能性があります
顧客に合わせたソリューション	顧客の目的、選択した供給品とサプライヤー、組み合わせの根拠、役割と責任、実装と受け入れ	完全なソリューションを採用して適応させることも、サプライヤーや地域全体で製品とサービスを組み合わせることができます。

集約と配信の責任

WISERUNION は、カタログのプレゼンテーション、ニーズのマッチング、ソリューションのキュレーション、コラボレーションを企画します。プラットフォームが実行する特定の作業とサプライヤーが実行する特定の作業は、プロジェクト契約に従って確認されるものとします。計画、契約、納品、運用サポートを同じ組織が担当することも、作業を分割することもできます。

サプライヤーの供給元、供給能力、適用地域および責任は真実であり、検証可能でなければなりません。参照カタログ、在庫状況、実際の取引、納品の受領、および継続的な操作を個別に記録する必要があります。製品の機能、権利、または納品に大きな違いがある場合、それらは独立したエントリのままにし、代替または組み合わせの関係を示すことができます。名前や機能が似ているという理由だけで統合することはできません。供給関係が変化した場合、該当するバージョンと顧客プロジェクトのフォローアップの取り決めも保持する必要があります。

研究する価値

集計手法は、A3 の外部依存関係と境界、B3 の機能移行、C の顧客価値と比較オプション、D のリソースと資本の状況、および E の組織を越えたコミットメントと履行に関する観察オブジェクトを提供します。

異なるサプライヤーや地域の取り決めを比較する場合、顧客の条件、選択の理由、タスクの違い、追加投資、サービス範囲を記録する必要があります。サプライヤーや地域の選択によって生じる差異を、そのまま特定の技術の効果として解釈することはできません。

ソリューションの参照方向: 資本経路と市場接続

次の 6 種類のソリューションの指示は、パーソナライズされた計画の参照用に WISERUNION 統合集約ディレクトリに配置されます。各方向は、さまざまなサプライヤーおよび国地域からの特定の供給品に関連付けることができます。特定の顧客に対しては、プロジェクト、業界、キャピタルキャリア、市況に応じて製品やサービスを組み合わせ、適用条件や納品内容を明確にします。 [21、24]

L01・プロジェクトSTO

プロジェクトの資本、証券構造、既存のテクノロジー、ビジネス モデル、産業リソースに関する導入準備を評価します。

実施された研究: D1—D3、関連 E. 開発段階、資金の使用および権利構造が、プロジェクトへのその後の投資にどのような影響を与えるかを観察します。

L02・産業用STO

成熟産業の経営・資産・連携関係を整理し、適切な資本構成や連携推進を検討します。

実施された研究: D、関連する E3。業界統合の範囲、資産境界、複数当事者による投資、リスク協定を比較します。

L03 · 独立大文字 STO

資本プラットフォームの取得と管理の取り決め、進行中の投資、ガバナンスと運営条件を比較します。

実施された研究: D1、D3。自社所有プラットフォームと外部協力のコスト、制御、運用上の適応を調査します。

L04・上場企業STO

既存の上場企業とガバナンスに基づいて、証券関係、資本運用、投資家とのコミュニケーションを評価します。

実施された研究: D2、D3。資本の取り決め、情報、実際の運用インプットの間の関係を追跡します。

L05・証券流動性構築計画

WBS、Omin Market、AssetX、その他のテクノロジーを流動性や投資家向け広報活動と組み合わせます。

実施された研究: D2、D3。アクセスの完了、市場状況、資本コスト、企業の実際の資金調達をそれぞれ観察します。

L06 · 取引所上場と 3 か月のインキュベーション プラン

テクノロジーのドッキング、専門的な調整、ブランドコミュニティおよびステージ運営を組織します。 3か月はインキュベーションサービス期間です。

実施された研究: D3、E3 に関連付けられています。準備、上場の決定、業務の実行、およびその後の結果を区別します。

カタログ名と研究の進歩

この項は既存の事業計画の名称をそのまま残しており、そこに記載されているサービス期間は本検討の実施期間とはなりません。キャピタルパスは実態に基づいて比較する必要があり、研究の進歩は上場、発行、上場、STOの完了を前提とするものではありません。

ソリューションの参照方向: デジタル運用と連携

ビジネスおよびコラボレーション計画の参照用に、次の 4 種類のソリューションの方向性が WISERUNION 統合集約ディレクトリに配置されます。特定の製品、サービス、および完全なソリューションは、さまざまなサプライヤーや国地域から提供される場合があります。顧客の役割、権利、プラットフォーム、および動作条件に基づいて製品とサービスを選択および組み合わせて、パーソナライズされたソリューションを形成します。研究の帰属は依然として主要な問題に基づいて決定されます。 [21、24]

L07・上場企業ステークホルダーウォレットと提携カードソリューション

エンタープライズウォレット、ロール権限、カードプロジェクトインターフェイス、ルール設定、継続的運用を組み合わせます。

実施された研究: E1 〜 E3、C1 に関連付けられています。アカウントと特典の取り決めが顧客の利用状況、エンゲージメント、エンゲージメントにどのように変化するかを比較します。

L08 · ステークホルダーのデジタル ガバナンス ソリューション

ガバナンス設計、インセンティブ モデル、ソフトウェア構成とエコロジー運用、組織への貢献、権利と意思決定権限を組み合わせたもの。

実施された研究: E、アソシエート A2、B1。独立したレビュー、規則の施行、および異議申し立ての手順が配分と再投資に影響を与えるかどうかを調査します。

L09 · デジタル ビジネスのグローバル化と資本化ソリューション

デジタル ビジネス プラットフォーム、ブランド チャネル、海外事業、専門的な調整を組み合わせて、条件に基づいて資本経路を検討します。

実施された研究: C、従業員 A、B、D。まず需要、契約履行、支払い、業務を観察し、次に財政的サポートと能力の蓄積を分析します。

L10・Web3エコロジープラットフォーム構築・運用計画

候補ソリューションとプロジェクト確立のベースラインとして、モデル、DApp、契約、バックエンド、検証、運用の引き継ぎを整理します。

実施された研究: A、E、プロジェクトごとにB、C、Dを接続します。特定のシナリオにおけるテクノロジーの選択、権利ルール、および進行中の運用を比較します。

企画時の組み合わせ

以下はオプションのコンポーネントのみを示しており、特定の項目では製品やサービスを追加、置換、または調整できます。

P05 エンタープライズウォレット + ガバナンス設計およびその他のサービス → パーソナライズされたデジタル ガバナンス ソリューション。 P07 デジタルビジネスプラットフォーム＋ブランド、海外事業等→パーソナライズされたデジタルビジネス海外ソリューション。 証券・資産システム＋資本アドバイザリー・IR等→顧客の状況に応じた資本・市場ソリューション。

> ソリューションの方向性の 10 のカテゴリは、WISERUNION の統合集約カタログの既存のリファレンスとして機能し、サプライヤーやサプライヤーによって後で拡張できます。特定の顧客への提供は、診断と計画に基づいてカスタマイズされます。システム機能、専門的アクセス、有効な権利、実際の資金および運用結果が個別にチェックされます。

ゼロ社の実践推進条件

Company Zero は、科学研究成果の全体的な実践的伝達者であり、長期的研究の主要主題です。研究と実際の運用は相互に促進し合います。学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の5つの側面を通じて、組織の方向性、参加者のアイデンティティ、人材と組織のリソース、営利事業と資本の配分に関する研究を実施し、実際のプロセスと結果を研究に持ち帰ります。どのステップを達成するかは、条件、証拠、結果によって決まり、決まった期限はありません。以下のリンクは、実際の状況に応じて並列、繰り返し、範囲の縮小、または停止することができます。

プロモーションリンク	ゼロ社の研究と実務	参入または継続の根拠
科学的研究の結果を実際的な取り決めに変換する	どの研究結果が採用されるか、どのビジネス上の決定、組織ルール、製品、サービス、資本提携がどのような形に変換されるかを明確に特定します。適用される条件、予想されるメカニズム、調整基準を記録する	結果は実際の問題と一致しており、実装対象、責任者、リソース、観察範囲が明確です
研究対象と測定の準備	独自の実際のタスク、ビジネス チェーン、または協力関係を選択し、オブジェクト、権限、データ、結果のユーザー、および比較の取り決めを明確にします。	目的と範囲が明確で、入力と結果を追跡でき、必要な記録とレビューの条件が整備されています。
5次元操作と実践的なフィードバック	入力、使用、結果、改訂を追跡し、学術製品、コミュニティと共同建設、人々と機関の間のつながり、商業的納品と資本問題にわたる研究課題を関連付けます	実際の作業と検証可能な記録があり、運用結果、被験者の所有権、研究の説明を区別できます。
組織と実行メカニズムの比較	AI、プロセス、認可、引き継ぎ、知識維持の取り決めを比較し、組織能力と実行能力の変化を観察する	ベースラインタスクと同等のタスクを利用して、テクノロジー、組織配置、追加労働力を区別できます。
能力維持と資本運用の観察	交換、工具、メンテナンス後のパフォーマンスをチェックします。実際の予算、資本経路、資金調達条件、投資決定を追跡する	使用法とその後のパフォーマンスを取得する能力。実際の意思決定の際に、資金、資産、管理、リスクの変化を記録する
長期資本勘定と協同組合のガバナンスの検討	実際の関係と有効な契約において、アイデンティティ、投資、貢献のレビュー、権利と責任、パフォーマンスとその後の投資を追跡します。	ルールと権限が明確で、確認根拠が検討でき、設計、権利利益の設定と現実の実現が区別できる
レビュー、統合、新しい問題	さまざまなタスク、プロセス、または関係をレビューし、不利な結果を比較し、モデル、手法、研究範囲を更新します。	未解決の代替説明、無効な条件、未解決の質問を残しながら、適格な結論を裏付ける証拠

技術と組織の取り決め、顧客と経営成績、資本と能力への投資、長期資本勘定、協力的なガバナンスはすべて、独自の比較可能な研究経路を形成することができます。表内のリンクは特定の問題に基づいてグループ化されており、アカウントの宣伝やシステム設計を他のトピックの比較や検査に置き換えることはできません。

昇進指標にはゼロ社の実際の事項のみが含まれます。外部ケースは比較と境界の特定に使用され、パートナーと顧客の入力とパフォーマンスは個別に記録されます。 IPO、証券発行、STO、合併・買収などはすべて条件付きパスであり、昇進のために必須のイベントとして設定されているわけではありません。

作業を完全な実践例と結びつける

適切なスコープと明確な成果物を備えた社内または顧客のプロジェクトを選択し、要件、役割、バージョン、配信と使用法、価値の受け入れ、貢献のレビュー、収入と支出、該当する権利とレビューを共通のインデックスに整理して、Company Zero が実際にどのように運営されているかを理解するのに役立ちます。

以下に、提供された V1.3 のグラフィックスとテキストの構築を内部資料の例としてリストし、既存の事実と保留中のステータスを明確に示します。以降のプロジェクトも同様の構造に従って蓄積されます。参照完全な実践例。分野がつながったからといって、すべての業務が完了するわけではありません。 2 つについては個別に説明します。進歩は依然として条件と証拠に基づいています。

Company Zero の調査インデックスとレビュー

共通観測ユニット

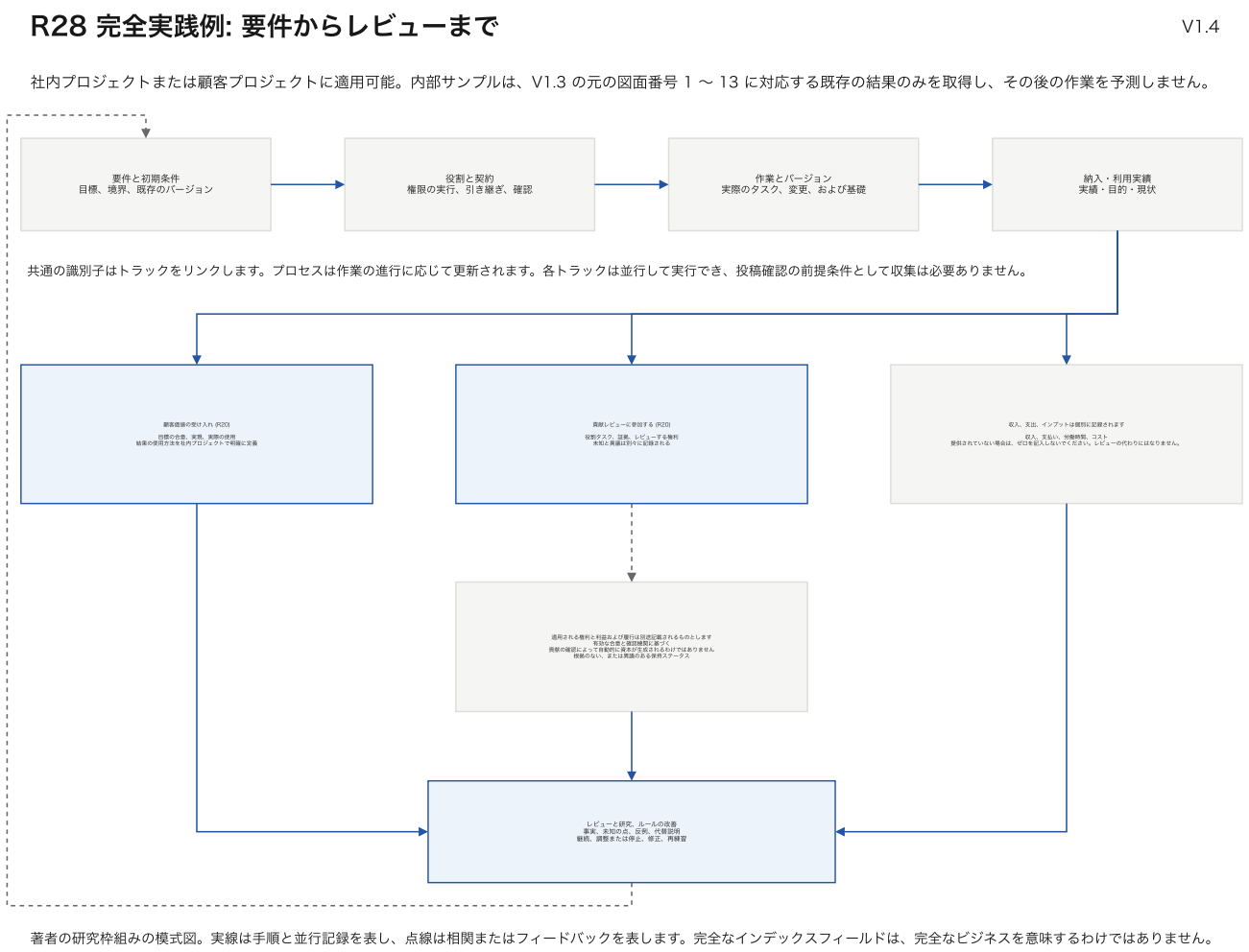
単位	連続録画
タスクとプロセス	タスクの条件、実行者とツール、責任と権限、リソース、引き継ぎ、結果、受け入れ、下流での使用、保守と再利用
商業プロジェクトと顧客関係	需要診断、製品またはサービスの選択、ソリューションの計画と組み合わせ、サプライヤーと国と地域の選択、責任協定、ユーザー価値の受け入れ、実際の使用、顧客の支払い、原価利益、現金、再購入および機能の再利用
コミュニティのアイデンティティと関係の共同構築	基本的な参加ステータス、無料または有料のカテゴリ、その後の共同建設の役割、会費とサービス、タスクの承認、貢献、履行、保持および終了
人、組織、リソースのコラボレーション	情報源、専門知識と関係、連絡と参加の意欲、認可、利用可能な機能、需要の一致、実際の供給とコラボレーションの結果
投資および資本イベント	目標、候補となるパス、対象と市場の状況、予算、条件、資金またはリソースの実際の変更、意思決定の根拠と結果
利害関係者の関係とアカウント	複数の役割、入力結果と証拠、参加貢献の確認とレビュー、確認または確立される権利と責任、パフォーマンス、異議、継続と終了。共通のプロジェクト識別を通じて価値の受け入れに関連する
科学研究成果の実践版	研究根拠、候補の説明、適用条件、採用決定、実装バージョン、偏差、実績、反例、フィードバック修正
組織とルールのバージョン	適用対象と範囲、意思決定者、有効な根拠、変更理由、権限、責任、実際の業務への影響

完全な実践例: インデックス作成と内部構築例

完全な実践例では、まず適切なスコープを持つ社内プロジェクトまたは顧客プロジェクトを選択し、要件、役割、作業バージョン、提供と使用、顧客価値の受け入れ、参加貢献のレビュー、収入と支出、該当する権利とレビューを結び付けます。各項目は共通のプロジェクトと実績の識別子に関連付けられており、並行して記録できます。

ここで言う完全性とは、事項、状況、根拠が相互に協議できることを意味します。すでに発生したデータ、まだ発生していないデータ、提供されていないデータ、まだ確認されていないデータは、個別にマークする必要があります。内部プロジェクトは内部ユーザーによって価値が受け入れられる可能性があり、実際の資料に従って編成されます。外部顧客との取引は想定されていません。

図 R28 · 完全な実践例: 要件からレビューまで



著者の研究枠組みの模式図。実線は手順と並行記録を表し、点線は相関またはフィードバックを表します。完全なインデックスフィールドは、完全なビジネスを意味するわけではありません。

同じプロジェクトと成果の識別を使用して、要件、分業、作業バージョン、および納品を結び付けます。顧客価値の受け入れ、参加貢献のレビュー、収益と支出、および該当する権利と利益は個別に記録され、調査と規則がレビューおよび修正されます。各トラックは並行して実行でき、保留中の項目はステータスを保持します。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: 適切な範囲の社内プロジェクトまたはクライアント プロジェクトの共通アイデンティティを確立し、初期要件、役割と参加契約、確認された権限、実際の作業とバージョン、成果物と使用状況を文書化します。プロセスマテリアルはタスクによって更新され、各トラックは並行して実行できます。支払いが受領されるまで寄付は確認できません。顧客の価値の受け入れは、目標の合意、納品、および実際の使用に基づいています。内部プロジェクトでは、結果のユーザーを明確に識別します。参加貢献のレビューは、役割タスク、実際の証拠、および認可された団体による確認に基づいて行われます。不明、異論は保留し、R20 の 2 つのプロセスを採用します。収入と支出、労働時間と経費は別々に記録され、記載がない場合はゼロは認められません。適用される権利および利益および履行は、有効な契約および確認権限に基づいて個別に処理されま

す。貢献の確認によって自動的に資本が生成されるわけではありません。各トラックの結果がレビューされ、期待、事実、コスト、反例、代替説明が比較され、継続、調整、または停止の決定が行われ、研究、ルール、および次のラウンドの要件にフィードバックされます。実際の内部作例にはV1.3原稿と当時の原画番号1〜13のみが含まれており、原画番号14〜17の新作は事前に収録されておりません。過去の番号とこのバージョンの対応を図面番号比較表に示します。インデックスが完了しても、すべての操作が完了したことを意味するわけではありません。

再利用可能なサンプルインデックス

インデックス	接続する必要があるもの
プロジェクト、要件、境界	誰がどのような質問をしたのか、目標と初期条件、プロジェクトの範囲、要件の変更、観察のカットオフポイント
役割と参加協定	要件を提案し、実装し、調整し、使用し、承認し、レビューする人。権限、責任、引き継ぎ
作業、リリース、納品	実際の作業と修正、入力とバージョン、製品、納品物、保存とフォローアップのサポート
ユーザー価値の受け入れ	目標と合意、納品品質、受け入れ意見、実際の使用とその後の価値
貢献レビューに参加する	役割タスク、実際の入力と結果、証拠、確認とレビューの権利、異議とステータス
収入、支出および投資	実際の受領と支払い、労働時間、工具およびその他の費用、伝票および会計基準。提供されなかった金額は保持されます。
Applicable rights, responsibilities and performance	有効な契約、権利と責任の種類、設立条件、実際のパフォーマンス、紛争、長期的なアカウントの関連付け
レビュー、修正、フォローアップ	期待と現実、問題と反例、方法論的ルールと研究の改訂、懸案事項とフォローアップ事業

顧客価値の受け入れと貢献のレビューと採用図R202 つのプロセスがあります。 revenue and expenditure and equity are recorded according to their respective basis.配信事実、実際の使用、貢献の確認、および資本の履行は別の状態で保持され、後で同じプロジェクトを通じて関連付けられます。

内部構築例：五次元運営と四資本戦略図のV1.3改訂版

この例では、このラウンドの運用接続を使用して、内部調査と知識構築のための実際の資料として、以前に提供された V1.3 リビジョンのラウンドを補足します。このラウンドには、原稿と、V1.3 の元の図面番号 1 〜 13 が付いた 13 枚の付随画像が含まれています。オリジナルの番号とこのバージョンの対応を参照してください。図番号比較表。このラウンドで追加された新しい運用接続は、フォローアップ作業が完了した結果として事前にカウントされることを避けるために、個別に記録されます。

問題	既存の資料と事実	状況とフォローアップ
プロジェクトの要件	著者は、V1.3 では、これまでの 3 側面の運用を学術、コミュニティ、リソース、ビジネス、資本の 5 つの側面に変更し、資産管理と長期運用戦略の原則ロジックに 4 つの資本の表現を強化することを要求しています。	バージョン番号を維持します。 5 つの研究方向、15 の主要な分野、および独自の貢献の位置づけは継続されます。
役割とコラボレーション	著者は目標とフィードバックを提案し、レビューの責任を負い、分業、統合、受け入れを組織し、グループでグラフィックとテキストを完成させます。	タスクと引き継ぎを検証できます。完全な入力と正式な貢献確認の結果は保留中です。
ジョブとバージョン	関連するテキストを改訂します。 V1.3 原画11は5次元操作をアップデート、原画13は4首都の長期戦略ロジックを新たに描き、残り11枚は承認版を踏襲	このラウンドでは、元の V1.3 イメージ 11 および 13 が実際にエクスポートされて表示され、イメージ、テキスト、およびファイルの検証記録が保持されました。
配信と社内使用	V1.3 原稿、13 個の Draw.io ソース画像、SVG、PNG、画像リスト、受理記録、および完全なパッケージが保存されています。原稿は引き続き著者の議論とその後の改訂に使用されます	文書の納品や社内利用を確認できる。外部顧客による使用および商業効果データは提供されません
内部ユーザーによる価値の受け入れ	実際の Draw.io エクスポート、画像ごとの表示、テキスト、画像、およびローカル リンクの検証を調整して完了し、作成者が提案した 5 次元および 4 次元の要件を修正します。	納品と内容確認が完了しました。著者による最終レビューと継続使用効果は別途記録されます
貢献レビューに参加する	分業、バージョン、グラフィック製品、および承認資料をレビュー入力として使用し、同じプロジェクトを通じて関連付けることができます。	貢献の確認権限、完全な投資、および正式な評価結果は保留中です。異議および審査の入り口は予約されています。
収入と支出および適用される権利	現在の資料には、収益、支払い、総労働時間、コスト額、および具体的な報酬や株式配分契約は記載されていません。	「情報が提供されていない/確認されていない」と記入してください。不明をゼロに置き換えないでください。特定の権利、責任、実装は実際の基準に基づいて処理されます
見直しと改善	著者のフィードバックにより、3 次元から 5 次元への調整、4 つの首都の戦略的境界の強化が行われ、コーディネーターはグラフィックとテキストを再チェックしました。	「フィードバック・修正・検証」のプロセス資料が形成されました。フォローアップでは、使用状況のフィードバック、入力、確認ステータスの記録が継続されます。

この例では、確認できる作業プロセスと保留状態を示します。配信と視覚的検証、著者レビュー、実際の使用効果および理論的証拠は個別に評価されます。後続の実際のプロジェクトでは、同じインデックスに沿って、より完全な管理、貢献、およびパフォーマンスの資料を蓄積できます。

図 R29 · 3 つの主なトピックの証拠収集の順序



Flagship One は、顧客からの最初の納品から証明書を取得することを優先し、プロジェクトのバッチ全体を追跡し続けます。フラッグシップ 2 は実際の予算決定に基づいて証拠を収集し、フラッグシップ 3 はそれぞれシステムの準備と正式な実装に基づいて意図と行動を研究します。 3 つすべてを並行して実行できます。

編集可能なDraw.io · SVGプレビュー · PNG プレビュー

同等のテキスト: Flagship は、反復可能なサービス カテゴリと品質とコストの基準を事前に選択し、最初の納品段階からプロジェクトのバッチ全体にそれらを組み込みます。次の購入選択と投資を追跡し、取引、購入が招待されていない、入札が失敗した、期限切れになっていない、キャンセルされた需要、および宛先が不明であることを記録します。証拠がある場合に注文を転送するかどうかを確認し、再見積もりがない場合でもプロジェクトを維持します。機能を再利用できるかどうか、顧客がどのように選択するか、誰がプロジェクトの利益を得るのか、どのような純利益を検証する必要があるか、次回に再度投資するかどうかを比較します。
Flagship 2 は、実際の予算決定が行われる前に、代替プロジェクトの同じバッチと、その時点での品質、需要、資金予測を登録し、承認、不承認、延期、放棄、およびその後の変更を記録します。資金調達条件の違いに独立した根拠がある場合には、資金調達の役割を再検討することになる。 Flagship Three は、シナリオ調査を使用して準備期間中の観察と判断を行い、ルールの発効後は、資格、招待、自主的な選択、履行、および次の機会への実際の投資を追跡します。 3 つすべてを並行して実行できます。 Company Zero は実際のオプションと結果を提供し、外部の企業データを使用して条件と結果を比較し、同業者の見積もりや顧客の代替案を使用して市場の反応を観察します。

3 つの主なトピックに関する証拠収集の取り決めに戻る

イベントトリガーのレビュー

科学研究の結果が実際の取り決め、重要なタスクの引き継ぎ、顧客の受け入れ、コミュニティのアイデンティティや共同建設の役割の変更、会員サービスやリソースの協力の変更、ルールの変更、資本決定、権利履行、紛争解決、協力の継続または撤退などに変換された後、期待、事実、コスト、代替説明、調整の根拠を確認します。レビューはイベントと証拠に基づいて開始され、固定された頻度や期限はありません。

続行、調整、停止

継続するか調整するか中止するかは、目標が明確か、必要なデータが取得できるか、比較が妥当か、使用結果を追跡できるか、コストとリスクを許容できるかによって決まります。条件が不十分な場合は、追加の測定を行うか、範囲を狭めるか、設計を調整するか、該当するプロジェクトを停止します。

独立したレビューと有害な結果

設計者の意図と実際の操作を区別します。重要な判断はレビュー可能な資料については保持され、貢献の評価については異議が認められます。品質低下、追加投資、管理集中、業績不振、協力停止、改善なしなどが記録されています。単一の組織を繰り返し観察すると、その組織の研究レベルに応じて解釈されます。

Company Zero、顧客、パートナー、およびソフトウェアプロバイダーのインプット、権利、結果は個別に権利が与えられ、外部の事項が Company Zero の業績に組み込まれることはありません。

5 次元の結果の接続と帰属

同じプロジェクト、取引、主題または成果に関する学術、コミュニティ、リソース、ビジネスおよび資本の記録間の相関関係を確立し、研究成果、アイデンティティと役割、人々と機関、実際のリソース供給、事業収入、会費、資本投資、および対応する権利と責任をそれぞれチェックして、同じ事項の繰り返しの測定を回避します。リソースの品質は、適応性、信頼性、実際の使用率、運用能力の結果に基づいてチェックされます。融資収益は事業収入と照合され、口座記録は実際の現金と照合され、評価額は実現収益と照合されます。

レビューでは、その操作が価値を生み出し、実現したか、ということにも答える必要があります。この実践によってどの研究説明が支持、修正、または否定されたか。実際の調整は、科学研究結果の次のバージョンと次の実施段階に使用されます。

出典索引 · 研究と方法

以下は概要に対応した公開結果と手法への入り口です。リンクはクリック可能です。 Web サイトのコンテンツとファイルのバージョンは継続的に更新される場合があります。データ検証日: 2026 年 11 月 25 日。

- **[01] ステークホルダーのエコロジカルデジタルガバナンスモデル**
  https://yutengfei.com/zh/journal/stakeholder-ecosystem-governance/
- **[02] 4 つの生態学的ガバナンス モデル: 貢献、権利、コラボレーション クローズド ループ**
  https://yutengfei.com/zh/journal/four-ecology-governance-model/
- **[03] ステークホルダー資本主義** https://yutengfei.com/zh/books/stakeholder-capital/
- **[04] ブロックチェーン - ステークホルダー資本の基盤技術**
  https://yutengfei.com/zh/books/blockchain/

- **[05] 株主優先からステークホルダー企業へ** https://yutengfei.com/zh/papers/from-shareholder-primacy-to-stakeholder-corporation/
- **[06] 論文 I: 公平性の認識と自発的な貢献** https://yutengfei.com/zh/papers/stakeholder-fairness-voluntary-contribution/
- **[07] 論文 II: 権力、戦略的貢献、価値の分配** https://yutengfei.com/zh/papers/stakeholder-power-strategic-contribution/
- **[08] 論文 III: フィードバックを戦略的行動に変える** https://yutengfei.com/zh/papers/stakeholder-feedback-strategic-action/
- **[09] 論文 IV: 異時点間の紛争と継続的な協力** https://yutengfei.com/zh/papers/intertemporal-conflict-cooperation/
- **[10] エンタープライズAI業務能力再構築システム** https://yutengfei.com/zh/journal/enterprise-ai-capability-reconstruction/
- **[11] 4方向SOP** https://yutengfei.com/zh/journal/four-way-sop/
- **[12] SOPからスキルへ** https://yutengfei.com/zh/journal/sop-to-ai-skill/
- **[13] 行動と結果と降水** https://yutengfei.com/zh/journal/action-results-organizational-capability/
- **[14] 資本モデルはどのようにして閉ループを形成するのでしょうか?** https://yutengfei.com/zh/journal/capital-mechanism-model/
- **[15] 資本の論理とステークホルダー資本理論の道筋** https://yutengfei.com/zh/blog/stakeholder-capital-logic-and-paths/
- **[16] 4 つのリソースと 2 つのサイクルを使用してプロジェクトを分析する** https://yutengfei.com/zh/journal/four-assets-dual-cycle-project-analysis/

ソースインデックス · ビジネスと実践

- **[17] キャピタルパス9次元対照表** https://yutengfei.com/zh/journal/capital-path-nine-dimension-comparison/
- **[18] 産業運営と資本配置はどのように相互にサポートされていますか?** https://yutengfei.com/zh/journal/industry-operations-capital-alignment/
- **[19] 貢献の認識から株式の実現まで** https://yutengfei.com/zh/journal/from-contribution-to-rights-fulfillment/
- **[20] パーソナルサービス: 戦略、資本、ブランド** https://yutengfei.com/zh/services/
- **[21] 個人向けWebサイトソリューション** https://yutengfei.com/zh/solutions/
- **[22] WISERUNION 7 つのカテゴリーの技術製品** https://wiserunion.com/products/
- **[23] WISERUNIONセブンティーンサービス** https://wiserunion.com/services/
- **【24】WISERUNION 10種類のソリューション** https://wiserunion.com/solutions/
- **[25] WISERUNIONの位置づけと分業とカンパニーゼロの地位** https://wiserunion.com/about/
- **[26] Ten Billion Maple Group: ブランドおよびコミュニケーション段階の結果** https://wiserunion.com/cases/baiyifeng/

- **[27] 知興個人知識ステーション事件** https://wiserunion.com/cases/weitengfei/
- **[28] AI スキルとメソッドのカタログ** https://yutengfei.com/zh/skills/
- **[29] 投稿記録とレビューフォーム** https://yutengfei.com/zh/journal/contribution-record-review/
- **[30] ステークホルダー間の長期資本関係の形成メカニズム** https://yutengfei.com/zh/journal/stakeholder-long-term-capital-mechanism/
- **[31] ゼロ社は次にどのように運営されますか?** https://yutengfei.com/zh/blog/company-zero-operating-model/

> 本文中のゼロ社の研究体制、候補テーマ、比較整理、具体的な推進等は、本要綱の企画書に属する。ソースページでは、既存モデルや資料、カタログ、公開状況などを確認することができます。

出典索引・学術的位置づけとモデル補足

以下は、協会の正式な領域定義、補足的な位置付け、および制度上の概念への一般のアクセスです。ソース検証記録日は 2026 年 11 月 25 日です。日付はバージョンとデータの記録に使用され、研究推進の期限は設定されません。

- **[32] AOM研究領域ディレクトリ** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/
- **[33] Strategic Management（STR）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/strategic-management/
- **[34] Communication, Digital Technology, and Organization（CTO）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/communication-digital-technology-and-organization/
- **[35] Technology and Innovation Management（TIM）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/technology-and-innovation-management/
- **[36] Organization and Management Theory（OMT）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/organization-and-management-theory/
- **[37] Organization Development and Change（ODC）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/organization-development-and-change/
- **[38] Managerial and Organizational Cognition（MOC）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/managerial-and-organizational-cognition/
- **[39] Organizational Behavior（OB）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/organizational-behavior/
- **[40] Human Resources（HR）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/human-resources/
- **[41] Social Issues in Management（SIM）** https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/social-issues-and-management/

- **[42] Operations and Supply Chain Management（OSCM）**
  https://www.aom.org/divisions-and-interest-groups/operations-and-supply-chain-management/
- **[43] SMS研究グループのディレクトリ**
  https://www.strategicmanagement.net/connect-participate/interest-groups-communities/
- **[44] SMS Knowledge and Innovation**
  https://www.strategicmanagement.net/group/knowledge-and-innovation-interest-group/
- **[45] SMS Strategy Process**
  https://www.strategicmanagement.net/group/strategy-process-interest-group/
- **[46] SMS Corporate Strategy**
  https://www.strategicmanagement.net/group/corporate-strategy-interest-group/
- **[47] SMS Competitive Strategy**
  https://www.strategicmanagement.net/group/competitive-strategy-interest-group/
- **[48] SMS Stakeholder Strategy**
  https://www.strategicmanagement.net/group/stakeholder-strategy-interest-group/
- **[49] SMS Strategic Leadership & Governance**
  https://www.strategicmanagement.net/group/strategic-leadership-governance/
- **[50] SMS Cooperative Strategies**
  https://www.strategicmanagement.net/group/cooperative-strategies-interest-group/
- **[51] SMS Strategic Human Capital**
  https://www.strategicmanagement.net/group/strategic-human-capital-interest-group/
- **[52] AOMジャーナルシステム**
  https://www.aom.org/publications/journals/
- **[53] SMSジャーナルシステム**
  https://www.strategicmanagement.net/publications-resources/sms-journals/
- **[54] UTダラス・スクール・オブ・ビジネス研究ランキングジャーナルリスト**
  https://jsom.utdallas.edu/the-utd-top-100-business-school-research-rankings/?page=list-of-journals
- **[55] SEC: 公開会社、証券募集および継続的義務**
  https://www.sec.gov/resources-small-businesses/capital-raising-building-blocks/public-companies
- **[56] 香港証券先物委員会: 証券トークン化関連活動**
  https://apps.sfc.hk/edistributionWeb/api/circular/list-content?lang=EN&refNo=23EC52
- **[57] WISERUNION: 長期資本勘定設計**
  https://wiserunion.com/community/

> ドメイン定義では公開情報が引用されています。本研究の帰属、機構関係、具体的なテーマ、推進条件等は、本概要の研究組織および企画に属するものであり、本研究に対する学会の認定や完成した実証的結論ではありません。

出典インデックス・オリジナルの寄稿と比較文献

以下は貢献度の判断と最初の比較に使用した研究文献です。年はジャーナルの巻数と発行年に記録されます。オンライン公開時間は異なる場合があります。書誌情報はアクセス可能な公開記述と照合されており、詳細な新規性の比較には依然として特別な正当性が必要です。

- [58] Whetten, D. A.（1989）. What Constitutes a Theoretical Contribution? Academy of Management Review, 14(4), 490–495. https://doi.org/10.5465/amr.1989.4308371
- [59] Corley, K. G., & Gioia, D. A.（2011）. Building Theory about Theory Building: What Constitutes a Theoretical Contribution? Academy of Management Review, 36(1), 12–32. https://doi.org/10.5465/amr.2009.0486
- [60] Gregor, S., & Hevner, A. R.（2013）. Positioning and Presenting Design Science Research for Maximum Impact. MIS Quarterly, 37(2), 337–355. https://aisel.aisnet.org/misq/vol37/iss2/3/
- [61] Bridoux, F., & Stoelhorst, J. W.（2022）. Stakeholder Governance: Solving the Collective Action Problems in Joint Value Creation. Academy of Management Review, 47(2), 214–236. https://doi.org/10.5465/amr.2019.0441
- [62] Gibbons, R., & Henderson, R.（2012）. Relational Contracts and Organizational Capabilities. Organization Science, 23(5), 1350–1364. https://doi.org/10.1287/orsc.1110.0715
- [63] Lumineau, F., Wang, W., & Schilke, O.（2021）. Blockchain Governance—A New Way of Organizing Collaborations? Organization Science, 32(2), 500–521. https://doi.org/10.1287/orsc.2020.1379
- [64] Brynjolfsson, E., Rock, D., & Syverson, C.（2021）. The Productivity J-Curve: How Intangibles Complement General Purpose Technologies. American Economic Journal: Macroeconomics, 13(1), 333–372. https://doi.org/10.1257/mac.20180386
- [65] Myers, S. C.（1977）. Determinants of Corporate Borrowing. Journal of Financial Economics, 5(2), 147–175. https://doi.org/10.1016/0304-405X(77)90015-0

これらの文書は、既存の説明、貢献範囲、および比較タスクを決定するために使用されます。完全なレビューが完了した、またはその量に基づいて研究のギャップが特定されたと推定することはできません。

- [66] Davidson, S., De Filippi, P., & Potts, J.（2018）. Blockchains and the economic institutions of capitalism. Journal of Institutional Economics, 14(4), 639–658. ケンブリッジ大学出版局: 論文と要約 · DOI

この記事は、制度的技術としてのブロックチェーンの既存の理論的基盤を提供するものであり、この研究がその位置づけに基づいてこの概念を最初に提案したものであると主張するものではありません。

- **[67] 魏登飛：「四大首都作戦」を読む |リソース、資産、資本、資金をどのように結び付けるか。 Shi Yuqiang の「Four Capital Operations」に基づく。今回は朗読イラストの1枚目の絵を使用しています。**
  記事と元の画像ソース
- **[68] WISERUNION リソース ハブ: 人々、機関、および共同リソース。**
  人と組織の専門知識、関係、発見、コラボレーションへの入り口
- **[69] WISERUNION キャラクター: 専門的、組織的な関係およびリソースの調整。**
  人物コラム
- **[70] WISERUNION 共同建設への参加: コミュニティ、共同建設の役割、長期資本勘定。**
  共同建設に参加する

4 つの資本をリサイクルするための資源はすでに存在しており、この概要により Company Zero の具体的な適用が開始されます。 5 次元の操作と 4 つの資本の適用は、図に含まれているからといって、新しい理論的貢献とは認められません。

最も近い比較ソース [71]—[74]

以下は、限定された補足的な比較エントリです。書誌情報や公開抄録を確認する場合は、出版社または著者の所属機関の主要情報源のみを使用してください。全文の系統的レビューを書くために抄録をチェックしたり、これに基づいて全体的な新規性の判断を行ったりしないでください。

- **[71] Rajan, Raghuram G., and Luigi Zingales (1998). Power in a Theory of the Firm.** *The Quarterly Journal of Economics*, 113(2), 387–432. 出版社の主な情報源；DOI。

  検証範囲: 著者、年、巻、号、ページ番号、DOI、および出版社の要約。この要約では、主要なリソースへのアクセス権、専用の投資、権限、およびインセンティブの規制について説明しています。リマインダーとして使用: リソースの可用性、権限、または専用の投資の重要性には理論的根拠があります。この研究は、複数の役割を持つ権利と利益の取得、保持、およびビジネス選択のための具体的な新しいメカニズムを実証する必要があり、文献の議論を書き換える最初の研究ではありません。

- **[72] Blair, Margaret M., and Lynn A. Stout (1999). A Team Production Theory of Corporate Law.** *Virginia Law Review*, 85(2), 247–328. 著者の所属機関は、主要な情報源と全文の入り口を保存しています；雑誌の巻数と号の目次のチェック；DOI。

  検証範囲: 機関著者の記録、年、雑誌および公開抄録、雑誌カタログの検証ページ番号。この要約では、複数人による専用のインプット、分割不可能なアウトプット、および報酬の分配の問題について説明しています。拠出金と給付金の取り決めを比較するための既存の説明。

- **[73] Hart, Oliver, and John Moore (1990). Property Rights and the Nature of the Firm.** *Journal of Political Economy*, 98(6), 1119–1158. 出版社の主な情報源；著者の学術ホームページ；DOI。

  検証の範囲: 書誌情報、DOI、出版社要約および著者の記載。概要 資産管理と所有構造をさまざまな主体のインセンティブにリンクします。これは財産権と投資インセンティブを明確にするための空白のフィールドではなく、さまざまな種類の収入権、アカウント登録、またはビジネス提携を資産所有権と同一視することはできません。

- **[74] Dyer, Jeffrey H., and Harbir Singh (1998). The Relational View: Cooperative Strategy and Sources of Interorganizational Competitive Advantage.** *Academy of Management*

Review, 23(4), 660–679. 出版社の主な情報源；ジャーナルボリュームと発行ディレクトリ；DOI。

検証範囲: 著者、年、巻、号、ページ番号、DOI、および出版社の要約。この要約では、関係固有の資産、知識共有の実践、補完的なリソース、効果的なガバナンスについて説明し、比較のための確立されたベンチマークとしての関係の組み込みをサポートしています。これにより、この研究の比較課題が提示されます。つまり、関係条件内での能力の持続と関係間の移転は別々に評価されるべきです。この評価提案はこの研究の範囲に属しており、この論文がこの研究枠組みを検証したと主張するものではありません。

検証日: 2026-11-25。主な情報源は、上記の限定的な比較を裏付けることはできますが、「既存の理論にはそのような機能がない」、「新規性の包括的な確認が完了した」、または「この研究メカニズムは経験的に証明された」などの結論を裏付けるものではありません。

競争と利益の帰属に関する比較文献

- **[75] Teece, D. J. (1986).** Profiting from technological innovation: Implications for integration, collaboration, licensing and public policy. *Research Policy*, 15(6), 285–305. 出版社
- **[76] Coff, R. W. (1999).** When Competitive Advantage Doesn't Lead to Performance: The Resource-Based View and Stakeholder Bargaining Power. *Organization Science*, 10(2), 119–133. 出版社

画像に付随する完全な同等のテキスト

以下はプレート番号に従って配置され、完全なテキスト表現が保持されます。他の図の同等のテキストは、対応する章に残ります。

R02・5方向15本線建築

図中のサブタイトルには、上位命題「技術変化における企業の適応と差別化」が明記されており、5つの方向は並行しており、企業発展の5段階ではないことが説明されている。総合タイトルは「インテリジェントテクノロジーの変化における企業能力と資本ガバナンスに関する研究」。核心的な問題は、テクノロジーの変化に直面して、企業はビジネス モデル、組織方法、資本配置をどのように調整して、機能を形成および更新し、価値を創造し獲得するかということです。同様のテクノロジーを使用している企業が、長期的な業績や発展経路が異なるのはなぜでしょうか? 5 つの平行した方向性は次のとおりです。 A. インテリジェントなテクノロジーの導入と組織の再構築。これには、A1 タスクとテクノロジーの適応、A2 プロセスと人間と機械のコラボレーション、A3 テクノロジーの依存性と組織の境界が含まれます。 B. 企業の能力の蓄積と更新。B1 知識の蓄積とフィードバックの変換、B2 の人間と機械の学習とスキルの変化、B3 の能力の保持と移転可能性を含む。 C. 顧客価値、市場競争および収益獲得。C1 需要満足およびビジネス実現、C2 競争および価値獲得、C3 営業価値の測定を含む。 D 投資、資金調達、資本配分。D1 動的な投資とプロジェクトの選択、D2 資金調達のマッチングと資本の制約、D3 資本の管理、リスクとエグジットを含みます。 E 権利の割り当て、インセンティブ、および協力的なガバナンス。これには、E1 知識、データおよび意思決定の権利、E2 貢献の認識および収入の取り決め、E3 組織間のコミットメントおよびシステム調整が含まれます。 5 つの方向は、発展の 5 つの段階ではありません。特定の研究テーマは 15 の主要な方針に基づいて洗練され続け、理論、計画、方法、証拠が形成され、テストされます。主な質問は研究の帰属を決定し、相互相関はメカニズムまたは境界を示します。図の下の左の列では、まず同様のテクノロジー供給に直面している企業がどのように選択して採用しているかを比較し、次に実際の使用条件が類似している企業を比較して、組織と資本の配置が能力、収益、次の投資ラウンドにどのような影響を与えるかを示しています。右側の列では、企業の長期価値に関連する株式を自発的

に保有することが、どのような条件下で知識の共有、献身的な投資、継続的な協力に変化をもたらすかを参加者に尋ねました。左の列はプログラム全体の研究課題を表し、右の列は著者が深い経験を蓄積してきた研究の道筋を示しています。

元の画像に戻す

R04・B.企業力の蓄積と更新

方向 B は、分散した知識、専門的能力、協力的リソースを仕事や組織の取り決めを通じてどのように活用して、企業が持続的に動員できる能力を形成できるかを研究します。実際のタスク、実行フィードバック、組織手配、フォローアップ協力が観察状況を構成します。 AIの認知・作業技術とブロックチェーンシステム技術は、それぞれ単独で、あるいは組み合わせて利用することで、それぞれの役割を明確にすることができます。B1 知識の蓄積とフィードバックの変換は、説明の記憶、ルールと実践の継承、戦略的アジェンダとリソース割り当てへのフィードバック、権限、バージョン、変更の実行、実際の使用の確認を区別します。アーカイブを増やしても、実際の変更を置き換えることはできません。 B2 人間とコンピューターの学習とスキルの変化は、それぞれ人間の独立した判断とスキル、組織の知識の分布と責任を観察し、レビュー、引き継ぎ、トレーニングと共有の取り決めを比較し、学習と判断の低下を保持します。 B3 能力の維持と移転可能性は、継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、テクノロジーの移行と関係の依存性に基づいて個別に評価され、必要なサポート、繰り返しのパフォーマンス、メンテナンスの投資、切り替えコスト、および関係の条件が記録されます。移行が必要で比較条件がある場合は、テクノロジーを置き換えた後のパフォーマンスが再度テストされます。安定した人間と機械の相補性や関係固有の機能が存在する可能性があり、すべての機能を元のツールから分離したり、関係を確立する必要はありません。継続的な運用と限定的な移行を同時に確立できます。 3つの主要なラインは固定ステージではなく相互にサポートします。能力の蓄積、維持、劣化、または不十分な証拠は、該当する次元に従って判断されます。ナレッジ ファイル、コード、アカウント、マニュアルの数は、能力と直接的には等しくありません。タスク、ベースライン、既存の機能、追加の労力、およびその後のパフォーマンスを比較します。 R17 の運用改善と能力維持を結び付け、2 種類の評価を R20 と混同しないでください。研究の方向性と 5 つの運用側面は異なる分類レベルにあり、具体的なメカニズムはまだテストする必要があります。

元の画像に戻す

R07 · E. 権利の割り当て、インセンティブ、および協同組合のガバナンス

方向 E は、技術変化に対応した企業の一般的な権利、インセンティブ、および協力協定を研究します。 E1 知識、データ、意思決定の権利では、知識データの使用法、意思決定の根拠を検討し、認可と責任の適用範囲を確認し、権利の内容、キャリア、登録技術を区別します。 E2 拠出確認と収益整理では、入力結果、拠出根拠、報酬インセンティブ、収益配分、権利設定と実績を確認し、その後の投資との関連性を比較します。 E3 組織を越えたコミットメントと制度上の調整では、契約、関係の取り決め、約束、履行と協力、保留中の紛争、修正、保留中の履行の継続、調整、または停止を調査します。 3 つの主要なスレッドは並行して関連する問題であり、3 つの段階ではありません。このメカニズムは、組織、能力、利益、協力に対するさまざまな取り決めの影響を比較するためにテストされる必要がある。長期的な資本関係と会計は、理論的な説明、ガバナンスの取り決め、および実践的な道の 1 つです。それらはすべてのトピックに共通の前提ではなく、ツールに還元されるものでもありません。通常の賃金、備品、メンバーシップ、およびサービス自体は、この調査では長期的な資本関係を構成せず、通常の報酬は自動的に資本に変換されません。この道にはさまざまな役割が開かれています。参加者は、元の役割を重ね合わせて、その役割を受け入れるか保持し続けるかを選択できます。廃止された事業を保持する、事業を継続するが権利が譲渡された、部分的に譲渡され、履行が保留されている。キャピタルパス制度の範囲内で、事業収入、資産運用収入、投資収入などを総合して個別に計算されま

す。新たな収入だけでなく、収益、費用、利益、分配、保有、再投資が個別にチェックされ、すべての収益分配が推定されるわけではありません。具体的な割合、既存の資本、過去の取引関係、有効な境界、譲渡買戻し条件などは、依然として正式に設計する必要がある。 AIとブロックチェーンが業務やシステム導入を支援します。特定のトピックは、その役割を従来の代替協定と比較するものであり、一般的な資本関係を確立するための前提条件ではありません。この図は、ガバナンスのしきい値や運用日を設定するものではなく、権利や協力関係が確立されていることを示すものでもありません。

元の画像に戻す

R10・貢献1：長期資本関係の形成と持続メカニズム

貢献 1 は、提案された主要な理論的貢献ステータスを維持し、概要で著者が提案した貢献の組み合わせに属し、技術変化における企業の適応と差別化に関するすべての研究を網羅するものではありません。このアプローチの研究課題は、ステークホルダーが自発的な選択と制度的ルールに基づいて企業の長期的価値に関連する権利と利益をどのように取得し、保持し続け、長期的な資本関係を形成するかということです。この関係は、組織形態、能力蓄積、収入分配、継続的な協力にどのような影響を与えるのか、また資本運営を通じてどのように継承され、実現され、継続されるのでしょうか?利害関係者のガバナンスと関係契約に関する確立された研究が、公正な比較ベンチマークを構成します。この図は、共同出資、出資事実、確認根拠、権利取得、実績、その後の選択をそれぞれ観察している。点線は、実証およびテストされる候補メカニズムのみを表しており、プロセスは繰り返したり、ブロックしたり、中断したりすることができます。このシステムは、企業の長期的な価値と資本戦略に関連する権利と利益をさまざまな役割に対応させて整理します。参加者は、その権利と利益を受け入れ、保持し続けるかどうかを独自に選択できます。権利と利益は本来の役割に重畳されます。定期賃金、長期供給、有料会員、継続的な勤務関係自体は、本調査でいう長期資本関係を構成するものではありません。企業側は持続可能な通話能力と運用資産を観察し、継続的な運用、保守、再発、移行、関係依存性を条件に応じて個別に評価します。参加者側は、資本、負債リスク、実際の換金およびオプションの保有を観察します。継続的に保有するが事業を廃止する、事業を継続するが権益を譲渡する、一部譲渡、残存する権益と保留中の業績の異なる軌跡を比較すると、保有に基づいて事業が継続すると推定されるものではなく、事業継続に基づいて保有すると推定されるものでもありません。正式な運用後、このシステムは事業、資産運用、投資収益を含むシステムの範囲内の全体の収益をカバーし、個別に会計処理されます。収益、コスト、利益、分配、保有、再投資が分離され、その割合、既存の資本、歴史的なビジネス関係、および有効な境界が決定されます。譲渡および買戻しの条件は後続のシステムによって決定され、いつでも自由に譲渡または買戻できるという事前設定はありません。下の部分は、その後の同じ協力機会への実際の専用投資を観察するために 2 つの予測を並べて示しています。新しい返還協定が同様の場合、既存の権利と利益が約束どおり履行されることを確認すると、新たな約束の信頼性が高まり、追加投資が促進される可能性があります。古い権利と利益が同等に信頼でき、保有の継続と受注の継続を分離でき、新規投資による追加収益が不明確な場合、参加者は権利を保持し、他の場所に時間やリソースを投資することができます。両方の役割が同時に存在する可能性があり、本来の信頼、報酬、その他の機会を確認する必要があります。権利利益の確立は実際の履行を意味するものではなく、能力の保持は関係の継続を意味するものではありません。専用投資、相互依存、または繰延キャッシングが議論の条件として使用されます。既存の説明で十分な場合、貢献の主張は絞り込まれます。元の候補ステータス、独自性の検証および証拠のサポートは維持され、実際の発売や有効性の主張は追加されません。

元の画像に戻す

R11・貢献2：長期資本勘定の制度設計

Contribution 2 は、顧客関係と会員記録、貢献台帳、契約と報酬の共有、所有者記録、DAO および共有データベースを比較ベンチマークとして使用し、実際のルール、許可、使用および保守コストに基づいて公平な比

較を行い、確立される主要なシステム設計の貢献ステータスを維持します。図の 4 つの制度的モジュールは、同じ主題の複数の役割、異質なインプット、貢献の証拠、効果的な取り決めにおける権限の確認と割り当て、ルールのバージョン、権利と責任、および実際の実施を継続的に関連付けています。本来の役割と資本権の階層化: 定期的な業績関係自体が自動的に長期的な資本関係になるわけではありません。システムはさまざまな役割に対応する権利と利益を整理し、参加者はそれらを受け入れるか保持し続けるかを選択できます。確認される、条件付き、確立される、実行される、実行される、および議論されるは、それぞれの根拠に従って記録され、自動アップグレードのはしごを構成しません。株式の保有と事業提携は別々に観察されます。株式を保有して事業を停止することも、事業は継続しても株式を譲渡することもできます。部分的な譲渡、残りの資本および保留中のパフォーマンスは個別に保持されます。正式な運用後は、このシステムは新たな収入だけでなく、全体的な営業収入とそれに関連する権利と責任をカバーします。分析測定概念として新たな価値を保持することができます。システムの範囲内の事業、資産管理、投資およびその他の収入は個別に会計処理されます。収益、コスト、利益、分配、保有および再投資は個別に認識され、すべての収益が分配されるとは想定されていません。具体的な割合、既存の資本、過去の取引関係および有効な境界は、その後のシステムによって決定されます。権利と利益は、配当、株式、株式、STO 関連の取り決めと関連している可能性があります。権利内容、通信事業者、登録技術、撤回については別途確認させていただきます。譲渡および買戻し条件は今後決定される。いつでも自動変換、無料譲渡、または買い戻しはありません。資金調達、再編、管理変更後の当初の約束を確認し、それぞれ口座、証券、資金、法的関係を関連付けます。固定ルールはブロックチェーンを他の記録システムと比較し、固定テクノロジーはさまざまな確認、許可、履行取り決めを比較し、エラー修正、履行コスト、権利と責任の明確性、フォローアップ協力を観察およびレビューし、記録の維持、紛争、ガバナンスの負担を監視します。当初の候補ステータスを維持し、デザインの新規性と効果を個別にチェックします。

元の画像に戻す

R12 · 寄稿 3: 組織と実行メカニズムが能力保持にどのように影響するか

比較ベンチマークは、テクノロジーと組織の相補性、組織の学習、職務設計、およびリソースの能力に関する調査であり、組織自体に対するテクノロジーの影響を新しい発見とはみなしません。 AI の認知機能と作業機能、およびブロックチェーンの制度的機能と技術的機能は個別に識別され、単独で使用することも、組み合わせて使用することも、どちらも使用しないことも許可されています。技術とは、研究の状況、組織の状況、あるいは実施手段であり、その機能や状況は個別に評価されるものであり、一般的な資本関係の成立の前提条件ではありません。青いボックスで提案されている貢献ポイントは、意思決定権限の配置、リソースの到着、役割を超えたハンドオーバー、異常なフィードバック、エクスペリエンスの更新などの中間プロセスです。改善の継続と維持について、技術的条件と関係条件に応じて説明します。組織力、実行力、および異時点間の企業能力がそれぞれ定義され、観察されます。能力の継続的な運用、維持の持続可能性、人を超えた再発、技術移転、関係依存性は個別に評価され、ツールの変更や関係からの離脱は、すべての能力の確立または維持に必要な統一的な閾値としては使用されません。安定した人間と機械の相補性と関係固有の機能が存在する可能性があり、該当する条件とメンテナンスの負担を記録する必要があります。技術的および組織的な取り決め、実際の運用およびプロセス記録の検証能力の比較を通じて、人やツールの置き換えが、特定の再発または移行条件のテストとして使用されます。タスクの選択、追加の労力、既存の能力、持続不可能な依存などの別の説明と比較してください。元のツールまたは元の関係でのみ確立されている場合は、元の条件での機能を直接否定することなく、移行および適用の範囲を制限します。実際の運用が中断された場合、保守が持続不可能である場合、または条件付き能力を実現できない場合、請求は対応する証拠に基づいて制限されるものとします。フレームワーク、設計、SOP、スキル、およびローカルプロセスの資料は利用可能ですが、組織の実行効果、能力の維持、および具体的な理論上の増加は個別に検討する必要があります。この研究では 4 つのサポート候補の

うちの 1 つとして、独創性の検証と証拠のサポートが別々に記録されます。点線は検査対象の機構を表し、実線は観察と検査の研究手順を表しています。

元の画像に戻す

R14 · 投稿 5: 業務改善と能力維持のための二重受け入れ方式

既存のプロセス管理、組織慣行、パフォーマンス評価、知識管理、プロセス追跡、能力測定を比較し、実際の区別や用途に応じて増分を特定し、既存の方法にこれらの機能が欠けているとは想定しないでください。青いボックスの計画された貢献ポイントは、記録の接続と受け入れを区別することです。つまり、4 方向の SOP、職務責任とマニュアル、実行の完了と結果の引き継ぎ、実際の使用と運用結果、その後の再利用とメンテナンスの記録、関連付けられたタスク、バージョン、ユーザーと時間、および記録ツール、人間と機械の分業と関係条件です。現在の配信や運用の改善点、および将来的に明確な条件下で継続して使用できるかどうかをそれぞれ確認して受け入れます。後者は、継続的な運用、メンテナンスの持続可能性、人を超えた再発、技術移転、関係依存性を個別に評価し、1 つの側面の結果をすべての能力判断に置き換えるものではありません。統一に必要な基準として、ツールを変更したり、人間関係から離脱したり、人間と機械の補完的な取り決めから離脱したりすることはありません。安定した人間と機械の補完性と関係固有の機能は条件に基づいて確立でき、実際の運用パフォーマンス、メンテナンスの負担、再利用と移行の適用範囲を記録する必要があります。これにより、メンテナンス、再利用、および移行の信頼性の高い使用を評価するための再検証可能な観察基準が形成されます。さまざまなユーザーによる操作の一貫性と実行可能性をチェックし、作業時間や数量のみに基づいて不足している結果を発見し、メンテナンスと関係の状態、記録の負担、および障害シナリオをレポートします。二重合格名や記録シートだけでは新規性を証明するものではなく、4 グループ比較または 2×2 比較が確立された方法です。独創性軸の相対的な増分には、依然として特別な比較が必要です。証拠軸にはすでに手法といくつかの提供資料があり、その信頼性、実装可能性、および使用法を評価する必要があります。この研究における 4 つのサポート候補のうちの 1 つである実線は、記録と受け入れの間の関係を表すだけであり、効果が証明されているとは主張しません。

元の画像に戻す

R16 · 技術-組織-能力メカニズム

どちらのテクノロジーも選択しない、AIのみ、ブロックチェーンのみ、またはタスクごとに組み合わせを選択します。 AI は認知と作業をサポートし、ブロックチェーンは共有レコード、ルール バージョン、承認の実行、パフォーマンス レビューをサポートします。導入と非導入の比較では、プロセス、権限、リソース、引き継ぎ、レビュー、例外フィードバック、知識の維持が考慮されます。私たちは、組織能力と実行能力、検証、調整、監督、実装メカニズムを個別にテストし、R17 を使用して当期の業務改善と異時点間の能力維持をチェックします。最初の配信は品質、総コスト、下流の使用量に基づいて行われ、次の同様の配信は継続的な通話とメンテナンスのコストに基づいて行われます。人を超えた再発、技術移転、関係依存性が条件付きで評価され、安定した補完性によって能力を形成することもできます。顧客のプロジェクトは、購入先とその後の投資を記録し続けます。キャンセル・転送・送付先不明の場合は別途保管させていただきます。見積書が入手可能になったら、顧客のオプションの代替サービスと契約条件を確認してください。デリバリー、市場比較、失敗経験が組織手配、学習、テクノロジー選択にフィードバックされます。制度的テクノロジーの役割は、効果的なルール、権利基盤、入力された事実、およびガバナンスに依存します。追加の労力、調整の負担、持続不可能なメンテナンス、または品質の低下により、結論が制限される可能性があります。

元の画像に戻す

R17 ・業務改善と能力維持のダブル容認

まず、タスク、ユーザー、作業範囲、品質とコストの基準を決定します。顧客のプロジェクトは、事前に選択されたサービス カテゴリに従って、最初の提供ラウンドに含まれます。技術的および組織的な条件、価格設定方法、比較の取り決めと観察期間を文書化します。導入時の認可、リソース、引き継ぎ、例外、実際の使用状況、追加の労力を確認します。運用改善の承認では、品質、待機、再作業、すべてのコスト、および実際の社内または顧客の使用状況が検討されます。顧客のプロジェクトにより、実際の請求、支出、および空いた時間の使用が増加します。機能保持の受け入れは、同じ種類の次回の納品でフォローアップされ、継続的な運用と保守、適用される個人間の再発、テクノロジーの移行、および関係の依存関係がそれぞれチェックされます。安定した相補性の下でのサポート条件を文書化します。 2 つの項目はそれぞれ裏付けられる、裏付けられない、または証拠が不十分であると判断されました。十分な証拠がある場合、結果は 4 つあります。つまり、当期の改善と能力の維持の両方、当期の改善のみ、能力の維持のみ、またはその両方ではありません。不確実な場合は追加の観察を行い、不利な結果と論争を記録し、証拠に基づいて継続、調整、または停止し、再テストします。顧客のプロジェクトは、次の購入先とその後の投資を追跡します。招待されたら、見積書、代替案、取引結果を再度確認し、市場参照が不足している場合はプロジェクトの結論を絞り込みます。

元の画像に戻す

R19 · 長期資本勘定: 定期的な業績と資本資本の階層化

同じエンティティが、リソース、顧客、運用管理、および資本エコロジーにおいて複数の役割を担うことができます。事実を記録し、確認の根拠と権限を確認し、適用される取り決めに従って通常の業績と資本資本を区別します。通常の賃金、消耗品、有料会員権、および継続的なサービスは長期にわたって存在する可能性がありますが、それ自体がこの調査の長期資本関係を構成するものではなく、必ずしも 1 回限りの取引として説明されるものでもありません。このシステムは、さまざまな役割に対応する資本権と利益を配置し、参加者はそれらを受け入れるか保持し続けるかを選択でき、元の役割を重ね合わせることができます。受け入れられなかった資本権および資本権は、引き続き元の関係に従って実行され、独立した受け入れと権利の確立の根拠も別途確認する必要があります。配当、株式、株式、および STO 関連の取り決めでは、権利の内容、キャリア、登録技術、および出口を区別する必要があります。通常の報酬は自動的に資本に換算されません。貢献の確認は権利の確立を意味するものではなく、権利の確立は権利の実現を意味するものではありません。正式なオペレーティング システムは、ビジネス、資産管理、投資、その他の収益を含む、システムの範囲内での全体的な営業収益および関連する権利と責任を重視しており、新規収益だけでなく個別に会計処理されます。収益、コスト、利益、分配、保持、再投資が分離されます。保有、換金、該当する譲渡買戻し、業務提携、保留中の履行および紛争は個別に記録され、廃止された事業をまだ保有している、事業は継続しているが権利利益は譲渡されている、一部譲渡が保留されているなどの組み合わせが記録されます。新しい入力は新しい事実として記録されます。左下は資格のある人から始まり、実際に招待される人、招待条件、承諾と不承諾、開催と履行を区別し、以前の信頼、過去の協力、リソース、外部機会と組み合わせた自発的な選択を観察します。右側では、次の協力機会のタスク、条件、新たな収益と実際の投資を確認し、投資されていない機会、新しい機会がなく、目的地が不明である機会を記録し、状況の意欲と実際の投資を個別に報告します。関係の継続をテストする必要があります。ブロックチェーンは記録、ルールのバージョン、承認された実行をサポートできますが、一般的な資本関係の確立の前提条件ではありません。具体的な比率、既存および過去の取引関係、有効境界、最初の参加者、譲渡および買戻しの条件および運用日は、正式な運用設計の対象となり、いつでも無償譲渡または買戻しを約束するものではありません。

元の画像に戻す

研究と実践

知能技術の変化における企業能力と資本ガバナンスの研究

蔚腾飞
アンドリュー・デヴィッド・ワイ・ワイ· 個人的な研究と実践

weitengfei.com ↗
yutengfei.com ↗

共創し、共に成長する
WISERUNION

wiserunion.com ↗
wiserasset.com ↗

V1.6 ・研究概要の最終版
2026 年 11 月 26 日